

# み

**み(身)【名詞】** 1) 自分自身。身内。肉親。血縁。  
(四) 2) 魚肉。

**み(箕)【名詞】** 穀類をあおり振るって殻やごみをより分ける農具。

**みあう(みあふ)(見合)【自ワ五】** つり合う。両方がうまく対応する。

**みあかし(御明)(御燈)【名詞】** 灯明。みは接頭語  
[会話] 神さんへ ミアカシとぼしとけ (灯しておきなさい)。

**みあるく(見歩)【他カ五】** あちらこちらを見る。あるくは行動する意、歩く、歩行でない(度) [会話] どこやかや (何処も彼も) ミアルイテ 言うて 見物んいても (に行っても) あしこや (あすことか) 此処ミイアルイテ 言うて うろうろ見まわんのを (見廻るのを) あっちゃこっちゃ (あちらこちら) みいまわって来たよお (来ました) 言うて。

**みあわす(みあはす)(見合)【他サ五】** 中止する 様子をうかがって居る。[会話] 今日は風な(が)わりいて (悪くて) ミアワセタ よおとか、旅行 行きも (行くのも) 都合な(が)わりいて ミアワシタ 言うてやめる事を ミアワス 言うてなあ (言います)。

**みあわせ(みあはせ)(見合)【名詞】** 中止する事。やめる事。中止して様子を見ること。

**みい(身)【名詞】** み(身)の二拍化 1) 体。体内。  
2) 肉。魚のみい。(志、鳥、桑郡、三、鈴郡、鈴市、津、一、久、松、多、阿、張、度、伊、北、尾) 3) 身内。血縁。(志(布施田、神明、立神、甲賀、安乗)) [会話] 1) 身から出た錆。自分の体も ミイ。  
3) 親戚のもん (者) も 身内や (だ) 言うやんない (でしょう)。身のもん (者) 言うて、血のついた (血縁の有る) 人を。身のもん (が) なんものおて (全く無くて) 言うやんかい (言います)。身につくもん (者) が 有ればこそ 無ければこそ言うて 念佛や (だ)。2) 魚のミイ 豚のミイ。豚は肉やわいなあ (です)。ミイ言わせんもん なあ (言いません)。

**みい【名詞】** 箕 三重県の地名は身、実と同じ

**みい(実)【名詞】** み(実)の二拍化 1) 実。草木にみのつたもの。植物の果実。(志(布施田)、鳥、桑郡、三、鈴市、鈴郡、津、一、久、松、多、阿、張、名、度、伊、北、尾) 2) 汁物の具。[会話] 1) ミイ。柿のミイ やたら (だとか)、2) おつけ (味噌汁) のミイ

を 汁のミイ。汁のミイ言わんと (言わずに) しんのミイ 言うてなあ (言って居ます)。

**みい(三)【名詞】** み(三)の変化した語。数を順に数える時にのみ用いる。(志(布施田)) 他の三重県の地名はみいと同じ

**みいれやせん** 一生懸命にしない 努力しない

**みいれる** 一生懸命にする

**みいれんと** 一生懸命にしないで 努力しないで

**みいうす【名詞】** 三臼。供え餅。三臼、餅搗き初めてから三回迄。正月の御供用、雑煮の餅などを取る。

(阿) [会話] ミイウス 言うて、鏡餅や (とか) まえもんや (浜へのお供とか) 小餅とったり 神さんや (とか) 佛さんへ する いろいろん (の) のを そのミイウスのうちん (間に) とんの (取るのです)。ミイウスしたと (してやると) 食べてもええんけどな あ (よいのだが) ミイウス 搗くうちは (間は) 神さんへ 供えるのやもんでなあ (だので) 供え 取ったる (てやる) 迄 食わせんのなあ (食べないのです)。ミイウス搗くと 切り火しとけ (しておけ) 言うて ひい消せよお (火消しなさい) 言うて、燗一つ 水でちゅつと 消すんてや (のです)。そすと (すると) まあ ひい (火) 消したよって (から) くえ (食べなさい) 言うてなあ、ミイウスのうち (間) は しやせん (の) (食べないのです)。他のもん (者が) 食べる と 穢れてて (ていつて) 神さんに申し訳無い 言う 訳やろなあ (でしょう)。ミイウス 言うのは ただ三つ搗く言うだけやなしん (でなくて) 始めから 三つ迄は 大事や (だ) 言う事や (です)。ミイウスのうちは 神さんや (とか) 佛さんへ 供えもんや (物だ) 言うてなあ、よお (必要) だけを 取ったんの (取るのです) そして 残ったとか (所は) 小餅ん (に) とるけどなあ (します)。

**みいかためる** 結婚する。

**みいがてら** 見ながら。[会話] ミイガテラ 仕事もし と言うて みいながら (見ながら) 仕事すんの (するのを)。

**みいかねる(見兼)【他ナ下一】** 見るに忍びない 見かねる

**みいくら【名詞】** 三度。[会話] 節句言うな (のは) 三月、五月、九月 ミイクラ なあ (です)。

**みいこ【数詞】** 三ヶ。

みいすえとる 凝視している 見詰めている

みいたい 見たい。(四)

みいたいなあ 見たい [会話] 見たい逢いたい。見たい言うのを ミイタイ言うのなあ(です)。あんな(あれが) ミイタイわ わしも(私も) 言うて、みいんこやんかあ(見に行きましょう) 言うて ミイタイナア言わんと(言わずに) ミイタイナア言うてなあ。

みいつける(見付)【自力下一】 1) 見つけ出す。聞き出す。2) 見慣れて居る。[会話] ₂) ミイツケタヤ(ら) まあ 慣れたなあ(ていった) 言うて。始め みたや(見たら) へんなかったけど(変だったが) 見い見いたら 慣れたなあ言うのを ミイツケタラ。始め ばあつと見たおや(時は) おおた 思う様な時な(が) 有るんなあ(有るのです)。おおた あの人な(の) 器量な(が) わりよお(悪い) みよおもても(見なさい思っても) ま じょつく見とるとなあ(いつも見ていると) なんも(少しも) 器量な(が) わり(悪く) 無いよんなってくのなあ(ようになって行くのです) みいなれると(見慣れると)。ミイツケル言うのは みいなれる じょおく(いつも) 見るよおになるのなあ。ミイツケル言うね(言うのです)。

みいとおり【名詞】 三つの方法。三ケの呼び方。三種類。[会話] かれや(とか) 大潮、小潮 ミイトオリも有んねなあ(有るのです)。

みいとこ【名詞】 三ヶ所。[会話] たあらしめんのん(俵くくるのに) 一番(始め) 真ん中しといて(しておいて) 真ん中と ミイトコすんねけど(するのだが) 米は いつとこ(五ヶ所) 縛りおったの(居たのです)。

みいながら 見ながら

みいなぬか。みいなのか 三、七日 死後三週間目の日。[会話] ミイナヌカ言うの(言うのです) 三週間経ったのをなあ ミイナヌカ。

みいはいらせん 一生懸命にする気になれない

みいなれる 見慣れる いつも見ている みいつける参照

みいばん【名詞】 1) 見役 見物する側(志(布施田)) 2) 見張り役 [用例] ₁) 仕事のミイバン しとんね(して居るのです)。

みいばん(三晩)【名詞】 三晩

みいあす(みまわす、みまはす)(見回)【他サ五】 見回す [会話] あの人な(が) 来ると けろけろと、ミイマアシテ すかんなあ(嫌だ)。

みいみい(見見)【副詞】 見ながら 人の顔ミイミイ

あいな事する

みいもつ 1) 妊娠する。2) 伊達こく。綺麗にする。(志(布施田)) [会話] ₁) 孕んだ時も ミイモツ言うて。₂) 伊達こくのもの ミイモツ言うて。あのひた(人は) ええ(よい) のが出来たかして(とみえて) どいらい(大変) ミイモツテ。

みいもて 見ながら

みいもん【名詞】 見物。見るに価するもの。[会話] あや(あれば) ミイモンやれ(だ) 言うて、新しもんな(物が) 有ると あや ミイモンやれ 言うし、芝居な(が) 来ても 上手なかつたり(だった) 珍し事すると あや(あれば) ミイモンやれ のらも(お前達も) みいんけまあ(見に行きなさい) 言うて。

みいよい【形容詞】 見やすい。見苦しくない。みよい参照 [会話] ひいろお(広く) ずっとよく見える。よけ(沢山) めえる(見えると) ミイヨイなあ言うて。あの服着とると(着ていると) 見やすいなあ ミイヨイなあ言うて。

みいよさ【名詞】 三晩。三夜。(上、阿) [会話] みいばん(三晩) 言うのをなあ、ミイヨサ。ミイヨサ 寝やらった(寝なかった) よお言うてなあ、二日(フツカ) 寝やんと(寝ずに) おると ふたよさ(二晩) 寝やらった 言うて、よおよさ(四晩) も 寝やらった。一晚 ふた晩(二晩) 言うのを ひとよさ ふたよさ 言うのなあ(です)。ミイヨサ よおよさ(四晩) いつよさ(五晩) 言うてなあ。

みいよなってきた 見やすくなって来た 綺麗になって来た

みいり【名詞】 収入。利益。実入。[会話] 自分に、お金が入ったり 物が入ったりして ミイリな(が) ええなあ(よい) 言うて。ミイリな(が) ええとこ(よい所へ) えろで(選んで) あんな(彼が) 行くねよつてん(行くのだから) 言うて よお言うやんかい(よく言います)。ええとこ(よい所) ええとこい たぐりつくと(たどりつく)と ミイリな(が) ええとこばつか(よい所ばかり) まあつて(廻つて) 言うて。物貰うのん(に) 金持ちやよつてん(だから) なん(何) でも あの家 いきや(行けば) くれる言うよおな家とか。銭もおけ(金儲け) する時や(は) ちん(報酬) よけ(沢山) くれるとこ(所) を ミイリのええとこ 行かな(なければ) 損や(だ) 一文高や言うて 収入がええ言う事を ミイリな(が) ええ 言う。豆やとか(だとか) あいなもんも(あんな物も) 実がいった(入った) 言うのなあ(のです)。

**みいろ【名詞】** 子供の遊び。多人数を三組に分けて、互いに捕まえあう。[会話] ミイロ言うのなあ（のです）遊びになあ。丸を三つ 三角な（の）形ん（に）書い（て）おいて（て）おいて その中に にげな（人間が）はい（と）て（入って）居て）取りやいすんねやんかい（捕めあいするのです）、走とて（て）居て）つかめられると（つかまると）。三組に分けんの（分けるのです）三つ巴に 丸し（と）いて（書いて）おいて（て）丸い一つうつおって（居て）つかめられてすんのなあ（するのです）。走とると 自分の城い（へ）入るぞん（に）つかめられると（つかまると）向こおい（へ）取られたんねやんかい（てやるのです）丸い入るとええんけど（よいのですが）。

**みいんけ** 見に行け

**みいんこや。みいんこやんか。みいんこやんかあ。みいんこやんかい。みいんこやんかな**（女性語）。**みいんこやんかれ** 見に行きましょう

**みうち（身内）【名詞】** 家族。親戚。（張、度、伊、熊）[会話] ミウチ言うのは 自分の親類。兄弟とか 従兄弟とか 親とか言うのなあ（のが）ミウチ。ちいな（血が）ついたもん（者）を ミウチ言うのなあ（のです）。蚤やしらめ（虱）も ミウチやわい（です）。血を分けた兄弟や（です）。血を分けた兄弟を 何処い（へ）やる事な（が）有るや（か）言うて 皆 ぶつぶつつんだんの（囁んでやるのです）。昔や（は）口い（へ）入れ 皆 つめよおったやんかい（つぶしました）。

**みえしやれ** まる見え。しやれはサレ（晒、曝）の訛[会話] 全部 見えん（る）のをなあ ミエシヤレ言うの（のです）。家ん（の）中も 道ははたやもんで（傍なので）メエシヤレやあれ（だ）言うてな。家ん（の）中も 皆 見える 丸見えん（に）なる言うのなあ ミエシヤレで ほんわりなあ（本当に悪い）言うてなあ。

**みえぼお（みえぼう、みえぼう）（見栄坊）【名詞】** 外見を飾って人によく見られようとする者。[会話] ミエボオは なんもかも（すべて）有るよんばつか（ようにばかり）見栄張んのなあ（張るのです）。のおておって（無いのに）有るふりすんのを（格好、様子するの）を）ミエボオ言うの（のです）。

**みえもん【名詞】** 月経、又は帯下。（志（布施田））[会話] 女の月経を ミエモンや（だ）言うて。ミエモンな（が）して来てまあ言うて 昔、しらちや（白血とか）ながちや（長期間の出血だ）言うの（のを）し

たや（したら）ミエモンな（が）して、あのひた（人は）しらちや（だ）ながちやよって（だから）むこた（座った）あといも（へも）むかうなよお（座るな）言うて、どいらい（大変）おとしがりおったなあ（怖がって居ました）。ミエモンなすんねてわい（するそう）だ言うて。今しで（今で）言うと 子宮癌や（だ）言うのを、しらちで おりもんな（が）して、ミエモンな すんねてわい（するそう）だ言うて。月経の時でも よけあや（沢山有れば）ミエモンな（が）すんなあ（する）言うて、よけ 出血するにげ（人間）を ミエモンな（が）よけすんなあ（沢山する）言うて。

**みえやせん** 見えない。[会話] 見やれやせん（見えない）言うの（のを）、ミエヤセン言うの（のです）。なんも（少しも）メエヤセンヨオ言うてなあ なんにも見えません 見えない言う事を めえひっちゃけて（目開いて）見るけど（が）なんも ミエヤセンナイ言うて。

**みえよかい。みえよかな**（女性語）。**みえよかれ** 見えない。[会話] ミエヨカレ言うて、見えやせん（見えない）時は、ミエヨカレナア なんも（少しも）言うてなあ。

**みえる** 来る、居るの尊敬語（三重県全域）

**みおくりんいく** 送りに行く 葬式に参列する みおくり 葬式

**みおくる（見送）【他ラ五】** 1）死ぬまで看病する。2）葬式に参列する。3）送りに行く [会話] 3）ミオクリん（に）いた（行った）言うて、旅立ちする時ん（に）よお（よく）浦い（へ）迄 ミオクリん（に）行きおったんなあ（行って居たのです）。1）死んでたのおも（行ったのも）ミオクル言うの（のです）。爺やん 婆やん ミオクツてまあ 役目 済んだなあ だくやなあ（楽だ）言うて。

**みおさめ（みをさめ）（見納）【名詞】** 見るのがこれで最後と言うこと。死者との決別。[会話] まあこんで（これで）ミオサメやあれ（だ）、えごつと（十分に）見とけよお（見ておきなさい）言うて、終いの事をなあ。死んでた（で行った）人との別れも ミオサメ言うし。

**みおと【名詞】** 夫婦。めおとの訛 メ（妻）ヲット（夫）と（大言海）[会話] せぎやいか（押し合い）か せぎやいか言うて ミオトな（が）寝とても（ていても）ふたんな（二人が）ひつついて寝やんと（せずに）後ろ向いて せんどる（押ししている）言うて。

**みおも (身重) 【名詞】** 子供を孕むこと。妊娠していること。みもち [会話] ミオモ言うのは 妊娠しとる (している) 事。でづき (臨月) になると まあ ミオモで言うて。

**みおろし 【名詞】** 魚を調理する事 三枚にする事 おろしは切るの忌語

**みがいる** 1) 身が<sup>いる</sup>。力が入る。一生懸命になる。熱中する。2) 成熟する。穂がつく。[会話] 2) ミナ (実が) イッテキテ (入って来て)、麦もミナイッテ 来たなあ言うたり、たあ (田、稲) も ちょいと (少し) ミナ イッテ 来て おじぎして来たなあ言うたり、みいな (実が) 入りかけてくんのを (くんのを) ミイナ (実が) イッテキタナア言うて。ミイナ イッテキタカして (と見えて) かごんで来たれ (かがんで来た) 言うて、ちょいと (少し) 首さげてくるやんない (でしよう) おじぎしてくんのなあ (来るのです)。“稔る程 かしら (頭) の垂れる 稲穂かな” 言うて みいな (実が) いって来たかして (入って来たと思えて) ちょいと ほおな (穂が) 下って来たれ (来ました) 言うて。1) いっしょけんめ (一生懸命) に 働く時に ミイ (身) イレテ働く。なんも (少しも) ミイ (身) ニイレヤセンネ (入れないのだから) 言うて、そわそわしとると (して居ると) 仕事 身に入れやせんねよって (入れないのだから) うわのそらで しとて (して居て) 言うて。ちょおけた (ふざけた) よおな事しとると あやまあ (彼は) 仕事 ミイイレんと (入れずに) そわそわして どくなこた (ろくな事は、充分な事は) しよおかれ (しない) 言うて。ミイ イレレは 一生懸命になとると (なっている) みいなは いらせん (入らない) 言うな (のは) 怠けもんなあ (者です)。そわそわとしたり あっちゃい (あちらへ) うそうそしたり、こっちゃい (こちらへ) うしょうしょと 歩いたりしとると (して居ると) 仕事 ミイイレヤセン (入れない) 言うて。自分が嫌いな仕事する時でも ほんとん (本当に) こんな (此れが) 嫌いで ひとつも (少しも) ミニハイハイラセンワレ (はいらない) 言いもて (言いながら) する時も有るしなあ (有ります)。

**みかえす (みかへす) (見返) 【他サ五】** 振り返る。[会話] 面は憎くても 後を見る言うて すかんなあおもても (嫌だ思っても) ミカエス事。

**みかえり (みかへり) (見返) 【名詞】** 1) 代償。かわりの物。2) 余分の物 [会話] 1) ミカエリもろて (貰って) 言うなあ (言います)。かえりぐち (返礼) の

事をなあ、ミカエリや (だ) 言うて。2) くみやい (組合) へ なんやかや渡してなあ すると、その でめなくんのを (余分が来るのを) ミカエリや (だ) 言うてな、でめ (余分) 貰うとなあ まあ くみやい 渡ししとたや (ていたら) ミカエリな (が) こんだけ (これだけ) 来たとか、勘定して後のなあ。なんか (なにか) もてて (持って行って) お返しもろて (貰って) 来ると ミカエリもろた (貰った) 言うて、返しななあ (が) 重箱ん (の) 中ん (に) いっとたよお (入っていました) 言うのを ミカエリな (が) 入とたよお 言う人な (が) 有るんなあ (有ります)。

**みがきこ (磨粉) 【名詞】** 物を磨くのに用いる粉。

**みかけ (見掛) 【名詞】** 外観 見た感じ

**みかけあきない (みかけあきなひ) (見掛商) 【名詞】**

人を見て値を高くし、暴利を貪る

**みかけだおし (みかけふし) (見掛倒) 【名詞】** 外から立派に見えて居るのに実の伴なわない事

**みかけなよおて** 外観がよくて 立派に見えて

**みかける (見掛) 【他カ下一】** 見る 認める

**みかた (味方) (身方) 【名詞】** 1) 自分の身内。親類。

2) 自分の仲間 [会話] 1) なんやかや わが (自分) ミカタい (へ) よけ (沢山) やろとするやんない (やろうとするでしょう) 誰でも。分けても、人より わがミカタ ちょいと (少し多く) やりたいおもてするやんない (思ってるでしょう)。血のついとるもん (ついている者) ミカタや (だ) 言うの (のです)。ミカタな (が) よけ (沢山) 有って ええなあ (よい) 言うてなあ、血のついたもんな (続いている者が) よけ 有ると あの家や (は) ミカタな (が) おいよってなあ (多いから) 言うて。2) 敵と味方も有るしなあ 敵、ミカタん (に) なって まあ あの家や (は) 言うて、嫁ん (に) いて (行つて) 戻ったりするとなあ 昔や (は) どいらい (大変) こいごいし (濃い、親しく) しいおったけど (していたが) 今しや (今は) まあ 敵、ミカタやあれ (だ) 言うて。

**みかた (見方) 【名詞】** 見る方法

**みがため (身固) 【名詞】** 1) 身じたくをすること。衣服を身にまとして準備をすること。2) 結婚すること。[会話] 2) ミガタメせえ (しなさい) 言うて、嫁ん (に) 行くのもなあ ミガタメしてまあ言うて、ミガタメせな (しなければ) いつ迄 一人でおって (居て) ぶらぶらしとらんと (していなくて) みい (身) かためな (なければ) はざんわれ (いけない) 言うやんかいなあ (言います)。1) 着物を きちつとなあ

着てすんのもなあ (するの)も) ミガタメ言うしなあ  
(言います) 身仕度をすん(る)のを ミガタメも  
えごつと (十分) したか言う時な (が) 有るんなあ  
(有るのです)。

**みがっこ【名詞】** 磨粉。器物を磨くのに用いる粉。

**みがって (身勝手)【名詞】** 自分の都合だけを考えて行動すること。我儘。[会話] わがとな (自分が) 勝手な事ばっかしとるとなあ (ばかりしていると) ミガッテなにげやなあ (人間だ) あや(彼は) 言うて。わがと したいよおん (に) ばっかして 人の言う事聞かんなとなあ (聞かずに) 人な (が) どげんしょおや (どんなにしましょう) 言うても、あやわり (あれは悪い) こやわり (これは悪い) 言うてなあ 気儘で わがとな おもたよん (思った様に) なん (何) でもすんの (するのを) ミガッテな人やなあ (だ) 言うてな。

**みがてら** 見ながら。がてらは副助詞。[会話] みいがてら。あれ ミガテラに まあ 仕事もして言うて みいながら (見ながら) 仕事すんの (するのを) みいもてしょおか (見ながらしましょう) 言うたりなあ 見ながら言うたりな。

**みがね (身金)【名詞】** 自分の金。みぜに。[会話] ミゼン (身銭) 言うなあ。ミゼンつこたたら (使ってしまったら) 無いよん (ように) なつてくのん (て行くのに)、ミゼン離さんと (離さずに) 持つとらな (持っていないければ) 言うてなあ。ミゼンでこおた (買った) 言うて、家のしんしょ (金) は 兄貴らな (が) 持つとても (ていても) わがと (自分) おかず こおたり (買った) するとなあ ミガネで こおたね (買ったのだ) 言うて 自腹切った言うの (のを)。

**みがまえ (みがまへ) (身構)【名詞】** 身仕度。準備。仕事を行おうとして、その体勢を整える事。

**みがら (身柄)【名詞】** 1) 身体。体。2) 死体。むくろ。[会話] 2) ミガラを引き渡すとか。死んだ人のしがい (死骸) を ミガラを受け取るにげ (人間) も 無いねない (無いのだ) 言う時も有るし、1) そして (そうして) よおする (出来る) おもとんのん (思つて居るのに) なんもよおせんと (全く出来ない)と あやまあ (彼は) ミガラばっか (ばかり) で なんもならせん (なにもならない、役に立たない) 言う時も有るしなあ (有ります)。

**みがら (身柄)【名詞】** 身分 身の程

**みがる (身軽)【名詞】** 1) 体の動きが敏捷であること。  
2) 足手まといがなく、行動が気楽に出来る事。  
3) 出産する事に依り体が楽になる事 [会話] 3) ミ

ガルん (に) なった言うて、子供産んだても (でしまつても) 後を ミガルんなった言うてなあ。2) 借金戻して ミガルん (に) なった言う時も有るわいなあ (有ります)。借金戻したや (ら) 安心して みいな (身が) かるう (く) なった言うてなあ。親 見送ったりした時も まあ ミガルん (に) なったなあ、双親 見送って言うてなあ 責任はつくした 言う訳やなあ (です) それを喜ぶ訳や (です) ミガルん (に) なった言うて。

**みがるんなる** 1) 自分一人になる。2) 出産する。(員) 3) 荷物をおろす

**みかんすい (蜜柑水)【名詞】** 蜜柑色に着色し、香料を加えた清涼飲料水。[会話] ミカンスイ 言うのな (が) 有りおったなあ (有りました)。ビンに詰めて有つてなあ ミカンスイのおで (飲んで) 言うてなあ。瓢箪みたいな (のような) ガラスのビンにして (入れて) 有つて。昔や (は) ダムネや (ラムネだ) とか、ミカンスイな (が) 一番、飲むもん (物) にすると ごつつおやつたね (御馳走だったのです)。今しや (今は) ジュースでも なんでも よれ (沢山) でなあ。ほんと (本当) の蜜柑やなしん (でなくて) 色な (が) つけといて (ておいて) 有っただけ、みたいななあ (の様でした)、あいな (あんな) 時の ミカンスイは ただ色な (が) つけて なんな (何が) いつとたんか (入っていたのか) 知らんけど (知らないが)。

**みきき (見聞)【名詞】** 見る事と聞く事 見たり聞いた

**みきぐち【名詞】** 神前へ供える幣 お神酒徳利にさす [会話] ミキスズノクチや言うてな 桧のうつすう (薄く) 削って組んで ミキグチ、それを みきすずいさして。

**みきすず【名詞】** 神前の御神酒徳利。神棚に供える神酒 無用の小型の徳利に神酒を入れ、それに杉の葉を挿して供えた。錫製だからスズと言うのは疑問あり、稻の穂をスズと言い、もとは稲穂 (スズ) を挿したものか。(国語語源辞典) (志 (志島) [会話] 神さんのミキスズ。御神酒供えんの (るのを) ミキスズ。とつくりみたよん (徳利のように) しとるけど (しているが) ミキスズは、ミキスズで ちよいと違うけどなあ (少し違います)。

**みきすずのうけぐち。みきすずのくち【名詞】** 御神酒徳利にさす、鈴の形をした御幣

**みきびらき (御神酒開)【名詞】** 祝宴の時、始めて酒樽

から酒を汲み出す事 現在は結婚式に呼べなかった縁の薄い人を改めて招待するを言う。

**みぎべた【名詞】** 右側。(志) [会話] 右側なあ (です)。左べた言うのと 左の方なあ。がわ (側) 言うの (の) をへたや (と) 言うの (の) です。右側、左側言やええんけど (言えよいのだが) 左べた言うて。今しは (今は) 右側、左側。右側 通らなはざん (なければいけない) とか 左側 通らなはざんとか。ミギベタ通れ 左べた言うて へたんすんのなあ (にするのです) 昔はなあ (は)。

**みぎまき【名詞】** たかのは鯛。[会話] たかのはの ち つちやいの (小さいのを) ミギマキや (だ) 言うて。

**みきり (見切り)【名詞】** 1) 決心する。終る。2) 価をまける。[会話] 1) 商売な (が) あわせんの (儲からないのに) あげん (あんなに) いつ迄も あげな (あんな) 商売 だらだらしとらんと (して居なくて) たいがいに (大概にして) ミキリつけやええのん (つければよいのに) 言う時も有るしなあ (有ります)。2) 値まける (値引きする) 言うんか (言うのか) ミキック (ておく) こんだけい (これだけに) まけええ (値引きしなさい) 言うのと、なかなか そげん (そんなに) まけたと (てやると) 元な (が) 切れるのん (に) 言うて いつ迄言うととと (て居ると) ミキック (ておけ) とか、ミキリつけて こんだけんしとくわ (これだけにしておきます) 言うて言う時も有るんなあ (有るのです)。まあ こんだけん (これだけに) ミキック クワイ (ておきます) とかなあ。いつ迄 そげん (そんなに) 言うたよおな事ばつか (ばかり) 言うとらんと (言っ居なくて) ミキリつけて よし 手打った言う時も有るやんかい (有ります)。此の時は まけた (値引きしてやる) かけて貰うのん (に) 粘とて (て居て) そして まけまい (値引きしない) 言うし まけ言うし そすと結局 まける方な (が) 負けや (です)。粘って かけてくれ言うて 粘とるもな (者は) 勝ちや (です)。

**みきり【名詞】** 家の間取り。みきりずまい参照 [会話] 昔の家は ミキリずま言うて ミキリにして有るとお客さんな (が) 来た時は だいどこ (台所) で すんねけど (するのだが) ミキリやなしん (でなくて) ふたあきりん (二部屋に) してあると、飯喰うととこ (所) へ お客な (が) くんで (来るので) どいらいわりかりおった (大変悪かった)。

**みぎり【名詞】** 右 ニギリ (握) からの変 (方言俗語語

源辞典) リはチベット語 1 a (方、側) を参照 (続国語語源辞典)。ひだりの語形に合わせて、みぎにリを添えた語 (日本国語大辞典) (志 (甲賀)、鳥、員、阿、張、名)

**みきりずまい【名詞】** 三部屋の住居。[会話] ミキリズマイ言うてなあ 勝手と だいどこ (台所) と 座敷となあ 三つん (に) へきって (隔てて) あんの (有るのを) ミキリズマイの こじんまりした家 建てて言うてなあ。

**みきりつける 決断する。**あきらめる。見放す。[会話] この商売 がいんあわせんよって (あまり儲けがないから) まあ ミキリツケテ 商売替えせなはざん (しなければいけない) とか、仕事 切り替える時ん (に) ミキリツケナはざんなあ (なければ駄目だ) 言うて、ミキリツケテ 違う仕事い (へ) かからなはざんわれ (なければいけない) 言うて。

**みきりもん (見切物)【名詞】** 見切りをつけた品物、思いついて値を安くして売る商品

**みきる (見切)【他ラ五】** あらかじめ最後まで見通して、可能性が無いとしてあきらめる。見放す。決断する。[会話] みきりつける言うのも ミキル言うのも 一緒の事やわいなあ (です)。

**みぎれ【名詞】** 物を出す事。金ばなれ。[会話] わがと (自分) 出す事を おんな (俺が) 抱いたるわ (てやる) 言うて、ミギレのええ (よい) 人は。ミギレな (が) ええ 言うななあ (のは) ばっばと なんでも (何でも) 人ん (に) くれたり 買うもん (物) でも ばっばとこおたり (買ったり) さばさばとするの (のを) あの人ミギレな (が) よおてなあ (よくて) 言うて。金離れな (が) ええ とか 人ん (に) くれても ばっばと よお (よく) くれるし、ミギレな (が) よおて きなきれんなあ (気性がさっぱりしている) 言うて。

**みぎれなええ。みぎれなよおて** 金ばなれがよい。出し惜しみしない。[会話] 親方な (が) ミギレナ (が) ヨオテ 給金はずんでもおた (沢山貰った)。

**みくだす (見下)【他サ五】** 見さげる あなどる 馬鹿にする

**みくびる【他サ五】** 馬鹿にする さげすむ あなどる

**みぐるし【形容詞】** 見苦しい。見るに耐えない。(員) [会話] 汚したり 広げたりして ミグルシしととと (していると) あやあれ (あれ) だっぴだんろくやれ (目茶苦茶だ)。

**みけん (眉間)【名詞】** 額の中央。眉と眉との間。

(志(浜島)、四、鈴市、張) [会話] ミケン 割られた言うて 額なあ (です)。したい (額) の事を、したい 言う人も有るし ミケンや (だ) 言う人も有るし (有ります)。したいかい (ですか) ひいやんない (でしょう)。したいや (です)、したいや (と) 言うて ひたいな (が) ほんどん (本当に) ひたいやんなあ (です)。まいのけ (眉毛) と まいのけ の間も 此れから (眉から) 上、全部を 額や (です)。みけん 言うて 此の真ん中の事を ミケン 言うて 横の方は あんまり (あまり) ミケン言わせんなあ (言いません)。真ん中を ミケン 割られて ミケンへ (に) 傷な (が) ついた言うて、ミケンへ 傷な (が) つくと 将来 出世しやせん (しない) 言うて。そやけど (しかし) たいがい (大抵) のにげや (人間) 有るなあ (有ります)。転んたら 一番よお (よく) 打つと こやもん (所だから)。

**みこ (巫女) 【名詞】** 市子。祈祷を行い神託を告げたり、口寄せなどをする者。(志(浜島)、片田、船越、越賀)、鳥(鳥羽、相差、神島、菅島)) [会話] “紺のはっぶい (法被) ミコにやれ (与えよ)。”尻をひつても (しても) ミコな (が) ひつたと (したと) 思うなよ 死んだ佛が へったぞよ (したのだ)” 言うて ミコ 寄せると ねぶったよん (眠ったように) 言うて ずずくって (含んで) 嘘みたよおな (のような) 寝呆けたよおな事言うて。わがと (自分が) 紺のはっぶいな (が) ほしと (欲しいと) 紺のはっぶや (法被は) ミコにやれ 言うて あや (あれ) ミコに はっぶいやれ 言うたのんなあ (のに) やらなはざんわれ (なければいけない) 言うて。わがと 尻ひつても 尻をひつても ミコなひつたと 思うなよ 死んだ佛が ひつたぞよ 言うて、わがと ひつといて (ておいて) 佛にかずけて (かこつけて)。そげん (そんなに) 言うて 昔や (は) 言よおって (言って居て) みちぎりする 言うて わがなこおん (自分の子に) 離れたり、とと (夫) ん 離れたり (死なれたり) する家や (は) みちぎりすんね (するのだ) 言うて。わが家い (自分の家へ) ミコ 頼むのおを (のを) みちぎりする 言うね (のです)。

**みこ 【名詞】** 目上の人の引き立て

**みご (楳) 【名詞】** 藁の先端部分の一節。藁の外側の葉や葉鞘をむき去った上部の茎。ひご。ミコ (身子) の義 (大言海) (伊、津) [会話] 藁のミゴ ひごをなあ 藁の先を。昔や (は) ミゴななあ (が) 棕櫚の代りであ ほっそお (細く) なあなうの (縄編

むのです)。それを ミゴのななあ (縄だ) 言うて。

**みごさえ。みごしらえ (みごしらへ) (身拵) 【名詞】**

そのように、服装を整える事。身繕い。身支度 [会話] みじたく (身支度)。畑い (へ) 行くの (のに) はよ (早く) ミゴサエ して 飛び出さな (なければ) 言うて。嫁は 飯 喰うたら ごてごてしとらんと (して居らなくて) きもん (着物) 着替えて 脚絆はいて てがき (手甲) 掛けて 畑い (へ) 出ると ええんけど (よいのだが) いつ迄 まいまいしとると (して居ると) 俺家の嫁や (は) ほん (本当に) うちでな (家を出るのが) おっそおて (遅くて) いつ迄 まいまいしとて (して居て) あげんしとらんと 早よ いきや (早く行けば) ええのんおもて (よいのに思って) 姑婆 おもとんねけど (思って居るのだが)、嫁や (は) そいな気 (そんな気持ち) 無しに うろうろと あっちゃいまいあり (あちらへ回り) こっちゃい (こちらへ) まあり しとると (して居ると) 姑婆な (が) はよまあ (早く) 身仕度して 畑い (へ) 出やええのん おもて むしもやしとんねけど (いらだっているが、腹立てて居るが) 言われやせんし (言えないし) そげな (そんな) 時んなあ (に)。旅行する時でも はよ (早く) 身仕度して はよ せなはざんわれ (しなければいけない) 言うて よお (よく) 言われおったなあ (言われました)。どこやかや (何処かへ) 行く時や (は) ごてごてしとらんと ミゴサエ はよして (早くして) する癖つけなはざん (つけなければいけない) 言うて。

**みごなし 【名詞】** 1) 体を自由に動かす事。体の動き。

2) 身嗜 [会話] 2) あの人 ミゴナシな (が) よおて (よくて) 言うて、ミゴナシな (が) ええ (よい) とか、身嗜な (が) ええ とかなあ。みい (体) きちんとしとるとなあ (していると) 身嗜な (が) いつも ええなあ (よい) 言うたり、身締り よおしとんなあ (よくしている) とか、家は とお (戸) 閉めん (る) の 戸締まりする 言うしなあ。体を きちっとすると 身締まりな (が) ええなあ 言うて。2) ミゴナシ言う時ん (に) 仕事の しぶり事なあ (です)。あの人 ミゴナシな (が) ええなあ 言うて なん (に) しても あのした (人は) 仕事のしぶりな (が) よおて (よくて) 言うて。

**みごのなあ 【名詞】** 藁の先端の一節のみで編んだ縄。

[会話] 藁のひごは ミゴノナア 言うて 網掛けの (海老網漁の) 縄にないおった (編みました)。

**みごもる (身籠) 【自ラ五】** 妊娠する。孕む。[会話]

妊娠する言う事なあ（です）。ミゴモル言うやんかい（言います）。

**みごろ（見頃）【名詞】** 1）見るのに最もよい頃。見どき。2）娘の結婚適齢期。[会話] 1) ミゴロやなあ（だ）今し（今）桜の花な（が）ミゴロやなあ 言うて。花な（が）満開ん（に）なった時は ミゴロやなあ 言うし、2) あの子も ぼつぼつ ミゴロん（に）なって来た 年頃の事をなあ ミゴロや（だ）言うてなあ。

**みさかえ（みさかへ）【名詞】** 見境。物事の区別。善悪や善し悪しの判断。見分け。みさかいの 訛

**みさしてくれ** 見せて下さい

**みさす** 見せる（久）

**みじいたた** 潰してしまった。壊してしまった。[会話] びしゃく（潰す）事を、ミジイタタ言うの。なんもかも（すべて）ミジイタタやんかあ（でないか）言うて、うちやって（壊して）こまこお（小さく）すん（る）のを。

**みしえ【名詞】** 店。（度）[会話] ミシエやい（店屋へ）ぞめきんいこやんかあ（ひやかしに行きましよう）言うて、ミシエする家を ミシエやや（店屋だ）ミシエやい いこや 言うてなあ。

**みしえまあえ** 見せなさい。[会話] お前なのおも（のもの）だい（どれ）ミシエマアエ言うて。

**みしえや【名詞】** 店屋 商店 みしえ参照

**みしえやい** 見せ較べ。[会話] なんやかや みしえん（いろいろ見せる）のも ミシエやい。ミシエやいしよおや（しましよう）。見せ較べするのを ミシエやいしよおや 言うの（のです）。

**みしえやいしよおや** 見せ較べしましよう。見せ合いましよう。みしえやい参照

**みしぐ。みじく【他カ五】** 細かく砕く。ひしぐ。（志、度）

**みじける【動詞】** 潰れる。こわれる。（伊賀地方）[会話] びしゃく（潰す）事を みじいたた（てしまった）言うの（のです）。みじん（微塵、こなごな）にしたた 言うてなあ。こお（粉）にしたるとなあ（してしまうと）なんもかも（全部）みじん にしたたれ（てしまった）言うたり、みじいたたやんかあ（てしまったでないか）言うて、うちやって（壊して）みじんにしといてたない（しておいて行った）言うてちっそお（小さく）なるのを ミジケル みじみじにしといて いたてやら（行ったとか）。

**みじこお（みじかふ）【形容詞】** 短く。[会話] 短く切

りなさい言うのを ミジコオ切ったれ（てやれ）。ミジコオ切ったて（てしまつて）間に合わせんやんかあ（役に立たないではないか）言う時も有るしなあ（有ります）。なあがい（長い）のを ミジコオ 切り過ぎたて（てしまつて）ミジコオ切ったて そげんしとたら（そんなにして居たら）間に合わせんやんかあ 言う時も有るしなあ。こげん（こんなに）ミジコオ切ったたら（てしまつたら）はざおかれ（駄目だ）言うて、短かいの（のを）ミジコオ言うて、なあごお（長く）引っ張んね（るのです）。長い時でも なんがい。なんごお言うて。なあごお こや（此れは）してあんね（有るのだ）あんまり（余り）こや（これは）なあが過ぎられ（長すぎる）言うて。

**みじたく（身支度）【名詞】** あることをするため、身なりを整えること。あることに 取り掛かるための用意。[会話] ミジタク言うのは 自分が きもん（着物）を着て きちつとするのを、畑い（へ）行く ミジタクせえまあ（しなさい）言うて、脚絆も履いて てがき（手甲）も掛けて言うてなあ。飯 食うたら（食べたら）畑い（へ）行く ミジタク はよせな（早くしなければ）、たなもた（お勝手は）まあ 婆やんな（が）しまうよってん（から）若いもな（者は）ミジタクして 畑い（へ）出やなはざん（出なければいけない）言うて。

**みじまい（みじまひ）（身仕舞）【名詞】** 身だしなみ。身なりを整えること。身支度 [会話] ミジマイ言うのも、みじたく言うのも、一緒やわいなあ（です）。ミジマイ言うのも、きちつと 体 始末して 仕事おいたら（終つたら）なんもかも（なにもかも）片付けてせえ（しなさい）言う事やわいなあ（です）。

**みじまり（身締）【名詞】** 身だしなみ。品行。[会話] ちっちゃおて（小さくて）おつても（いても）ミジマリ よおしとんのおを（よくしているのを）こじよっこり（こじんまり）。

**みじめ【名詞】【形容詞】** 憐憫な 貧相な

**みじやく【他ガ五】** 細かく砕く。潰す。みしやく（志（布施田、浜島）、鳥、桑郡、鈴市、津、一、松、多、阿、度、伊、尾、北）[会話] びしやいたんのををなあ（潰してやるのを）ミジヤク、ぐちゃぐちゃん（に）して ミジヤイタラナ（てやらなければ）はざんわれ（いけない）言うて。なんやかや びしゃく時や（とか）魚のこおやどきや（具などは）ぐしゃぐしゃん（に）して ミジヤイタラナ はざんわれ 言うて、さばいて（ほぐして）鮭のこおん（具に）入れる時



らなあ (などに)。なんでも ミジャイタラナ はざんもんな (いけない物が) 有るわい (有ります)。

**みじゃける【自力下】** 潰れる。(志 (鶴方、神明、立神、志島、国府)、鳥 (鳥羽)、桑市、員、三、四、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] ミジャケル。びしやいたる (てやる) 事を びしやいたんのを (てやるのを) びしやけてた (ていった) 言うて、こまこお (小さく) なった言うのやなしん (でなくて)、ぺたんこん (平に) したた (してやった) のを、ぺちゃんこ びしやけてたれ (しまった) 言うて、ぺちゃんこん なって 形くずしたると (てやると) びしやけてたれ言うて。そして (そうして) こなこなん (こなごなに) になるとこや (これは) こなみじんに なったれ (なった) 言うし (言います)。びしやいて、うちやって (壊して) へしこんだ (押し込んだ、凹ました) よおん (に) したると (してやると) びしやいたた 言うて。子供ら 叱る時でも びしやいたんどお (てやるぞ) 言うて、叩いたんどお 言う事やるなあ (でしょう)。撲ったんどお 言う事を びしやいたんどお 言よおった (言っていました)。

**みしょ** 見せよう

**みしょお (みしゃう) (実生) 【名詞】** 1) 実を食べる植物 実のなる植物 2) 種子から芽が出て生長する事

**みしよかい。みしよかな (女性語) 【名詞】** 1) 見せてくれない。見せない。2) 見せましょうか

**みしよかれ** 見せない [会話] 見せやせんとなあ (見せないと) かことて (かくして) ミシヨカレ言うて。

**みしよや** 見せてやろう

**みしり (見知) 【名詞】** 見て知って居る人。面識のある人。[会話] あの人と ミシリで言うて、知りやい (あい) の人を、ミシリやなあ (だ) 知りやいで 皆よお (よく) 知つとんねよってなあ (ているのだから) 言うて。じょおくいとる (いつも行っている) 家はなあ 知りやいや 言うて。

**みしりがお (みしりがほ) (見知顔) 【名詞】** よく見て知って居る顔、その人 かおみしり

**みじん (みちん) (微塵) 【名詞】** 埃。ほこり。細かく碎けた物。少しの量。(志 (布施田)) [会話] ミジン、埃。埃な (が) すると ミジンな 一杯つもつとんない (積って居る) 言うて。埃な 積つとんのおを (て居るのを)。塵の事をなあ (をです)。

**みず 【名詞】** 未熟の豆類。(志 (甲賀)) [会話] ささ

げ (豆) のミズやたら (とか)、小豆のミズやたら 言うて。まだ (いまだ) みいな (実が) いつとらへんのを (入って居ないのを) ミズや (だ) 言うて、それ炊くと うもおて (美味くて) あもおて (甘くて)。実な (が) いらん (はいらない) あからまん (熟しない) のを ミズ。ミズ炊こやんかれ (炊きましょう) 言うて。ささげもじいたり (もいだり) 小豆もじいたり すると ミズ 炊こやんかあ 言うて 鍋 一杯炊いてなあ。ねえごと (根のまま) 引いて来ると (引き抜いて来ると) あからんどんのは (熟して居るのは) 間に合うけど (役に立つが) ミズは 間に合わへんやんない (無いでしょう)。そやけど (それだが) いっぱなり (一本のまま) 引いて来ると (から) どおしても ミズな (が) 有るやんかい (有るので)。それを 皆 もじいて (もいで) 鍋 一杯炊いて そして それ うでて (茹でて) 喰うと (食べると) 美味しいのなあ (のです)。おかずなあ (副食です)。味噌で あえて喰う人らも 有るけどなあ (けれども)。ちよいと (少し) いつとんな (はいって居るのは) むいて喰うと 美味いんてや (のです)。そすと (すると) なんもいつとらん (少しも入って居ない) ほん (本当に) かあだけんのおは (皮の、のは) 味噌あえん (に) すると 喰われよおったわい (食べられて居ました)。

**みず 【名詞】** よしきりざめ メジロザメ科の海魚。全長 6 米を超えるものも有る。体は細長い紡錘形で吻が尖る。胸鰭は長い鎌状、背側は濃青色で腹は白い。性質は荒く人を襲う。肉は練製品、鰭は中国料理の材料とされる。温、熱帯海域に分布する。体色が海水の色に似て居るので言う。(志)

**みずあか (みづあか) (水垢) 【名詞】** 水に溶けて居る物質が底に沈殿したり、物に付着したり、水面に浮遊したりするもの。[会話] 入れもん (容器) へなあ、土瓶とか ビンとか言うて 底い (へ) こびな (が) つくの (つくのを)。ミズアカな (が) ついた。ビンやどけ (など) 底の方い (へ) ま いつ迄 入れるとと (ていとう) とごるやんない (沈むでしょう) あいな (あんなのを) ミズアカ言うしなあ (言います)。

**みずあげ (みづあげ) (水揚げ) 【名詞】** 1) 漁獲高。2) 転じて商売の売り上げだか [会話] 1) 漁して来る事をなあ しなもん (品物) とて (取って) 来る事 ミズアゲな (が) 有って 今日と言うてなあ 鮑とて (取って) 来たり 魚とて (獲って) 来たりすんのなあ (するのです)。今日は まあ ミズアゲな (が)

よかったなあ言うて 漁獲高を ミズアゲ。

**みずあげる (みづあげる) (水当) 【名詞】** 常用する以外  
の水を飲み起こる消化器障害

**みずあたり (みづあたり) (水当) 【名詞】** 常用する以外  
の水を飲み起こる消化器障害

**みずあび (みづあび) (水浴) 【名詞】** 水浴 水泳 (上、  
阿、南、熊)

**みずあびる** 水浴する 水で体を洗う

**みずいぼ (みづいぼ)。みずいんぼ (水疣) 【名詞】** 体の  
中心部や四肢に出来る米粒大から小豆大の疣。ウィル  
ス性伝染病。潰して出る液によって他の部に伝染する。  
[会話] いんぼ (疣)。ミズイボ言うな (のは) ひや  
くいんぼ (百疣) 言うのなあ (です)。百も こまか  
あい (小さい) のな (が) 出来てくんのなあ。

**みずえる (見掘) 【他ア下一】** 見つめる。じっと見る。  
睨む。[会話] ミスエル言うな (のは) ねがめとん  
(睨めている) のをなあ。おらを (俺を) ミイスエト  
ンネ (ているのだ) 言うて ねがめて見とんのおを  
見詰める言うたり ミスエトンネヨオ (ているのだ)  
言うて、きつついめえ (きつい目) で見ると ねがめ  
とる 言うしなあ、普通で見とんのなあ (見ているの  
です) ミイスエトル (ている) 見詰めとる (ている)  
言うのなあ (です)。

**みずがい (みづがひ) (水貝) 【名詞】** 料理の一種。鮑を  
切り塩水に入れたもの。[会話] 鮑 料理した時に  
塩水につけるのをなあ ミズガイにして、うっすう  
(薄く) 切っといて (ておいて) 塩水して 食うねて  
や (食べるのです) すう (酢) や醤油 使わんとなあ、  
ミズガイで食うと (食べると) 美味い言うて よお言  
うてや (よく言います) 酒飲みな (が)。

**みずがし (みづぐわし) (水菓子) 【名詞】** 果物

**みずがつく。みずなつく** 出水で浸水する (鳥) [会話]  
雨な (が) よけ (沢山) 降ってなあ したややどけ  
(床の下など) 入って来ると まあ ミズナ (が) ツ  
イテキタレ (来た) そやれ なんもかも (なにもかも)  
あげな (なければ) 言うて。浸水する言うの (の  
です)。家のまありいなあ (周囲へ) 水な (が) まあ  
って来るやんない (でしょう)。ミズナ (が) ツク言  
うて、つかって来た言うな (のは) 床い (へ) 上って  
くんのを (来るのを) つかって来た言うのなあ (で  
す)。

**みずがめ (みづがめ) (水甕) 【名詞】** 飲み水などを貯え  
ておく甕 (南)

**みずがれ (みづがれ) (水涸) 【名詞】** 日照りが続いて川、

田、池、井戸に水が無くなる事

**みすぎ (身過) 【名詞】** 生活をたてること。暮らし。[会  
話] ミスギ言うねわい (言うのです)。食べてかれる  
か (ていかれるか)、食べてかれやへんか (ていけな  
いか) 言うのを、自分らが 食べてく (て行く) 言う  
事を、ミスギ言うねなあ (のです)。ミスギよすぎよ  
おせん (出来ない) 言うて、生活な (が) 苦しもんで  
(ので) 親を養う力な (が) 無いね (無いのです)、  
そして 自分の身も よおすすがん (過ぎない) 言う  
意味やなあ (です)。

**みずき (みづき) (水木) 【名詞】** 水分の多い木の総稱。

[会話] ミズキ言うのは ししばやとか (だとか) ゆ  
ずりはとか そいなきい (そんな木) を言うの (ので  
す)。堅木は いままや (だ) とか、樫や (だ) とか、  
そいなのおを (そんなのを)。やいこいきい (柔らか  
い木) を、ぞおきや (雑木だ) 言うたりなあ、ミズキ言  
うたりなあ。ミズキで まあ わんのん (割るのに)  
割りよおてええなあ (よくてよい) 言うて。ミズキ言  
うと 柔らかいきい やけど (木だが) 水気な (が) 多  
いきい (木) を そいなきい (そんな木) は 水気な  
(が) 多いもんで (ので) 割りよいんやんかい (やす  
いのです)、割っても ばんばんと なしわりん  
(に) 出来んね (出来るのです)。

**みすぎよすぎ (身過世過) 【名詞】** 生活。生計。暮らし。  
みすぎに同じ。

**みずきる** 水をなくす。水分だけを除く。容器の中の水  
に他の物がある時、水だけを捨てる。[会話] ミズキ  
ツタル (てやる) 事を しためる。ミズキツケヨオ  
(ておけ) 言うてな、しじく (雫) をなあ 策い  
(へ) でも なん (に) へでも入れて 垂らしとけ  
(ておけ) 言うのを ミズキル 言うて。米かして  
も 水えごつと (十分) きつとけ よお言うて。水分無  
しにしとけ 言うのをな、えごと (十分) ミズキツ  
ケ 言うて、しじく 垂らしとけ 言うて、あろて  
(洗って) ざある (策) い あげて しじく たらし  
とけ よお言うて ミズキル事を しじく たらしとけ  
(ておけ) 言うの (のです)。

**みずくさい (水臭) 【形容詞】** 1) 塩分が不足で味が薄  
い。水っぱい。(志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、  
国府、安乗)、鳥、桑市、員、四、鈴郡、鈴市、亀、  
安、津、一、飯、多、上、阿、張、名、伊、北、尾、  
南、熊) 2) 誠意が無い。交際が少ない。他人行儀で  
ある。[会話] ₂) ミズクサイ言うのは、血のついたも  
んな (血縁者の者が) あんまり (あまり) こいごしし

やへんのも(親しくしないのも)ミズクサイ言うし、  
1) 吸いもん(物)でも 味噌汁でも ちょっと 薄い  
のおを(のを) こや(此れは)ミズクサイわれ言うし  
(言います)。そして みうち(親類)のもん(者)  
でも こいごし しやへんのを ミズクサイなあ言う  
て。へえかんだ(屁かいだ)よおん(に) しとんのお  
も(して居るのも) 有るやんかい(有ります)。

**みずぐすり(みづぐすり)(水薬)【名詞】**液体の状をした薬

**みずくみにない【名詞】**水を運ぶ桶(熊)

**みずけ(みづけ)(水気)【名詞】**水分。[会話] しぼる  
言うな(のは)ミズケ無しん(に)する言う事。

**みずけぶり(みづけぶり)【名詞】**水煙。水が四方に飛び散って煙のように見えるもの。みずけむり [会話]  
ミズケブリな(が)立つ言うてな、しまきな(が)立つ  
言うのな、波な(が)してもな 上いあがって  
けぶりみたいに(煙のように)するやんない(でしょう)  
あれ しまきや(だ)言うしなあ(言います)。水でも 風な(が)吹いて ばあばあ吹けるとなあ  
ミズケブリな(が)立った言うてな、飛沫の事をな  
あ。風で水な(が)吹けて 霧ん(に)なるやんない  
あいのおを(あんなのを)ミズケブリ言う。

**みずご(水子)【名詞】**死産児。(鳥、度) [会話] ミズ  
ゴ言うと 流産してく(て行く) こお(子)をなあ。  
やいこいうちん(柔らかい間に)おりてくのはなあ、  
ミズゴの供養や(だ)言うて する家な(が) 有るわ  
い(有ります)。流産してた(して行った) こおな  
(子が)有ったりすると、昔や(は)地藏さんみたい  
なの(のようなのを)建てて ミズゴの供養や(だ)  
言うて。

**みずごえ** しまりなく肥えているさま

**みずごえ(みづごえ)(水肥)【名詞】**水様になった肥料。  
洗水などを肥料にする。[会話] ミズゴエを 追肥  
言うんなあ(言うのです)。しもごえ(大小便)を  
水 うめてなあ(薄めて) うっすうして(薄くして)  
すん(る)のなあ ミズゴエや(だ)言うて。ぜん  
(銭)出して 豆板やとか アンモニアや(だ)と  
か言うて ふんのは(振るのは)ふりごえ、かねごえ  
(金肥)言うてなあ、そいなぜん(そんな銭)出した  
のは ふりごえや(だ)言うてなあ。しもごえをな  
あ そんなり(そのまま)かけると ちょおいと(少し)  
一畝か二畝よりかからせんやんない(かからない  
でしょう)、そやよって(だから)水 まあしてなあ  
(増して、加えて) 薄めてすん(る)のなあ。水

まあさせん(加えないのを) きごえや(生肥だ)言  
うてなあ。ひとかめい きごえを 一荷位 入れとい  
てなあ(ておいて)水を また それい(それへ)入  
れて うっすうしといて(薄くしておいて)おおた  
ぶうみたよな(水のような)こえやなあ(だ)言うて。

**みずごおり(みづごほり)(水氷)【名詞】**鮮魚の保存の  
ため海水に氷を入れたもの

**みずこべ(水頭)【名詞】**泣虫

**みずさき(みづさき)(水先)【名詞】**案内人 [会話]  
案内してくのをなあ(していくのを)ミズサキつけて、  
歩るいとられ(ている)言うて、あすこの家 この  
家言うて、おせてもろて(教えて貰って)歩るいと  
と。

**みずさきあるいとる** 1) 先に立って物事をしている  
2) 道案内をしている

**みずさし(みづさし)(水差)【名詞】**花瓶やコップなど  
に注ぎこむ水を入れておく器物。[会話] 植木い  
(へ)くれる 如雨露の口の無いのなあ ミズサシで  
ちっちゃあいのなあ(小さいのです)。がつこ(学  
校)でも ミズサシで 硯石い(へ)水 配ってきい  
おった(来て居ました) みんなん(皆に) こばり(配  
り)まあってなあ 水を。

**みずさす** 差し出口をして興をそぐ。又まともりかかっ  
ているものを駄目にする。[会話] 嫁もまとまるとこ  
やったのん(ところだったのに)、あんな(彼が)来  
て、ちゃちゃ入れて、はざんよんなってた(駄目よう  
になって行った)言うて。いらん(要らぬ)事言う、  
ミズサス言う事やわい(です) あんな(彼が)来て  
ミズサイテまあ言うて。

**みずしごと(みづしごと)(水仕事)【名詞】**料理、洗濯  
など水を使ってする家庭の仕事。特に台所での仕事。  
洗濯 [会話] ミズシゴトばっかしとて(ばかりして  
いて)言うて、洗濯したり お勝手したりしとるとな  
あ(していると) おらまあ(俺は) ミズシゴトばっか  
しとんのおで(ばかりしているの)で てえな(手が)  
荒れて言うてな。水でする仕事 洗濯とか お勝手  
のなあ あらいもん(洗い物)。

**みずしょおばい(みずしゃうばい)(水商売)【名詞】**  
飲食業。接客業などを言う。

**みずすき【名詞】**田畑の水のはけ具合。土地に染み込ん  
だ水分の洩れる状態。[会話] うるおい言うと 湿気、  
水気。水気な(が) じどこ(岩盤が下にある土地)は  
切れやせんけど(切れないが) うめしよ(埋め立て  
地)のとこ(所)は うるおいな じっきん(すぐ

に) 切れてくの (ていくのです) ミズスキな (が) ええもんで (よいので)。

**みずせがき (みづせがき) 【名詞】** 妊婦が死亡した時、胎児の霊をなぐさめるために行う法要。[会話] ミズセガキ言うな (のは) 赤ちゃんを 腹い (に) 入れたながり (まま) 親子な (が) 死んでくと (で行くと)、みずご (胎児) の供養すんのな (するのです)。腹ん (の) 中のこお (子) の供養。親は 葬式してするけど (が) こお (子) の供養を、ミズセガキ言うて すんねやるな (するのでしょうか)。

**みずた (みづた) (水田) 【名詞】** 水の多い田。いつも水の有る田。(四、阿) [会話] ミズタは たあ (田) 植え、しょお言うても 雨な (が) 降ると 植えられん (で) (植えられなくて)。ミズタ言うたら 水の有る たあな (田です)。みずぶかや (だ) 言うね (言うのです)。水な (が) よつけ (沢山) 有る 海みたよん (しとるとこなあ (のようになっている所です)、みずぶかや (だ) 言うて。みずぶかで まあ あの家や (は) 言うて、水な (が) ひあがらんで (干上がる、なくらなくて) 植えるよん (ように) になると 縄張りの なあな (縄が) 浮いて来て 田植えな (が) 出来たあ (田) でなあ。たあ (田) 刈る時でも 田舟押すな (のは) だくでええんけどなあ (楽でよいが) 刈るよん (ように) になるとなあ、だぼんだぼん言うて 稲株な (が) 判らんでなあ (なくて) そいな (そんな) の ミズタや (だ) みずぶかや 言うてなあ。

**みずだこ (水蛸) 【名詞】** 蛸の一種。マダコ科、大型種で体長3mに達す。体表は柔らかく凹凸が多い。暗紫褐色で細かい皺、淡色斑点が有る。

**みずつかい (みづつかひ) (水使) 【名詞】** 1) 炊事洗濯など水を使ってする家庭の仕事。みずしごとと同じ。2) 水の使用の仕方 使用量 [会話] 2) ミズツカイな (が) あろおて (荒くて)、今し (今) の子ら 若い嬢らな 来ると だあだあ だあだあと 惜し気も無しんなあ (に) つこて (使って) するやんない (でしょう)。ぜん (銭) 使いな (が) 荒い言うて ぜん (銭) よけ (沢山) 使うもな (者は) 言うし 水よけ (沢山) 使うもな (者は) ミズツカイな (が) あろおて 言うて。

**みずつき (みづつき) 【名詞】** 土地の水はけの悪い所。(志 (安乗、答志)、鳥) [会話] じどこ は 水な (が) すいてかせんやんない (浸んで行かないでしょう) いつ迄も びちよびちよしとるわな (していません)、そすと (すると) ミズツキ言うな (のです)。

**みずでっぼ 【名詞】** 水鉄砲。水を筒の先から押し出して飛ばす玩具。みずでっぼうの末尾母音の略 [会話] ミズデッポで しゅっしゅっと やっておこしおった やんか (い) (よこしました)。

**みずてる (見棄) 【他タ下一】** 見限る

**みずな (みづな) (水菜) 【名詞】** 京菜。アブラナ科の一年草、又は二年草。葉柄は白色で細長く根際から多数生え、株張りがよい。葉は深く 羽状に分かれる。春に黄色の総状花序をつける。晩夏に撒き、冬に収穫する。味が淡白で香りが有り、漬け物、鍋物にする。京都にてみずなと言うを、他できょうなと言う (物類呼稱) (桑市、鈴市、安、上、阿、南) [会話] なずけん (菜漬けに) すると 美味い ミズナは。塩もみしても おいしいなあ 炊いても食べるけど (が)、そやけど (だが) 菜漬け、つけもん用や (漬け物用です)。漬けもん (物) のほおな (が) おいしいなあ (です)。

**みずなつく** 浸水する。[会話] 水な なあ (が) 家い (へ) 入れてくんのをなあ (入って来るのを) ミズナ (が) ツク言うて、 水な (が) ついて来たれ まあ はよあげえ (早くあげなさい) 言うてな。

**みずなぶり (みづなぶり) (水堀り) 【名詞】** 水遊び。水いたずら。(阿、張、名) [会話] ミズナブリは 水遊びすんのを (するのを)、子供らな (が) 水遊びしとる (して居る) ミズナブリ よけすんなまあ (あまりするな) 着るもん (物) 汚すのん (に) 言うて、子供らわるいおった (叱って居ました)。

**みずのすみ 【名詞】** 水盗み [会話] ひでりん (日照続きに) なって来ると ミズノスミすんのな (するのです)。

**みずのではな 【名詞】** 鼻水。[会話] ミズノデバナに落とされた言うて 鼻水な (が) よけ (沢山) 出て しょからあいの (塩辛いのを) 喰たる (食べてやる) 時な (が) 有るわい (有ります)。

**みずのめえ 【名詞】** 鮫の目。勢いが無い目。細い目。[会話] ミズノメエ言うて 鮫のめえ (目) の ほっそおいのな (細いのが) 有るわい (有ります)、酒飲んで よおて (酔って) 来ると 目な (が) ほっそお (細く) なって来て めえな (目が) ミズノメエみたいん (のよう) になって来たれ (来た)。

**みずはけ (みづはけ) (水捌) 【名詞】** 水の流れ具合。排水。[会話] ミズハケな (が) わりいて (悪くて) 言うてなあ、流れのわり事 なあ (です)。川の裾 な (川口が) 詰とる (でいる) と ミズハケな (が) わり

いて 川裾な あいととと (てい)と) ミズハケな  
よおて (よくて) じっきん (すぐに) すいてくのなし  
なあ (て行くのです)。ミズハケ言う と 水の流れの  
事 水な (が) 流れてかせん (てい)かない) 言う事を  
水な (が) はけてかせん (て行)かない) 言うの (ので  
す)。

**みずばら (みづばら) (水腹) 【名詞】** 水を飲んで空腹を  
しのいで居る事。[会話] ミズバラ イットキ、チャ  
バラハントキ言うてなあ。ミズバラは 一時 (いっと  
き) 経って へつてくし (空いて行きます) 茶腹は  
そんでも (それでも) ちゃあな (茶が) いつとる (入  
っている) だけん (に) 二時 (にとき) 持つね (持っ  
のです)。水で 腹ふくらかす (ふくらます) となあ  
じっきん (すぐに) 腹な (が) すいてくね (空いて行  
くのです) 食べるもんな (物が) 無いよつて (から)。

**みずばらいつとき、ちゃばらはにとき 【俚諺】** 水で空腹  
を凌ぐのは少しの時間だが、茶で凌ぐと水腹より少し  
はましである。みずばら参照

**みずびしゃく 【名詞】** 水を汲む柄杓。(志 (立神)) [会  
話] こびしゃく (小柄杓) も有るし ミズビシヤク  
も それから 肥びしゃく (肥料をまく柄杓) も有る。  
甕の上ん きいの (木) 杓な (が) 置いて こえびし  
ゃくの ちっちゃい (小さい) よおなの (のです)。

**みずびたし (みずびたし) 水浸 【名詞】** すっかり水に  
浸かる事

**みずぶか (水深) 【名詞】** 水の多い田。いつも水が深々  
とある田。[会話] ミズブカやてら (とか) 水田や  
(だ) 言うて、水な (が) よけ (沢山) あるとこを  
(所)。

**みずぶくれ (みずぶくれ) (水脹) 【名詞】** 1) 体に浮腫  
が生じて居る状態 2) しまりなく太って居る状態  
3) 火傷などで出来る水泡 (志 (立神))

**みずぶとり (みずぶとり) (水太) 【名詞】** 体は肥満して  
いるが筋肉にしまりがない太り方

**みずぶね (みずぶね) (水船) 【名詞】** 浸水して居る船。  
船内に水が充満し、沈没しそうな状態の舟。(志 (布  
施田)) [会話] ミズブネん (に) したたんてわれ  
(してしまったそうだ) 言うて。昔や (は) 舟な  
(が) ちっちゃいもんで (小さいので) 荷物よけ (沢  
山) 積んですると 波な (が) ちよいと (少し) 荒い  
と ミズブネん (に) したてまあ (してしまつて) 言  
うて。ひい (樋・栓) を打つの (を) 忘れとて (て  
居て) ミズブネん (に) なつてくる時も有るしなあ  
(有ります)。ひい抜いて有るやんない (でしょう)

揚げてある時や (は)。舟おろす (浮かべる) 時や  
(は) ひいも 打てよ (打ちなさい) 言うて、一番に  
ひいは打つけど (けれど) それをだ ひい打つの忘れ  
て ほすと (すると) そやあれ (それ) ひいな (が)  
抜けとんのかして (て居るのか) ミズブネん (に) な  
つて来たない (なつて来た) 言うて、ひいな (が) ぼ  
かぼか浮いて来て、そいな (そんな) 時も ありおつ  
たわい (有りました)。舟な ちっちゃいもんで じ  
っきん (すぐに) ミズブネん (に) したて。ないざ  
(渚、波打ち際) 来とても (来て居ても) ミズブネん  
(に) したる (してやる) 時な (が) 有りおつた (有  
りました)。表 (舳) から ひつかぶせて来て (波が  
襲って来て) ミズブネん (に) したて 言うて、舟  
引くよおん (に) なんと おとしかりおつた (怖かっ  
た)。今しみたよん (今のよう)に) 堤防は無いし 太  
平洋真受けやよつて (だから) 波な (波が) ちよいと  
して来ると (少し高くなると)。表で はつとる (突  
つ張って居る) 人ら (は) えらかつて (大変で) 腕の  
ええ (よい) 人やなけな (でなければ) よお (よく)  
はりかた (張り方、つっぱり役) せらつた (出来なかつ  
た)。張り方 するもな (者は) えつぼど (よほ  
ど) かいしよ (甲斐性) の有るにげやなけな (人間で  
無ければ)。冬の寒中에서도 とびこみやあるいて (海  
へ入って)、おなご (女) らは いそなかね (磯腰  
巻) して 腰ざり (迄) 入って 舟 引くよん (よう  
に) なんと 寒中もなんも言うとろかい (言つて居ま  
せん) さぶい (寒い) も つめとおも (冷たくも) 無  
いの (のです)、おとしもんで (怖いので)。舟引くの  
ん (に) みんなな (皆が) 寄つて 引きやい (引きあ  
い、手伝う) すんねけど (するのだが) 波の そや  
(それ) なまや (波間だ) はよ (早く) つけて来い言  
うて、なまの時ん (に) つけて来て にげな (人間  
が) おおぜ (大勢) の時なら よいよいとしたんねけ  
ど (してやるのだが) すけないと (少ないと) よおひ  
いとらんと (引いて居ないと) 表から うちつけられ  
て (波をかぶつて) 横倒しん (に) したりすると、お  
として (怖くて) 舟 引くよん なんと 波なしてく  
ると (海が荒れて来ると) おとしかりおつたの (怖か  
ったのです)。風な (が) ぴらっとして来ると 波な  
出来て来て (高くなつて) 舟 引くのん (に) ほんと  
ん (本当に) 心配しよおつたね (して居たのです)。  
しっかり張れよお言うて そやよつて (それだから)  
張り方するもな (者は) 年寄りの考えの有るにげやな  
けな (人間でなければ) 若いもんら (者は) よお張り

方しやせん（しません）。わしら（私）張り方しよおったけど（して居たが）おとしかりおったわい（怖かったのです）。張り方しとても（して居ても）力 いっとらんと（入って居ないと）横倒しん（に）ひっくり返して来るやんない（でしょう）。早よ（く）ひきやげてくれや（引き揚げてくれれば）ええのんおもて（よいのに思つて）さお（手竿）張つとてもなあ（て居ても）。まけてた（転覆した）とか ミズブネン（に）したた（してしまった）とか 沈没してく言うこた無いわい（事は有りません）。ミズブネン（に）なつたとか、ひっくり返したる（てやる）時な（が）有るなあ（有ります）。杉のずうきん（頭巾）被った言うて、昔の人ら 舟まけたて（転覆させてしまつて）舟 被ると ほんまあ（本当に）今日は 杉のずうきん被つて言よおったなあ（言つて居ました）。舟は 杉やんない（でしょう）そやもんで（それなので）杉のずうきん被つて言うて。

**みずぶるい（みづぶるひ）（水振）【名詞】** 乾燥させて水分を除く事。海藻を乾かす時、裏表をひっくり返して乾かす事。[会話] ミズブルイ はよせな（早くしなければ）そや はさん（干し竿に）食われたんど（てしまふぞ）言うてなあ、海から 揚げて来たのをなあ すぐん（に）干してすると しじくな（雫が）落つて（落ちていって）じっきん（すぐに）はさい（に）ひつついてくね（行くのです）はよ（早く）ミズブルイせな はさい（に）ひつつけたんど（てやるぞ）言うて。重ねて干すと ええんけどなあ（よいのだが）はあ（葉）一枚 広げたと（てやると）日な（が）ちよいと（少し）照つて来ると はさい（へ）皆 引っ付いててなあ（て行つて）そやよつて（だから）ミズブルイ言うてな てえ（手）かえすのおを（のを）ミズブルイせえ（しなさい）言うて、手入れする てがえしすんのを（手返しするのを）裏返すのおを（のを）あっちゃ（あちら）かえし こっちゃ（こちら）かえしすん（る）のを。

**みずぶろ（みづぶろ）（水風呂）【名詞】** 水だけの風呂 湯の温度をあげてない風呂

**みずばおそ（みずばうそ、みづばうさう）【名詞】** 水痘。みずばうそう。ひぶくれ参照 [会話] ひぶくれ（水泡）ミズボオソな（が）して来るやんな（でしょう）。あげんして（あんなにして）始めして来て 赤味持つて ふちな（周囲が）あっこお（赤く）なつて そのふちな（周囲が）痛いね（痛いのです）。

**みすばらし【形容詞】** みすばらしい。外見が貧弱である。

貧しげである。[会話] おおた ミスボラシなあ、そおしきどな（会葬者が）のて（無くて）言うて、みとみない（見苦しい）言う事をなあ、ミスボラシなあ言うてなあ。あの家やなあ（は）つね（平常）に 人らげんのお（人の家のを）いてないよつてん（行つて無いから）そおしきども ちょおいと（少し）よりのて（無くて）ミスボラシかつたなあ言うて。貧しい家の子な（が）みなりなわりとなあ（服装が悪いと）ミスボラシ、みぶりして、さぶそおん（寒そうに）冬ん（に）なつても オーバも無いし びんぼや（貧乏家）はなあ べつんも（特に）ミスボラシかつたなあ。

**みずまあす** 熱い物、味の濃い物に水を入れて薄める

**みずまあり（みずまわり、みづまわり）（水回）【名詞】**

台所。洗濯場など水を多く使う所。みずまわり。[会話] だいどこや（台所とか）洗濯場で水を使うところを ミズマアリな（が）あの家や（は）よお（よく）して有る言うて、勝手も 引いて有る 外ん（に）も 引いて有つて あの家や（は）どいらい（大変）便利よお（よく）してあられ（ある）言うて、よお言うわい（よく言います）。

**みすます【他サ五】** 一生懸命に見る 窺ひ見る 注意して見る

**みずまど【名詞】** 水甕の近くの窓 [会話] ミズマドやどけん（などに）あんな（あれが）して有ると、じっきんうちやれてて ま ひじつばな（が）うちやれてたよお（壊れてしまった）言うて。

**みすみす【副詞】【形容詞】** 是非なく。しかたなく。分りきつて居るさま。[会話] ミスミス 見逃したたよお（てしまった）言うて。みとておつて（見て居ながら）のがした（逃がした）、やつたと（やつてしまふと、逃がしてしまふと）目の前い（へ）来たの ミスミス 見逃したよお言うて。仕方なく 言うよおな意味やなあ（です）。見逃したらいかん（いけない）のを 見逃したる（てやる）場わい（やよつて（時だから）仕方なしん（に）言う意味やわい（です）。目の前い（に）おつたのん（居たのに）ミスミス 見逃した言うて 見とても（見て居ても）なつとも（なんとも）仕方が無かつた言うよおな意味やわいなあ（です）。

**みずみずし（みづみづし）【形容詞】** 新鮮である。水分を多く含んでいる。

**みずむけ（みづむけ）（水向け）【名詞】** 盂蘭盆の行事。盆の十三日に行われる死者の霊前に水を供えて霊を祭る事。水をたむける事。（志（立伸）、鳥）[会話] 盆

のミズムケ。ミズムケいかなはざんわれ（行かなければいけない）言うて 朝はよから（早くから）。昔や（は）みいとこい（三ヶ所へ）剣光寺に じょおしん（龍珠院）に それから かんおんさん（観音様）へも行きおったやんかい（行って居たで有りませんか）。そやよって（だから）朝ごつと（毎朝）ミズムケ、今しゃ（今は）檀家だけでええけど（よいが）昔や（は）じょおほお（両方）の檀家い（へ）行きおったもんで（行って居たので）朝ごつと ミズムケ その忙しのな（が）。ほんとん（本当に）朝はよ起きんならんし（早く起きなければいけないし）よさや（夜は）いつ迄 起きとるし（て居ます）。夜中起きてミズムケん（に）行かんならんし（行かなければならないし）。今しゃ（今は）三回喰わしやええけど（食べさせればよいが）前にや（は）四回喰わしおったね（食べさせて居たのです）夜食も 喰わして（食べさせて）。そやよって（それだから）昔の人ら言よおったやんかい（言って居ました）。“盆や盆やと 盆楽しんで 盆にぼぼした ためしなし。”言うて ぼぼしとるひま（時間）も無しに まあ寝る 暇な（が）無かった言う事やわい（です）。朝はよ（早く）からよさり（夜）も おっそお（遅く）迄言うて。“盆おなご（女）に せち男”言うて 盆は おなごな（女が）忙がして（しくて）しょんがつにや（正月には）男らは 年始廻りん（に）行かんならんよって（行かなければいけないから）男な（が）忙がして（忙しくて）。

**みずむろ【名詞】** 魚。アジ科ムロアジ属の海魚。稜鱗は側線直走部の3/4を占め、体高が低く、胸鰭は短い。頭頂鱗は眼の後部で終る。食用になる。体色が海の色に似るところから（志、尾、熊）[会話] ミズムロ言うな（のは）せながの事なあ（です）。ほんむろ言うのは 背筋に きい（黄）な筋な（が）入つとんのを（ているのを）言うんなし（言うのです）。ミズムロ言うな（のは）背筋に きいよい（黄色い）線な（が）入つとらせんの（入っていないのです）。せながは 生で食わんと（食べずに）塩して食うたり（食べたり）焼いたり 煮付けたりすんの（するのです）。せなが旨いね（のです）そやけど（しかし）ほんむろは あかむろ言うて 刺し身で食うと（食べると）旨いの（のです）。

**みずもち（水持）【名詞】** 土地の水の保持力。[会話] ちどこ（岩盤が下にある所）は ミズモチな（が）よおてええね（よくてよいのです）たあ（田）すると。

**みずもち（みづもち）【名詞】** 葬列に水を持つ役。（阿）

**みずもち（水餅）【名詞】** 水に漬けて保存された餅。くざけもち（鈴市、度）[会話] くざけもちを ミズモチなあ（です）。こがい（四斗樽へ）入れて 水 入れてなあ、そんだい（その代わり）水 かえなはざん（なければいけません）。しんがつ（四月）も五月もなっても 水さい（さへ）変えると おなしよん（同じように）しとんのなあ（しているのです）そんだい 変えんと（ずに）おると はこ嗅そなって（大便臭くなって）来てなあ。

**みずもと（水元）【名詞】** 田の畔にある水の取り入れ口。[会話] たあい（田へ）水な（が）来るよん（ように）ちょいと（少し）畔い（へ）真中の、水の流れのええとこ（よい所）に ミズモト言うて あいとんね やんかな（あいているのです）。

**みずや（みづや）【名詞】** 食器、食品を入れて置く戸棚。鼠入らず。（阿、張、名、南）[会話] ミズヤ言うのは 置戸棚の事なあ（です）ミズヤ言うね（言うのです）。昔や（は）ミズヤい（へ）入れとけ（ておけ）言うて。そして（そうして）冷蔵庫は井戸飯もなんもかも（すべて）皆 井戸い（へ）つりおったの（つって居たのです、吊しました）。そやけど（それだが）美味かりおったわあ（美味かったのです）あんな（あれが）井戸い（に）冷やして有ると丁度ええかげんで（よい具合で）。昔や（は）冷蔵庫な（が）無いもんで（ので）井戸いなあ（へ）皆 さががらかしおつたの（つるして居たのです）。魚でも牡丹餅でも。牡丹餅すると じっさん（すぐに）あんもん（餡物）は ねぐそなつくやんない（腐り臭くなって行くでしょう）。それやもんで（だから）牡丹餅しても 二重かがりん（籠に）入れて 井戸い（へ）さががらかしおつたの（つるして居たのです）。

**みずやり（みづやり）【名詞】** 撒水。植物に水を撒けること。[会話] 植木い（へ）水やる言うのをなあ ミズヤリ。

**みせえ** 見せなさい みせたる参照

**みせかど（店門）【名詞】** 店の前 店の出入口 みせさき [会話] 店屋の前の事。ミセカドで なつちやら（なんとか）しとるやんかあ（しているでないか）。あの子ら（は）なんやら（なにか）欲しそおん（に）言うて。欲しても（欲しくても）ぜん（銭）も、のおて（無くて）うろうろしとる（している）こおな（子が）おるやんかな（居るで有りませんか）。

**みせがね (見金) 【名詞】** 相手を信用させるために見せる金

**みせさき (店前) 【名詞】** 店の前。店の出入口。[会話] ミセサキも みせかども 一緒にの事。おかた (大体) ミセサキ言うな (言います) ミセサキい (へ) 立ってまあ言うてな。

**みせじまい (みせじまひ) (店仕舞) 【名詞】** 1) 閉店時間が来て商売を終る事 2) 廃業

**みせたない。みせたねえ** 見せたくない。[会話] おらぎゃ (俺の家は) 楽屋 覗かれた言うんてや (言うのです) 人にミセタナイ、乱れたとこやなあ (所です)。

**みせたる** 見せてやる [用例] 私ん (ののを) ミセタルよって (から) あんたんのもみせえ (貴女のものも見せなさい)。

**みせたるわい** 見せてあげます [会話] ミセタルワイ それ見とけえ (見ておきなさい)。

**みせつける (見付) 【他カ下一】** 1) 人に得意になって見せる。わざと人目につくように振る舞う。2) こらしめる。難儀な目にあわす。[会話] 1) おらん (俺に) ミセツケテ 食うて言うて、なんやかやなあ (なにやかや) 見せといて (ておいて) 食うと (食べると)、みせびらかす言うのも 一緒にやなあ (です)。おらん 食え (俺に食べよ) とも言わんと (言わずに) わがとらばっか (自分達ばかり) むしゃむしゃ ミセツケトイテ (ておいて) くとんね (食べているのだ) 言うて。

**みせてえ** 見せて下さい。[会話] 見せて下さい言うのを、だい (どれ) わしもちよいと (私も少し) ミセテエ言うのなあ (です)。

**みせばん (店番) 【名詞】** 店の番をすること。又その人。[会話] 店のばんしとん (見張りしているのを)。売り子を ミセバンや (だ) 言うなあ。ミセバンもせんと (せずに) 言うてなあ。

**みせびらかす 【他サ五】** 自慢して見せる。ひけらかす。見せて誇るようにする。[会話] なんやかや有る言うて。風呂敷広げて (自慢して) 言うの (のを) ミセビラカシテ、なんものおておって (なにも無いのに) 有るふり言うのをなあ ミセビラカス言うのなあ (のです)。自分がこしらえたもん (作った物) 此れこさえて、ええやんない (作ってよいでしょう) ええやんない言う時な (が) 有るわい (有ります)。そいな (そんな) 時 ミセビラカス べつもん (特に) わがのおな (自分ののが) ええよおん (よいように) 言うて。ミセビラカシテ言うて。字 書いたのおでも (ので

も) わしな (私が) 書いたの見てええ (見て下さい) 言うて、見せる人も おるやんない (居るでしょう)。そすと (そうすると) そいなのおも (そんなのも) 言うなあ (言います)、こしらえたもんでも、品もん (物) でも ミセビラカス。自慢して ほしらめる (ほしがらせる) 言う事や (です)。わしや (私は) 上手やんない (でしょう) 言うて、ほしらめる事を。ととな (夫が) かかん (妻に) させえ言うて させんとおって (させずに) 朝 起きて来て 火 焚くよおん (に) になると ひいたきば (火を焚く所、かまどの前) で 立てひざして 見せて おれん (俺に) ほしらめて よさり (夜) させえ言うて 寄つてくと (行くと) させんと はねつけて おこしておってん (居て) 朝ん (に) になると ほしらめて 立て膝して言うて。

**みせびらき (店開) 【名詞】** 1) 開店 2) 大量に飲食した後、嘔吐する事。嘔吐。[会話] 1) 開店の事をなあ。今日はまあ ミセビラキで やすいねてない (そうだ) 言うて 皆 買いん (に) 行くのなあ (です)。2) げえ申すと (嘔吐すると) ミセビラキしたれ (しました) まあ言うてなあ 小間物店 出したとか 店出してまあ言うて 酒飲みな (が) するやんかい (します)。

**みせひろげる (店広) 1)** 嘔吐する。あたり一面吐き散らす。2) 物を散らかす。[会話] 1) げえ申して (嘔吐して) 店 ヒロゲテ そやれ (それ) 言うやんかい (言います)。ミセヒロゲル。小間物店出して言うやんかい。酒のおで (呑んで) げえ申したりするやんない (でしょう)。そすと あやまあ (あれあれ) 小間物店広げて言うて よお言うてや (よく言います)。2) 物 散らしとる (て居る) 時も 広げまくつとると (沢山広げて居ると) 店 出した位やなあ (だ) 言うて。よお 広げとると (て居ると) みやのささ吉 いた (行った) 程、広げて言うて みやのささ吉 言う家や (は) おもちゃ店やら なんやら (何か) 店屋やっ たんでわいなあ (だったそうです)。と よっけ (沢山) 家一杯広げとるもんで (て居るので) 広げとると みやのささ吉 いた 位やなあ 言うて。

**みせまい** 見せない。見せてやらない。[会話] ミヤマイヤネエ (見ないでおこう) ミセマイヤネエ言うの。おら (俺は) あれん (に) ミセマイ言うて かくしぐい (隠れて食べる) して。なんでも (なにでも) ミセマイ言うて、わがとなもん (自分の物) 一つも みせやせんね (見せないのだ) 言うて、わがとばっか (自



分ばかり) 隠しとて (ていて) おらん (俺に) ミセマイ言うて 見せてやらない。あんたん (貴方に) 見せんとなあ (ずに) おらばつか (私達だけで) こっちゃ で (こちらで) 内緒ですとなあ 俺ん (に) ミセマイ言うて ふたんな (二人が) なんしょ (内緒) して言うてなあ。

**みせまいや。みせまいやねえ** 見せないでおきましょう  
相談の時 みせまい参照

**みせもん【名詞】** 見世物の訛 1) 他人から料金を取って珍しい物や芸を見せる。興業。2) 他人から興味本位で見られること。又その物や人。恥かき。(志(布施田)) [会話] 1) ミセモンな (が) きいおったやん かい (来て居たで有りませんか)。いろいろなもんな (物が)、かりわざや (軽業だ) とか、獅子まあしとか言うてなあ。ミセモンな (が) きとんど (来ているぞ) まあはよ あっちゃい (早くあちらへ) いて (行つて) 見て来いまあ (来なさい) 言うてなあ。そすと (すると) 其処ん (に) じつと 立つととなあ (ていると) おた ミセモンな (が) 来たよん (ように) 其処ん (に) いつまで 立つとんねど (ているのだ) 言うてなあ。2) そいな (そんな) 事したら 人ん (の) ええ (よい) ミセモンやれ (だ) 言うてなあ、人ん (に) みやれんど (見られるぞ) 言う事をなあ、ミセモンにあうど (合うぞ) 言うてなあ、変な格好したり 変な行いをするとなあ ええ 人の ミセモンやれ (だ) 言うてなあ。

**みせや(店屋)【名詞】** 商店。(志(布施田)) [会話] しよんがつ (正月) 掛け取りや (だ) 言うて、ミセヤから かつとんのおを (借りて居るのを)。

**みせや(見)** 見せれば

**みせやせん** 見せない。[会話] おら (俺は) まあ か こといて (しまっておいて) のおみたよなもん (お前のような者) に ミセヤセンわれ (です) 言うて。あ のひた (人は) わがとばつか (自分ばかり) みとて (見ていて) わたしらん (私達に) 一つも (少しも) ミセヤセンねんなあ (のだ) 言うたりなあ、見せない言う事。なんも (全く) あや (彼は) 隠しとて (ていて) 人ん (に) ミセヤセンね言うて。

**みせやせんね** 見せないのだ みせやせん参照

**みぜん(身銭)【名詞】** 自分自身の金銭。みぜんきる参照  
**みぜんきる。みぜんだす** 自腹を切る。自分の金を拂う。  
[会話] ミゼン言うな (のは) わがとな (自分の) 金。わがとなぜん (銭) ミゼン出して 自腹切つて言うて。わがとな (自分の) 懐から出すとなあ ミゼンダシテ

言うて。ミゼンキル言うのも 言うし (言います) 仲間の物 買う時に 自分の金 拂う時ん (に) ミゼンダシテ 自腹切つたよお言うて。

**みそ【名詞】** 粥に雑穀、又は芋、南瓜を入れたもの。

(志) [会話] おかゆさん (粥) へ 芋や (とか) 南瓜 放り込む時 かぼちゃミソ言うて かぼちゃの飯言うのを かぼちゃミソ言うの (のです)。かぼちゃミソ 炊こや (炊きましよう) 言うて なんも (少しも) 味噌は入れやへんねけど (入れないのだが) かぼ ちやや (とか) 芋やとか 小豆やとか (だとか)、さ さげやとか 入れてすんのを (するのを) かぼ ちやミソ言うんやんかい (言うのです)。かぼ ちやめし言うのを かぼ ちやミソ。かぼ ちや入れると 味噌みたよ おに (のように) どろどろなるもんで (なるので) あ んで (あれで) かぼ ちやミソ言よおったんやろなあ (言つて居たのでしょう)。よさや (夜は) ミソ炊こ やんかあ (炊きましよう) 言うて かぼ ちやめし炊いたり 団子入れたりすんのを (するのを) ミソ炊けまあ (炊きなさい) 言うて。飯や (だ) 言わんと (言わずに) ミソ 炊け言うて。ミソ 炊こやんかれ (炊きましよう) 言うて、飯 炊こや (炊きましよう) 言わんと ぐしゃぐしゃ飯、炊く時や (は) ミソにしよお や (しましよう) 言うて。味噌やとか (だとか) 醤油とか 入れたのおを (のを) おじや言うんやんかい (言うのです)。そやけど (それだが) かぼ ちやと米と 小豆や (とか) ささげして (入れて) するもんで (ので) ミソ言うて。ミソ言うて 発音な (が) 違うの (のです)。発音な違うだけで 箸と橋言うよおなもんで (もので) 発音で聞き分けんの (分けるのです)。

**みそ(味噌)【名詞】** 肝心な所。特に工夫をこらしたところ。

**みそ【名詞】** 1) 蟹、海老の体内にある褐色をした脳髓  
2) 烏賊の肝

**みぞ【名詞】** とぶ。溝。下水。(志、鳥(答志)) [会話] どぶ (下水) を、流すとこなあ (所を) ミゾや (と) 言うの (のです)。ミゾい (へ) 流しておこして (よこして) 言うて、かみ (上、上流) から わりもん (悪い物) 流しておこしたてやら (とか) 言うて、ミゾい (へ) 流しとけ (ておけ) 言うたり (言ったり)。下水を、ミゾや (だ) 言うの (のです)。

**みそあえ(みそあへ)(味噌和)【名詞】** 魚肉、野菜などを味噌であえた料理。(南) [会話] 菜っ葉のミソアエ なすび (茄子) のミソアエ 烏賊のミソアエ お

いしいけどなあ (が) 胡麻味噌で 味噌を摺って いて  
な (ておいて) そん (の) 中へ 打ち込んでなあ (入  
れて) こねんの (るのです) ミソアエ。

**みぞいちち【名詞】** 溝に住むいちち。[会話] 溝におる  
もんで (居るので) ミゾイたち。

**みそおけ (みそをけ) (味噌桶)【名詞】** 味噌を作って貯  
えておく樽。[会話] 味噌樽 味噌仕込む たある  
(樽) をなあ ミソオケ言うんなし (のです)。

**みぞおち (鳩尾)【名詞】** 腹の中央上部で、胸骨下端に  
接する凹んだ部分。ミゾオチ (鳩尾) の訛 (大言海)  
(三重県全域) [会話] 胸の下な (が) へっこんどて  
なあ (で居て) ミゾオチな へっこんどる (でいる)  
言うてなあ。

**みそくそ (味噌糞)【名詞】【形容詞】** さんざんにけなす  
こと。(志 (布施田、甲賀)、阿)

**みぞげ【名詞】** 嫌だ。身の毛。後頭下部の凹んだ所の髪。  
[会話] おぞげ ミゾゲが よだつ (立つ、嫌だと言  
う事)。

**みそざい【名詞】** 飯の副食にする生味噌。[会話] ミソ  
サイ 生味噌 味噌そんだけを (それだけを) 味噌が  
めから出して来たのお (のを) 生味噌言うの (ので  
す)。それだけを おかず (副食) にする。生味噌で  
くやええわれ (食べればよろしい) 言うて、昔や  
(は) 味噌ばっかで (ばかりで) 喰とりおったわい  
(食べて居ました)。煮味噌んすや (にすれば) 美味  
いけど ちょいと (少し) 炊いたると (てやると) 又  
味な (が) 違うんけどなあ (違うのですが)。生味噌  
そんなりは (そのまは) 味噌臭いけど (が) 削りこ  
(削り節) 入れてすると うもおて (美味くて) 削り  
こ味噌は 一番ごっつおやった (御馳走でした)。胡  
麻味噌言うて ええ (よい) 匂いな (が) して、そし  
て 油やしなあ (ですので) 味な (が) つきおったの  
(ついたのです) 胡麻味噌は。

**みぞさらえ (みぞさらへ)【名詞】** 溝をさらうこと。溝  
掃除。[会話] 川ざらえ どぶざらえ 今しや (今  
は) 川ざらえしやせんけどなあ (しないが)。たあ  
(田) 作らせんよって (ないから) どぶ掃除や (だ)  
言うて 今しや 盆、正月にや (には) ミゾサラエす  
るけどなあ (が)。

**みそする** 1) へつらい、おもねること。相手に取り入  
るため、相手の機嫌をうかがうこと。 2) 失敗する。  
(北) [会話] 1) 味噌摺り鉢言うて、摺り鉢な (が)  
有って。ミソ スルくらいやなあ (だ) 言うて なん  
やかや (いろいろ) こすると。そやけど (しかし) 味

噌汁すると 味噌だまな (が) 有るもんで (ので) い  
くら言うて 摺ってなあ しいおったけど (して居  
ましたが)。摺り鉢で 摺る位やなあ 言うて なん  
(に) でも 上手言うて言うやんかいなあ (言いま  
す)。

**みそだま【名詞】** 味噌の中に潰れずに有る大豆。[会話]  
ミソダマ。味噌の中の豆な (が) つぶれんと (潰れず  
に) あんの (有るのを) ミソダマな (が) 有って言う  
て。昔や (は) ミソダマ食うと (食べると) 沖で 舟  
まけたおりん (転覆した時に) こごえんのな (凍える  
のが) 早いね (のです)、そやよって (それで) じよ  
おし (漁師) に ミソダマ食わすな (食べさせるな)  
言うて。摺り鉢い (で) じっばん (立派に) 三回位な  
摺ってな (は) 絞って また とごったの (沈んだの  
を) 摺りしてなあ ミソダマ入れやせんね (入れない  
のです)。

**みそだる【名詞】** 味噌を作り入れておく樽。[会話] 味  
噌仕込む たある (樽) をなあ ミソダル言うんなし  
(言うのです)。

**みそだれ【名詞】** 味噌で作った、つけ汁、かけ汁など。  
[会話] ミソノタレ言うんかい (言うのですか)、酢  
味噌ん (に) こしらえて 生のもん (物) つけて 食  
うたりなあ (食べたり)。

**みそつきば【名詞】** 味噌を仕込で後、塩分などを均等に  
するため、味噌を混ぜかえす棒。(志) [会話] 味噌  
つく (仕込む) こねんのおを (こねるのを)、てえ  
(手) 突っ込まんで (なくて) ええよん (よいよう  
に) になると ミソツキボ言うのな (が) ありおった  
(有りました)。

**みそつく** 味噌を仕込む 味噌を作る

**みそづけ (味噌漬)【名詞】** 味噌の中に入れて作った  
漬け物。[会話] 味噌ん (の) 中い (へ) なすび (茄  
子) や、だいこ (大根) や、人参や とんがらし (唐  
辛子) のはあ (葉) や すんのなあ (するのが) ミソ  
ヅケ。てのぐい (手拭) の 袋い (へ) 入れて 味噌  
い (へ) つつこんどくと (突っ込んでおくと) どいら  
い (大変) うまいんてや (美味しいのです)。保存食や  
わな (です) 一年中それで有るもんなあ (有ります)。  
大根も (大根漬けも) 味な (が) 変わってたのおを  
(ていったのを) ちょっと (少し) 水出ししといて  
(しておいて) したり 干しだいこを しよおった  
(して居ました)。

**みそつけた** 失敗した。恥をかいた。[会話] 下手な事  
したた (してしまった) 時ん (に) ミソツケタよお言

うて 失敗した時ん (に)。

**みそつける** 失敗する。恥をかく。面目を失う。[会話]  
失敗したとなあ (してしまうと)、ほん (本当に)  
えらい (大変な) 事やったよお (してしまった) ま  
ミソツケタヨオ言うて。言葉でも わり (悪い) 事言  
うたると まあ ミソツケル あいな (あんな) 事言  
うたて (言ってしまった) まあ言うて。

**みそなくさる** 1) 味噌の味が変わる。有り得ないことが起る。2) 下手な歌や悪い声をののしって言う語。  
(志 (布施田)) [会話] 1) ミソナ (が) クサル。昔  
や (は) 不幸事な (が) 有ると 味噌の味な (が) 変  
わる言うて。人が死んだりすると なんやら (なに  
か) 変な味んなってて (になつていつて) 喰われんよ  
おん (食べられないように) なってく (て行く) 時な  
(が) あんねてや (有るのです)。味噌の味かえたた  
(変えてしまった) 言うて。親のわりのおと (悪いの  
と) 味噌のわりなあ (悪いのは) 治されん (治せない)  
言うて 味噌の味な (が) 変わつてくと (て行く  
と) めつたん治られんね (絶対に治らないのです)。  
そすと (すると) 親な (が) わりのおも (悪いのも)  
治されやせんやんない (治せないでしょう)。2) 下手  
な歌、歌うと 味噌の味な (が) 変わられ (変わる)。  
ミソナクサル よおな歌や (だ) 言うて。

**みそばこ** 【名詞】副食にする味噌を入れる、うるし塗りの小さな木箱。[会話] まるくたあいのおに (丸いの  
に) 漆な (が) 塗ってあつて それい (それへ) 味噌  
入れるもんで ミソバコ言よおつたんなあ (言つて居  
たのです)。それい (それへ) 味噌入れて 山や、た  
あい (田へ) 行くのん (の)に もてきおつたの (持っ  
て行ったのです)。ミソバコの (が) 塗って有つて、  
おかず入れたり、味噌入れたりする。小さいの (の)  
です)。ちょお (蝶番) になつとるのな (のです)。磯、  
行くの、それ持つてきよつた (持って行きました)。  
今しみたいいに (今のよう)に アルミニウムの弁当が  
ら (弁当箱) 無いやんない (無いでしょう)。あやせ  
んもんで (有りません、無いので)、なんでも、絵の  
まげもん (曲物) ミソバコへ、味噌一杯入れて、胡麻  
入れて、掻き混ぜといて (ておいて)、磯 行つて、  
きゅうりを 削つて生で喰うたり、味噌ばつか (だ  
け) さい (副食) にして喰いおつた (食べて居まし  
た)。

**みそびや。みそべや** 【名詞】味噌樽を置く部屋。往時は  
二、三年越しの味噌を蓄えたため、同時に漬け物樽な  
ども置く。(志、南) [会話] ミソビヤも ミソベヤ

も 一緒や (です)。ミソビヤ言うてなあ、たある  
(樽) をな べつん (別に) おだれしといてなあ (庇  
しておいて) 涼しとこい (所へ) 味噌置かな (なけれ  
ば) 美味ないよんなつてく (ようになって行く) 言う  
て、ミソビヤ 別ん (に) しいおつたわい (して居ま  
した)。家ん (の) 中は ほとるもんで (温まるので)、  
味噌 涼しとこい (所へ) 置かな (なければ) 味な  
(が) 変わつてく (て行く) 言うて 何処でも ちよ  
いとした (小さな) おだれい (庇へ) ミソビヤは 別  
ん (に) 建ておつた (ました)。

**みそめめ (味噌豆) 【名詞】** 大豆。大豆を味噌に作るの  
に用いるので あぜめめ参照 (志) [会話] 大豆 ミ  
ソマメ。大豆、はな (糶) つけて。

**みそめめぐり 【名詞】** 味噌が体の処々について汚れるこ  
と。味噌と混ぜ合わすこと。めめぐる参照 [会話]  
御飯食べても 味噌で食べおつたもんで (食べたの  
で) 味噌 まめぐつて食べて ミソマメグリン (に)  
して言うて まめぐる言うな (のは) まぜあわす。

**みそもくそも** 玉石混交

**みそんほねなある 【俚諺】** 皮肉っぽく執拗である。[会  
話] ミソん (に) ホネナ (が) アルよおんしとて  
(ようにしていて) 言うて、ねつつこい (しつこい)  
よおな にげ (人間) は、はつきり言わんとおつて  
(言わずに居て) 苦いよおな顔してしとると (してい  
ると) すかんにげや (嫌な人間だ) ミソンホネナアル  
よおな にげや 言うて。

…**み**たい 【助動詞】 そのようだ。よく似て居る。のよう  
に。…を見たやうの転 (広辞苑) (桑郡、桑市、多、  
張、度、北、南) [会話] かざも (蕁麻疹) は ふさ  
な (蓋が) なんも無しん (なにも無くて) ぽこんぽこ  
んと 牡丹ミタイン (に) して来んの (来るのです)。

…**み**たいな 【助動詞】 そのような。のような。見たる様  
なるの意の転 (大言海) (鈴市、津、多、上、張、伊、  
北) [会話] あほ (阿保) ミタイナ言うて。よお (よ  
く) 似た言う事をなあ 較べる時ん (に) ミタイナ言  
うてなあ。

**みたいなもん 【名詞】** のようなもの (物、者)。(志、鈴  
市、張、度、南) [会話] あげな (あんな) ミタイナ  
モンナア。わり (悪い) 事言う事やなあ (です)。こ  
いな (こんな) わりもん (悪い物) を 言う事をなあ  
こいな (こんな) ミタイナモンや (だ) 言うて 較べ  
て見てなあ あれ みたよん (のように) 言うてなあ  
わりもん 出すと こいな ミタイナモンを出して言  
うて。

**みたい**に【助動詞】そのように。のように。(志、具、鈴市、阿、張、伊、北、南、熊) [会話] みたいな言う人も有るし あれミタイん (に) みたよおに言う人も有るけどなあ (が)。あれ みたいなな あ (だ) 言うな あ (言います) あれ ミタイニ言うてな あ あれと同じよおに言う事を。

**みたいや** 様だ。(鈴市、津、多、阿、伊) [会話] ミタイヤ言うて しなもん (品物) を、較べる時言うけど (言います) 人間でも あれ ミタイニ言うて。あの人ミタイニ ちんば (びっこ) 引いとる (てい) とか かたんだる (傾いている) とか 較べて見てな あ。ミタイニ 言う人も有るし ミタイヤナア言う人もあるしやんない (でしょう)。

…**みたいん** 【助動詞】そのようだ。のように。よく似ている。みたいに同じ。[会話] さいずち (榎) ミタイン 頭ぺこぺこ下げる。

**みたけ** (身丈) 【名詞】 1) 身長 2) 着物の襟のつけねから裾までの背縫の長さ

**みたけ**。**みたけんな** 【動詞】 見た事か [用例] そや (それ) ミタケンナ。おんな (俺の) 言う事、聞かせんよつて (聞かないから)。

**みだしなり** 【名詞】 身嗜み。身の廻りについての心掛け。[会話] ミダシナリの ええ (よい) 事言うんやわい (言うのです)。装束言うて。

**みたす** 【他サ五】 満足させる。満足する。一杯にする。あふれさせる。[会話] ミタス言うと 満足さす (させる) 言う事やんかなあ (です)。腹ミタシとけ (ておけ) 言うて 腹ふくらかしとけ (ておけ) 言うのを。

**みたた** 1) 見てしまった、見てやった 2) 扶養してやった 3) 看病してやった

**みたて** (見立て) 【名詞】 1) 選ぶ事。見て判断する事。外観。2) 診断。[会話] 2) ミタテな (が) ええ (よい) わり (悪い) 言うて。あの医者どん ミタテな (が) よおて (よくて) どげな (どんな) 病気でも よお (よく) 見付ける言うて。1) 反物や (とか) 服や どけ (など) 買いいんても (に行っても) ミタテル言うのなあ (のです)。あの人な (が) 買うもん (物) ミタテンの (みたてるのが) 上手な あ (だ) 言うて、がら (模様) 見たり、かた (型) 見たりすんのん (するのに) ミタテな (が) 上手やな あ (だ) 言うて。その人に合わせた よおにやう (よく似合う) 言うのを上手ん (に) 選ぶ。2) そして 医者どんは 病気、診んのん (るのに) 上手な と (だと) ミタテな (が) ええね (よいのだ) あの医者どん 言うて。1) ミタテば

っかよおて (ばかりよくて) あのひた (人は) 言う場合 (時) も有るしな あ (有ります)。ミタテばっか で 見たのおは (のは) 賢そおに しとんね けど (して居るが) ミタテばっか で 中身や (は) 腐っ とんね (て居るのだ) 言うて。ミタテばっか で なんもよおせん (なにも出来ない) とか、見たら なんもかも (すべて) よおするよおなかたや けど (姿だ) ミタテ ばっか で なんもはざん (全く駄目) 人やな あ (だ) 言うて、利口そお に見えて おつて (居て) なんもよおせん と。

**みたて** 1) 見てやって下さい 2) 見てしまつて 3) 扶養してやって 4) 看病してやって

**みたてのける** 見てはならないものを見てしまう。見る。[会話] ミタテノケル言うて わり (悪い) 事しとんの をな あ (しているのを) 見たた (見てしまった) 時 んな あ (に) まあ あの人な (が) 間男しとんの (しているのを) ミタテノケル とか、ぬすつと (盗人) して なんか (何か) 盗んどんの を (でいるのを) ミタテノケル言うて、見てわり (悪い) 事 ミタテノケル言うて。

**みたてる** 【他サ下一】 みたてに同じ。見て判断する。診断する

…**みたとて** 見ても [会話] あれやこれや言うて ミタトテ 負けやれ (だ) いくら言うても (言っても) いかん (いけない) 言う事やな あ (です)。

**みたとこ** 一見したところ、外見では

**みたない**。**みたないわい**。**みたないわな** (女性語) **みたないわれ** 見たくない

**みたま**。**みたまん** (御霊様) 【名詞】 親の家の祖先。(熊) [会話] おやだまん言うのは 親の家の ミタマサンの事。

**みため**。**みためえ** 【名詞】 外観。他から見た様子。見た感じ。[会話] ミタメエ (目) は 蜜柑もあつこ おて (赤くて) 器量な (が) よおて (よくて) がいん (大変) 美味そおん (に) しとる けど (しているが) 美味ないなあ言うて。

**みたもんかい** 【名詞】 何でも見た物を衝動的に買う人。[会話] なんやあと (何であろうと) かあやあと (彼で有ろうと) ミタモンカイやな あ (だ) 言うて、みたもん (見た物) こおて くんね (買って来るのです)。

**みたや** 見たら。試みたら。にえる参照 [会話] 煮え終わった時でも、蓋 取つて 突いてミタヤ やいこ い (柔らかい) まあ (もう) 煮えとられ (煮えている) 言うて。

**みたよな【助動詞】** そのような。(志、熊) [会話] わしら (私達) ミタヨナ お喋ら (達) 話の種は つきやせん (つきません)。

**みたよん** の様に

**みたらし(御手洗)。みたらしだんだ【名詞】** 串に刺した、つけやきの団子。京都下鴨神社礼の義で御手洗詣の時に売るのが有名、これによる名か。(志(鶴方、神明、志島、国府)、員、鈴市、安、津、松、多、阿、張、名、伊、南) [会話] ミタラシ。ミタラシダンゴ や (だ) 言うて たれな (垂、蜜が) つけてあんのな あ (有るのです)。

**みだり(乱)【形容詞】** まみれること。度を過して、むやみやたらであるさま。ミダリの連用形から(広辞苑) [会話] 汗ミダリ、汗ミドロ な った 言う んな あ (言います)。汗かいて びっしょん (に) となるとな あ 汗ミドレ な った とか、汗まめぐりん な った とか 言うてな あ 汗ミドロ か いて 言うて。

**みだりがまし【形容詞】** 乱雑で有る 無作法で有る

**みたる【他ラ五】** 1) 見てやる 2) 見てしまう 3) 扶養する 扶養してやる 4) 看病する

**みたれ** 1) 見てやれ。2) 見ました。[会話] ② 見ました言うのをなあ、俺もミタレ言うてなあ。ええ (よい) 事によらず、わり (悪い) 事によらず 見るとな あ のも見たか (お前も見ましたか) てや (と言え) 俺もミタレ言うてなあ、見ました言う事。① それミタレ 有るか無いか言うて 見てやりなさい言う事をなあ。体な (が) かげんなわり いて (調子が悪くて) 寝とると (寝ていると) はよ (早く) ミタレとかなあ。なにか そや無いわれ (それは有りません) そこら (其処辺) ミタレマア 言う時も有るしなあ。探したれ (てやれ) 言う事を 其処ら ミタレマア 落とすとらせんかあ (ていないか) 言うて。そのこお (子) も ミタレヨオ 言うて、おいたれよお (子守してやれ) 言う事を 面倒をミタレ 言う事をなあ こお (子) 守りすんのを なあ (するのを) そのこおも (子も) ミタレヨオ きい (気) 付けえよお (なさい) 言う事をなあ ミタレヨオ。

**みだれてくる** 形がくずれて来る。病気で褥創が出来たり、皮膚病が化膿して形がくずれて来る。[会話] どこやかや (何処でも) 膿で うじゃけて くんの (来るのを) ミダレテクル 言うてな。あや (あれば) ひえ (梅毒) で 乱れて くんの なあ (来るのです)。髪な (が) おわつとると (かぶさっていると) 乱髪 言うや んない (でしょう) それも 一緒やわいな (です)、

形がくずれて来る言う事やわな (です) ミダレテクル。汁な (が) たつて (出て) して くんの なあ (来るのです) 膿な (が) 出て して くんの を ミダレテキタ 言うてな ま 言うたら 形がくずれてくる わけやん かな (です) 鼻でも耳でも めえ (目) でもなあ。

**みだれる(乱)【自ラ下一】** 見にくい事。見苦しい状態になって居る。腐る、化膿してくづれる [会話] 爺さん な (が) ミダレ トンノオ (ているのを) 見よ おつた (見ました)。

**みちあがり【名詞】** 1) 潮の上がり始め。満潮の開始の時。2) 満潮の頂点。(志、鳥(石鏡、神島))

**みちあそび(道遊)【名詞】** 道草。目的地に行く途中で他の事をして時間を浪費する。(南) [会話] がっこ (学校) から 帰りん (に) 道草 しとん のを (しているのを) ミチアソビ してまあ、あっちゃい (あちらへ) なんか (なにか) なぶり、こつちや見い (こちら見て) あしこい (あすこへ) 寄りしとん のを (しているのを)。道草こお て 言うのなあ (です)。道草ばっか (ばかり) こお とん ね なあ それや よつて (だから) 家い (へ) くんの な (来るのが) おっそい ね なあ (遅いのだ) 言うてなあ。

**みちあみ(道網)【名詞】** 大敷網などで魚を袋状の網に誘い込む部分の網。(北、尾)

**みちいと【名詞】** 1) 魚釣りの糸 くちもと (はりす) より上の部分 2) 延縄漁に用いる幹縄 (島)

**みちか(身辺)【名詞】【形容詞】** 1) 身に近い場所。体の近くであること。身辺。2) 自分に関係の深いこと。

**みちがひ(みちがひ)(見達)【名詞】** 見まちがうこと。見込みが違ふこと。[会話] 見て 間違える事をなあ。あの人や (だ) おもたや (思ったら) 違う人 やつた ね よお (でした) 言うばやい (場合) に 見違えた 言うの。みまちがえ (見違い) をミチガイ。

**みぢかい(身近)【形容詞】** 1) 自分の近くにある 手近である 2) 親密で有る 3) 親類の者、近く of 者

**みちがえる(みちがへる)(見達)【他ア下一】** 見誤る 見まちがう

**みちかけ【名詞】** 満潮の始まり。[会話] 潮の に ちかけ、みつて (満ちて) 来た、につて 来た まあ ミチカケ やどお (だ) 言うてな あ 潮のは な な (が) 来た 言うの (のを)。につて来た言うてな あ 泡 ぶいて 来ると 潮のは な な (が) 来た たれ (来た) 言うて ミチカケ て くんの (来るのを) 潮のは な な (が) 来た 言うの (のです)。

**みちぎり。みちぎりする** 巫子を呼んで、死霊を呼び出

す。巫子寄せ。みこ参照 (志) [会話] わがなこおん (自分の子供に) 離れたり (死別したり) ととん (夫に) 離れたり する家や (は) ミチギリスンネ (するのだ) 言うて わが (自分の) 家へ 巫子頼むのおを (のを) ミチギリスル 言うね (言うのです)。

**みちさき【名詞】** 進んで行く道の前方。水先案内。[会話] ミチサキアンナイ 言うて、よお言うやんかいな あ (よく言います)。水先きつけて言うてなあ、案内してくのをなあ (して行くのを)。あしこの (あすこの) 家、ここの家言うて よお知らせとなあ (知らない) おせてもろて (教えて貰って) 歩いとると (ていと) あや (あれ) ミチサキ 付けて 歩いとられ 言うて。

**みちしお (みちしほ) (満潮)【名詞】** 満ちて来る潮。上げ潮。[会話] 潮な につて来る時んなあ (に) 潮のはなな (が) 来た言うのを ミチシオ 言うて。

**みちしょんべ【名詞】** 道の傍でする小便 道中での立小便

**みちすじ (みちすぢ) (道筋)【名詞】** 1) 通って行く道。道路。道路沿い。2) ものの道理。筋道。[会話] 1) ミチスジ おせてもろて (教えて貰って) 来たね (のだ)、あしこ (あすこを) こおいてなれ (行つて) こお曲がってなれ 言うて、大体を おせて (教えて) 貰うのを ミチスジおせてもろた (教えて貰った) 言うて、通つてく (て行く) 道を ミチスジ 聞きもて (ながら) 来たね (のだ) 言うてなあ。

**みちつんで【名詞】** 道ついで。行く道のついで。[会話] 行くつんでん (序に) 役場い (へ) も いて (行つて) 言うて。役場い (へ) 行くつんでん あれ家 (げ) も 寄つてこん (行こう) 言うたりなあ。ミチツンデん (に) もててくれえ (持って行って下さい) 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。行く道筋 やよつてん (だから) 行くつんでん もててくれえ 言うて。なん (に) か 頼む事なあ、行く序に言う事 やなあ (です)。役場い (へ) 行くねけど (のだが) あれげな (家が) みちばたやよつて (だから) つんでん もててくれえ とか言うてなあ 序に言うのを つんで言うてなあ。

**みちなか (道中)【名詞】** 1) 往来。道路。2) 目的地に行く道の途中 [会話] 1) たてて (改めて) れえ (お礼) にも 行かなはざんねけど (なければいけないのだが) まあ よお行かんとなあ (行かずに) 言うて、ミチナカで おおた (逢った) 時ん (に) れえ (礼) 言うたりすると。

**みちのあか (道垢)【名詞】** 旅の途中で使う金銭。無駄な費用。[会話] 他処いて (行つて) 戻つて来たりすると 旅費つことのおを (使つたのを) ミチノアカん (に) したた (してしまった) 言う時も有るやんかい (有ります)。他処いて (行つて) なんも (少しも) 銭 稼がんと (がずに) 戻つて来たりすると ミチノアカやつたなあ (だった) 言うて 言う時もあんなあ (有ります)。行き来の旅費に したた (してしまった) 言う事を ミチノアカやつたなあ (だった) 言うて。行きと帰りの 使い銭やれ (だ) 言うて、ふさんの茶山で 行きと帰りの 使い銭やれ (だ) 言う時も有るしなあ (有ります)。まあ ミチノアカへ (に) したたやつたなあ (してしまった) なんもなららた (なにもならなかった) 利益な (が) 無かつて 旅費つことだけ (使つただけ) 損やなあ (だ) 言う事 ミチノアカん (に) やつたなあ (与えた) 言うてなあ。

**みちのり【名詞】** 道程 行く道の距離

**みちばた (道端)【名詞】** 道路の傍。路傍。路肩。[会話] ミチバタのしょんべたご (小便壺) 言うて、道のはたん (に) 有るよつて (から) ミチバタ 言うのなあ (です)。あの家や (は) ミチバタやよつて (だから) 便利な (が) ええわれ (よろしい) とかなあ。

**みちばたのしょんべたご【俚語】** 多淫な女性。誰でも使用が可能な事から [会話] ミチバタノションベタゴ 誰でもなあ する言うて。男らな (が) よばんしいん (夜這いしに) 行くと、誰でも行くと 寝やして (寝させて) おこすにげ (人間) を、あや (彼女は) ミチバタノションベタゴで 誰でもすんね (するのだ) 言うて。

**みちはば (道幅)【名詞】** 道の横の広さ。道路はば。

[会話] 道な (が) ひいろい (広い) とか、せばい (狭い) とか言うのなあ (です) せばいとこ (狭い所) はなあ ミチハバな (が) せぼおて (狭くて) も おちよいと (少し) 広げてほしなあ (欲しい) 言うてなあ。

**みちぶしん (道普請)【名詞】** 道路工事。道路の修理。住民が出て道路の修理をすること。(志 (布施田、南) [会話] 道をなおすのおを (のを) ミチブシンし とて (して) まあ 通られやせんわれ (通れません) 今しやったら (今だったら) 工事しとる (している) 言うのをなあ。

**みちべた【名詞】** 道のほとり。路傍。道に接している方。[会話] 道の近く言うのをなあ 道い (へ) ついた方を ミチベタ になれ 置いてあられ (置いて有る) 言

うてなあ。道のふち（縁）を言う事やろなあ（でしょう）。道の側 真ん中やなしんなあ（でなくて）ふちをなあ ふちの方ん（に）置いてあられとか、ミチベタ通てけよお（て行きなさい）とか言うてなあ 端の方を ミチベタ言うてなあ。

**みちみち（道道）【名詞】** 道を歩きながら

**みちゆき（道行）【名詞】** 婦人の道中着 雨をさけるための物で襟がない

**みついち（三一）。みついちひとぶ【名詞】** 三分の一。  
（桑郡、員、一）【会話】 ミツイチ 俺家も分けてくれ（下さい）とかなあ、三分の一言わんと（言わずに）ミツイチ 言うて。三分の一言う事を ミツイチ 言うのなあ（です）。

**みっかがえり（みっかがへり）（三日婦）【名詞】** 婚礼後三日目に新婦が里帰りすること。（志（国府、浜島、布施田、鶴方、神明、立神）、鳥（坂手、答志）、鈴郡、鈴市、亀、津、安、松、多、上、阿、度、北、尾、南、熊）【会話】 嫁さんな（が）行くと 三日目に 帰ってくんの（来るのです）。三日経つと 家いなあ（へ）。来て要らんと（ないと）くん（来るな）言うて。その時ん（に）こんでもええ（来なくてもよろしい）言うて、戻されてくんの（来るのです）ミッカガエリなあ。そしてまあ 氣に入らんと（入らないと）さいご（その時）わがとも（自分も）ミッカガエリん（に）来（て）いて（来て）いて（来て）行かせんの（ないのです）。そやもんで（それで）三日ん（に）帰すん（帰す）やろなあ（のでしょう）。テストすんねやろなあ（来るか）こんか（来ないか）。氣に入らな（なければ）ミッカガエリに帰しいて（て）いて（て）後、呼ばせんし（ないし）まあ おら（俺は）あの家や（は）行きたくない（行きたくない）思うと（思うと）ミッカガエリ来（て）いて（来て）いて（来て）まあ（まあ）行かせんね（行かないのです）。

**みっかごもり【名詞】** 信心。祈願のため、三日間寺社へ参籠する事。【会話】 病氣したりすると 信心日待ち ミッカゴモリ 言うて、みっかあつ籠（参籠して）。

**みっかしよおがつ（みっかしやうぐわつ）（三日正月）【名詞】** 正月の第三日目。

**みっかじるし【名詞】** 1）連日、同じ事がおこる事。  
2）大漁が三日間続く事（北、熊）【会話】 2）大漁三日続けるとなあ ミッカジルシや（だ）言うて、しよおぶ（被って）なあ（なあ）晒の端を ちよいと（少し）赤に染めて それ しよおぶや（だ）言うて、かこ（水

夫）になあ。1）あや（彼は）ミッカジルシん（に）来とんねない（来ている）言うて。何処い（へ）行てもなあ 長く よお勤めん（勤められない）人をなあ あや（彼は）まあ ミッカジルシやれ（だ）言うて、三日坊主とかなあ。なんでもだ（何でも）三つ続けると ミッカジルシやなあ（だ）言うて、ごつおよ（ばれて）なあ（御馳走招待されても）三日続けて よ（ばれると）（招待されると）おら（俺は）今日は ミッカジルシん（に）よばれとんねよお（招待されているのだ）言うて 続けて 三日するとなあ。なん（に）でもなあ ミッカジルシや（だ）言うて。

**みつかど（三角）【名詞】** 三叉路。三方に道の分かれた地点。（南）【会話】 ミツカドなあ（ですか）、あっちゃ（あちら）と、こっちゃ（こちら）と 十の字やなしん（でなくて）三角のとこなあ（所です）。はつんま（初午）ののを ミツカドい（へ）行たら（行ったら）落とせよお（落としなさい）言うて、あんで（あれで）忌むねなあ（のです）。葬式の花籠も ミツカドで振るやんない（でしょう）。厄落としてもなあ ミツカドい（へ）行て 厄落としすんの（するので）餅をなあ。捨て子すん（る）のでも そややんない。ミツカドい（へ）行て（行て）厄年に生まれるとなあ 笠あおのけといて（て）いて（て）その上い（へ）乗せて来る、そやよつて（だから）笠あおぬけとくと（仰けておくと）嫌うやんない。

**みっかにあけず** 連日。間をあげないさま。たび重なるさま。しばしば。たびたび。【会話】 来てばつかおるとなあ（ばかり居ると）遊びん（に）こんでもええ（来なくてもよい）とものん（思っているのに）、忙ししとでも（していても）その人な（が）ミッカニアケズ来るもんで（ので）飽きる事を言うんやろなあ（言うのでしょうか）。おぞけやなあ（嫌だ）思う時な（が）有るやんかいなあ（有ります）。来てばつかおつて（ばかり居て）そいな（そんな）時になあ あの人な（が）ミッカニアケズきとんねもん（来ているのだから）言うてなあ。度々とか 何時も来るもんで（来ているので）言うんやろ（のでしょう）。度々なら ええねけど（よいのだが）いつも来とるもんで（来ると）飽きやれんねわい（られるのです）。

**みっかばしか【名詞】** 風疹。麻疹に似たビールス性発疹性伝染病。発疹は一〜二日で消失。色素沈着を残さない【会話】 ミッカバシカ言うと じっきん（すぐに）熱な（が）冷めて（下がって）かせてくのを（行くのを）。じっきん なおんのおを（すぐに治るの

を)ミッカバシカや(だ)言うて。はしか(麻疹)に  
よお似とんねけど(よく似て居るが)じっくん(すぐ  
に)かせてたり(治っていったり)熱もひいてたり  
(下がったり)すると、ミッカバシカやっとなあ  
(だったのだ)言うて。

**みっかびて** 連日 みっかじるし みっかにあけずに同  
じ(志(布施田))

**みっかばおず**(みっかばうず、みっかばうず)(三日坊  
主)【**名詞**】あきやすくて、何をしていても長続きし  
ないこと。またその人。[会話] 何処い(へ) 行ても  
(行っても)三日で戻って来る。ミッカボオズや  
(だ)言うて、少ししか(より) よお(よく) 勤めん  
と(勤めずに)じきに帰って来るのを ミッカボオズ  
やなあ(だ)言うて。

**みつがらわ** 【**名詞**】竹、又は棒を三本束ね、端を開き、  
物を乗せる支えにしたもの。さぎっちょ参照 [会話]  
竹でも杭でも さんぼゆわえて(三本くくって)脚  
ミツガラワにすんの(するのを)さぎっちょ。

**みつき**(見付き)【**名詞**】外から見た様子。外観。外見。  
みば。みたて。[会話] ミツキな(が) ええなあ(良  
いです) こや(此れは)言うて。ミツキばっかで(ば  
かりで) なんもはざんね(全く駄目なのだ)言うやん  
かい(言います)。ミツキや(は) がいん(大変) え  
えけど(よいが)美味ないなあとか。 見ためえ(目、  
見た所)は 蜜柑も あっこおて(赤くて)器量な  
(が) よおて(よくて) がいん 美味そおん(に) し  
とるけど(して居るが)ミツキや(は) ええけど 美  
味ないなあ言うて。着る物とか 服やどけでも(など  
も)ミツキやええけど ちよいと(少し)にやわせん  
よおななあたら(似合わないようだとか)言うて。み  
たても よお似とる(よく似て居る)ミツキは ええ  
けど言うななあ(のは)みたてや(は) ええけど言う  
わけやわい(です)。

**みつぎもん**【**名詞**】貢物。献上するもの、転じて袖の下、  
賄賂。[会話] あの人ん(に) 貰いだらなはざんわれ  
(でやらなければいけないです)。あの家や(は) び  
んぼ(貧乏)で なん(に)も、のおて(無くて)言  
うて。びんぼやもんで(貧乏なので)稼ぐにげな(人  
間が)無いよって(から) こっちやから(こちらか  
ら)養うのを 貰いだらな(なければ)言うて 情か  
けたる(てやる)事なあ(です)。ミツギモン もて  
かな(持って行かなければ)言うて、まじない(賄  
賂)を 人ん(に) なんか(なにか)してもらいたい  
事な(が)有ると、まじない 掴まさなはざんわれ

言うて、賄賂言うのを まじない言うのなあ(です)。  
まじない 掴まされたねやれ(のだ)言うて、頼ま  
れてする事を まじない掴まされて あや(彼は)い  
やいやしとんねどお(しているのだ)言うて。まじな  
い掴まされてとか 鼻糞舐らされたとか言うて 鼻糞  
で鯛釣られてまあ言うて。

**みつくち**(三口)【**名詞**】兎唇。上口唇が生まれつき裂  
けている奇形。(三重県全域)

**みつぐみ**(三組)【**名詞**】三つのものを一つに組むこと。  
特に女性の頭髮の組み方。[会話] ミツグミ言うて  
三つん(に)組むのを。髪を 三つん(に)分けとい  
てなあ(ておいて)組むのを ミツグミ言うて。わり  
な(ずいき)剥くと 皆 ミツグミん(に)組んで  
さがらかしおったやんかい(吊るして居たで有りませ  
んか)。三本を組むのを ミツグミ言うて。

**みつくらい**(みつくらひ)(見繕)【**名詞**】見て計うこと。  
見当をつけること。みつくらう参照。[会話] ミツク  
ロテくれえ(下さい)言うな(のは)、見て これと、  
これと、これとと言うて 較べる事を。こやええやんか  
い(これはよいです)言うて 品物買うのん(に)こ  
れ かおや(買いましょう)言うて 較べる事なあ。  
幾品も 揃えてするのを ミツクロテ こおて来てえ  
(買って来て下さい)言う場合な(が) 有るやんかい  
(有ります)。牛蒡や人參や干瓢や言うて する時な  
ら そお言うもん(物)を ミツクロテ こおて来て  
え(買って来て下さい)言うてな 適当にしてくれ  
(下さい)。

**みづくらい**(身繕)身支度。身ごしらえ [会話] き  
もん(着物)着て きちんとする言う事 ミツクライ  
言うのなあ(です)。

**みつくらう**(見繕)物色する。見はからう。様子をよく  
見て適当に選んでととのえる。みつくろう。[会話]  
ミツクラウ言うのは みつくらいをする言う事。適当  
に 自分が あれとこれとして ごっつおすんのん  
(御馳走するのに)これと、これと、これとして言う  
て 見て それ こおて(買って)来る事を ミツク  
ロテ こおて来てえ(買って来て下さい)言うて。家  
ん(に)有るもん(物)なら そこん(そこに)有る  
もん(物)を ミツクロテしてえ(して下さい)言う  
て、あれとこれと よって(選んで)するのを。

**みづくり**(身作)【**名詞**】身支度进行すること。みなりや  
髪などを整えること。[会話] ミツクリ言うんかい  
(言うのですか)。身嗜みも一緒やんかいなあ(です)。  
きもん(着物)着て きちんとする言う事を ミズク



り言うのなあ（です）。身を作る言う事をなあ（です）あの人 どいらい（大変）きちんとして ミヅクリな（が）ええなあ（よろしい）言うてなあ みづくろいとかなあ。

**みつくり**（**みつくりひ**）（**見繕**）【**名詞**】見計う事 見当をつける みつくり

**みづくろい**（**みづくろひ**）（**身繕**）【**名詞**】身支度すること。身なりや髪などを整えること。みづくり。みつくり【**会話**】ミヅクロイも みづくらいも 一緒や（です）。身嗜みな（が）ええ（よい）言う人も有るけどなあ。どこやかやい（何処かへ）行くのん（に）はよ（早く）ミヅクロイもせな（しなければ）おそなんど（遅くなるぞ）言うて、きもん（着物）着て 帯もして ちゃんとせな言う事をなあ ミヅクロイ言うて。

**みつくろう**（**みつくろふ**）（**見繕**）【**他ハ五**】適当に選んでとのえる。みつくらう【**会話**】見て揃える言う事を ミツクロテクレエ（らって下さい）言うてなあ。

**みつけもん** 【**名詞**】思いがけなく手に入ったもの。見付物。探し出して見出したもの。【**会話**】こやまあてんぼ（大変）な ミツケモンやなあ（だ）言うの（のです）。掘り出しもんや（物だ）言う事を。思惑より出ました言うも 同じ事で おもわんもんな（思わぬ物が）出た時んな（に）こや（これは）まあ ミツケモンやなあ（だ）言うてなあ。

**みつけられた**。**みつつけられた** 発見された。隠れているところを、隠しているものを見出された。【**会話**】ミツケラレタ、ミツケラレタ 一緒の事や（です）。ミツケラレテまあ言うてなあ。みつけた言うて 有った言う事をなあ。ミツケタヨオ（みつけました）言うて かくれんぼしとても（していても）みつけられると ミツケラレタ言よおったやんかい（言って居たでは有りませんか）。

**みつけられて**。**みつつけられて** 見つかつて。【**会話**】盗み食いしとたら（していたら）ミツケラレテ言うて ミツケラレテ言うね（言うのです）。

**みつける**（**見付**）【**他カ下一**】1）探す。探し出す。（上）2）見慣れている。（自動詞）【**会話**】<sub>1</sub>）ミツケル みつけられた言うて かくれんぼ（鬼ごっこ）して かくれとと（て居ると）探しん（に）行くと、見つけられた 見つけた言うて。海女な（が）磯い、いても（海へ行っても）おおび（鮑）見つけたとか、蛸 見つけたとか みんなの（見るのを）ミツケル言うて。探して そこに物が有ると みつけたとか あ

すこい（あの所へ）見つけとて来たれ（見つけておいて来た）言うて。山い（へ）松茸な（が）有るとこ（所）見つけとて来とんねけど（来て居るのだが）人な（が）とてかな、ええなあ（取っていかなければよいのに）言うて。

**みつご**【**名詞**】1）三歳の子供 2）三人同時に生まれた子供

**みっしり**【**副詞**】1）物が隙間なく満ちて居るさま。びっしり。十分に。2）手加減をしないで物事を十分に行うさま。身を入れてするさま。みっちりの転（大言海）【**会話**】<sub>2</sub>）ミッシリ仕事した時ん（に）言うなあ（言います）。一杯言うねやろなあ（言うのでしょうか）。<sub>1</sub>）ミッシリしたとか、ミッシリ詰め込んだ言う時も有るやんかい（有ります）。一杯詰めんねやろなあ（詰めるのでしょうか）。ミッシリ 詰め込んだ言う時も有るしなあ（有ります）。いっしよけんめ（一生懸命）で ひい（日）一杯（一日中）した言う事なあ（です）ミッシリ 今日は仕事もしたなあ言うて 思う存分にした言う事やなあ（です）。

**みつだんご**（**蜜団子**）【**名詞**】串に刺して焼いた団子に蜜をつけたもの。みたらし。

**みっちり**【**副詞**】充分に。みっしりと同じ。【**会話**】甕へ ミッチリ 一杯すると 一甕言うの（のです）。

**みつ**（**三**）【**名詞**】三。（三）【**会話**】子供な（が）数ミツ ヨツツ言うて、ミツん（に）なったねえ（なったそうだな）言うてなあ。芋でも貰うのなあふたつ（二つ）ミツくれえ（下さい）言うてなあ 少してええわい（よろしい）言うよおな時でも ふたつ、ミツくれえ 言うてなあ。

**みつづき**（**身続**）【**名詞**】親戚。みうち。【**会話**】ちいな（血が）続いとる（ている）事を ミツヅキ。縁続きの事を言うんかいなあ（言うのでしょうか）。血な（が）ついとる（ついている）事を ミツヅキ言うやんかい（言います）。みのもんばっかおつて（身の者ばかり居て）言うてな。

**みつつけた** 見つけた

**みつつけられた** 見つかった

**みつつけられて** 見つかつて。【**会話**】盗みぐいしとたや（していたら）ミツケラレテ まあ言うてなあ。

**みつつける** 見付ける

**みつご**【**名詞**】三才の子供 みつごのたましい百迄

**みつつじ**【**名詞**】三叉路（志）

**みつつばい**【**名詞**】麦の穂に二、三粒の実のついたもの。稔らない麦。【**会話**】ミツツバイタダキや

よお (だ) 言うて。ほおな (穂が) ちっちゃい (小さい) ので みつぽ位しか (より) ついとらせんの (付いていません) そやもんで (それで) おおた なんも出来んで (少しも出来なくて) ミツボイタダキやよお (だ) 言うて、ほおん (穂に) 実は 入っとな ねけど (入っているのだが) 粒な (が) つかへんの (つかないのです) ちっさいもんで。麦のほお (穂) おっきいやんな (大きいでしょう) そんな (それが) こんだけばかん (これだけばかりに) 二つか三つより実なついとらせんの ミツボイタダキや (だ) 言うて。ほおな (穂が) 短いし ちっちゃいし せえ (高さ) も 箸ほどけより (ほどより) なやせんやんかい (ならないのです)、こやしやらせんもんで (肥料やらないので)。

**みつてくる** 潮が寄せて来る。満潮になる。(桑市) [会話] 潮な (が) ミツテクル言うね (言います)。にちて来る言うね。

**みつとみない**【形容詞】見苦しい 醜い (志、鳥 (坂手))

**みつとむない**【形容詞】見苦しい (三、安、一、久、阿、張、名、南)

**みつともない**【形容詞】見苦しい。見た目に悪い。外聞が悪い。恥ずかしい。(張、南) [会話] ちんちん (男根) ぶらぶら ミットモナイ あっかい (赤い) 褌こおたるか (買ってやろうか)。

**みつどんぶり** (三井)【名詞】大中小、三ヶ揃った井。[会話] ミツドンブリや (だ) 言うて、大と中と小と三つ重ねた井を 一組にしよおったなあ (して居ました)。ミツドンブリや (だ) 言うて 三つ重ねた井を皆 一組ん (に) しよおったなあ。大と中と小となあこや (此れは) ミツドンブリ そるとんねよって (揃って居るのだから) うちやったんなよお (壊すな) 言うて。普通のごっつお (御馳走) でも 使うんけどな あ (使いますが) うなしがら (同じ模様) で うなしがた (同じ形) で しとんのおを (して居るのを) 三つ揃えてあんの (有るのを) ミツドンブリや (だ) 言うて そいな (そんなのが) 幾組も有って それへ 蜜豆したり なますしたり いろいろのもん (物) それい (へ) もって (入れて) 出すやんかい (出します)。しよんがつやどけでも (正月などでも)。

**みつひとぶ**【名詞】三分の一。[会話] みつわけひとぶ 言う時も有るなあ (有ります) ミツヒトブとも言う。わしらな言うな (私の言うのは) みつわけや (です)。みつわりん (に) しよおやんかれ (しましよう) 言う

て、裁縫する時でも 此の手拭 一筋を みつわりん (に) して言うて 三つん (に) 割る事を みつわりや (だ) 言うて。

**みつびん**【名詞】女の髪型。頭上と両側を膨らました形。丸髷。桃割れ。[会話] 丸髷やとか (だとか) 桃割れあれを ミツビン言うの (のです)。前と横とするやんない (するでしょう)。三つ、髷な (が) 出来るやんない (でしょう)。前もとって (膨らして) 髷 (横) も浮かしてすんのなあ (するのです)。

**みつぼし** (三星)【名詞】東南に三個並んで居る星。オリオン座の星 (志、桑郡、安、津) [会話] ミツボシ。三つ並んどる (でいる) 星な (が) いなさ (東南) に当たって出てくんの (くるのです)。

**みつまた** (三叉)【名詞】三つに分かれたもの。支柱の先などにつけ物を支える。三差路。(上) [会話] 三つん (に) 分かれとんの (ているのを) ミツマたや (だ) 言うてなあ。にぎっちょや さぎっちょや 言うて 三つしぼってすんのを (くくってするのを) ミツマたん (に) してなれ言うやんかい (言います)。支える時ん (に) 二つん (に) 分かれて さんまたや (だ) 言うて、そして さんぼ (三本) くい (杭) を、からげると (くくると) さぎっちょ 言うてなあ、三つん (に) 分けて せんだくもん (洗濯物) 干したり物干したりすんのなあ (するのです)。稲干すのでもなあ さぎっちょ たあ (田) のふちい (傍) よおしよおったやんかい (よくして居たではありませんか)。舟のてざわ (手竿) 渡すの (のを) さんまたや (だ) 言うて、さんまた盗みん (に) 行て来たね (来たのだ) 言うて。いまめのきい (木) の 股ん (に) なつとんのおをな (なっているのを) 切って来て 削ってどまくらい (へ) さいて (差して) てざわ (手竿) 置いたりすんのん (するのに)。

**みづまり** (身詰)【名詞】身の処置に困ること。肩身が狭くなること。

**みつみ。みつめのきもん**【名詞】四才前後の子供の着物で並幅一反の織物の半反で仕立てるもの 身丈の三倍で前後身頃と衿 (おくみ) を裁つところから言う [会話] ミツメノキモンナ はやりで言うて。

**みつめる** (見詰)【他マ下一】対象物から目を離さず一心に見て居る

**みつもり** (見積)【名詞】大体の見当をつける事

**みつもる** (見積)【他ラ五】目で見えて大体の様子を計る 概算する

**みづらい** (見辛)【形容詞】1) 醜い。みつともない。

見苦しい。2) 見るのが困難だ 見えぬくい [会話]  
1) みんなの (見るのに) つまし (つらい) 言うのを  
ミヅライ。ミヅライ言うて みんなに その人な  
(が) つらがるやろ (だろう) おもて (思っ) 見せ  
たない (見せたくない) よおなもん (物) すんのを  
(見るのを) ミヅライ言うね (言うのです)。人ん  
(に) 見せるよおなもんや (物で) 無い ばやい (場  
合、時) が有るやんない (でしょう)。それをしとる  
と (して居ると) ミヅライわな (です) あいな (あ  
んな) 事しとると (して居ると) 言うて。見る方  
(側) が つらいね (のです)。その人な (が) しと  
る (して居る) 事が 人が しやれん (出来ない) よ  
おな事しとるもんで (して居るので) あの人な (が)  
しとる事な (が) ミヅライわ言うて 言うの (の  
です)。見にくい格好しとる (して居る) とか こやっ  
て (此のようにして) 座つとると (て居ると) パンツ  
穿いとる (て居る) 時や (は) ええんけど (よいが)  
スカート穿いとると (て居ると) 気をつけとらへんと  
(つけて居ないと) そんな (それが、陰部が) 皆 見  
えとんねてや (見えて居るのです)。そお言うばわい  
(場合、時) パンツな (が) めえとると (見えて居る  
と) わりわい (悪いです)。その中 正味や (は) め  
えやせんけど (見えないが) パンツな (が) めえとる  
と えらい (大変) 見えぬくいもんやわい (ものです)。  
見苦し言う事やわい。見とるほおな (見て居る側が)  
本人は知らんとおんねけど (知らずに居るのだが) 知  
らんと 変な格好しとんねけど (して居るのだが) 見  
とるもな (見て居る者は) おおた、あやれ (あああ  
れ) つましよおなな (つらいようだ) 言うて そ  
ばはずかしなあ言うて。そばはずかしな おとっし  
や (やれやれ) 見とんのおも (見て居るのも) つま  
しよおなな (つらいようだ) 言うて 昔の人ら ミ  
ヅライ言う事を そばはずかしなあ言うて わがほお  
な (自分が) 恥ずかしのなあ。見とるほおな (が) 側  
な (が) 恥ずかしもんで (ので) そばはずかして (し  
くて) 見ておられやせんなあ (見ておれない) 言うて、  
そお言う時に ミヅライ言う事使うんやろなあ (使う  
のでしょう)。

みつわけひとぶ 【名詞】 三分の一

みつわり 【名詞】 三つに割る事 三分の一 (桑郡、員)  
[会話] ミツワリ みつっん割んの (三つに割るの  
を)。

みつわりひとつ。みつわりひとぶ 【名詞】 三分の一  
[会話] みつわりひとぶくれえ (下さい) 言うやんか

い (言います)。三分の一の事をなあ ミツワリヒト  
ツも ミツワリヒトブも 一緒や (です) 三分の一を。

みて (満) 【名詞】 彼岸の最終日。(志 (布施田、浜島)、  
多) [会話] 彼岸のミテ、入りな (が) 有って 中日  
ん (に) なって それから 三日月めん (に) なると  
ミテや (だ) 言うて、彼岸な (が) みてた (満ちた、  
終わった) 言うのを ミテや (だ) 言うて。今日は  
ミテやよつて (だから) 畑は休みやなあ (だ) 言うて  
彼岸な (が) 満てた、あいた (終わった) 言う事を  
みてた言うのなあ (のです)。春でも秋でも ふたく  
ら (二度) の彼岸を 終わりを ミテ言うて、彼岸な  
(が) 今日は満てたね (のだ) 言うて。

みて (見手) 【名詞】 見物人 見物する人 てはヒト  
(人) の略 トの転

みてかな。みてかななあ 見て行かなければ。見なけれ  
ば。[会話] 見なければ言うのを、ミテカナナア 見  
て行かなければいけないう時に ミテカナナア言  
うの (のです)。俺も こいなええもん (こんなよい  
物) ミテカナナア みやんと行かよかれ (見ずに行け  
ない) 言うてなあ。

みてくれ (見て呉れ) 【名詞】 外側から見た様子。外見。  
みかけ。体裁。他人の目に立つような行為。みつき、  
みば参照。(志 (布施田、浜島、鶴方)、鳥) [会話]  
ミテクレはええけどなあ (よいが) 言うて、みばな  
(見た所が) ええの (よいのを)、ミテクレや (は)  
ええけど がいなこたねえなあ (大した事は無い) ミ  
テクレばつかや (ばかりだ) 言うて、よお言うやんか  
い (よく言います)。外から見た感じ 中味が無い。  
みたな (見たのは) どいらいええけど (大変よいが)  
何処其処な (が) わりなあ (悪い) とか言うのなあ  
(のです)。ミテクレや (は) がいな (大変) ええね  
けど (よいのだが) 中あけると なんやら (何か) み  
よおな (変な) よおん (に) しとられ (して居る) 言  
うて。ミテクレばつかやなあ (ばかりだ) あのひた  
(人は) 言う時も有るしなあ (有ります)。

みてこお 見てこよう、見に行こう

みてこおか 見て来ようか。見に行こうか。[会話] あ  
の花 ちよいと見よか (少し見ようか)、見よまあえ  
(見なさい) 言うて、ミテコオかたら (とか)。

みてこおよおな 見に行きたいようだ

みてた。みてたれ。みてたわい。みてたわな 見て行っ  
た

みてびき 【名詞】 祝い膳の三種類。刺し身、煮魚、大根  
なますを言う。み (三) てびき (大皿)。[会話] 正

月二日に ちょんなはじめ (大工の仕事始め) 言うて ちょいと (少し) つついて (突つついて) 見て、ミテ ビキこしゃえて (作って) 刺し身と、なます (大根なます) と、煮付け (煮魚) として 御神酒頂いてしい おったの (して居たのです)。

**みてみよんね** 見てみます 探して見ましょう みてみる 参照

**みてみる** 見る。探して見る。探す。(桑郡、三、四、鈴市、安) [会話] 有るかぬえか (無いか) ミテミルワ言うてなあ。おまえげや (お前の家は) こいなもん な (こんな物が) 無いかい (有りませんか) 言うて、知らんてや (知りません) 行て (行って) ミテミルワイ言うて 探して見る言うのを 探して調べんのおを (るのを) ミテミル言うてなあ。あんたげ (貴方の家) なんか無いかい (なにか有りませんか) 言うて、ミテミヨンネエ (見てみます) 有るか無いか言うて みてみたや (見て見たら) 有るわい (有ります) とか 無いと 無かったわいとかなあ。

**みてる (満) 【他タ下一】** 1) 満ちる。一杯になる。  
2) 事が終わる。他国にて果てると云事を吾党は満ると言う。祢宜の集合して評議の終わりとるなる必ず集合満てたりと言う。其の源は人の死するを果てる言うに由て之を嫌ひ云い出たる言なれど。(伊勢の浜萩)。  
(志 (浜島)、伊) [会話] 2) 春でも秋でもふたくら (二度) の彼岸を 終わりを、みて言うて ミテル言うて。

**みとおもない (みたうもない) 【形容詞】** 見たくない。  
見苦しい。醜い。みっともない。ミタクモナシの音便 (広辞苑) [会話] ごおなわいて (腹が立って) のら な (お前の) 面 ミトオモナイワレ言う時んなあ (に) 見たく無い言うの (のを) みたないわれ みと ないわ 言うて ミトオモナイワレ のらみたよなもな (お前のような者は) 言うてなあ。

**みどき (見時) 【名詞】** 觀賞するのに丁度よい時期。[会話] 今し (今) ミドキやなあ (だ) 言うて、花な (が) 咲くと 綺麗で、見頃言うのを 今し 見んの ん (今見るのに) 丁度ええ (よい) 時やれ (だ) 言うの、ミドキやなあ 言うて。にげ (人間) でも 十七、八になって来ると 十九で立花、二十で見花、遅れ花かよ二十一は言うて 二十一になるとなあ ちょいと (少し) 散り心 (気配) になって くんのなあ (来るのです)。

**みとけ。みとけえ** 見ておきなさい。[会話] みやしたるわい (見せてあげます) それ ミトケエ言うてな。

**みとこ** 1) 見ておきなさい 2) 見ておきましょう、見ましょう

**みどこ (身処) 【名詞】** 1) 身体の粘膜でおおわれた部分。皮膚の薄い部分。2) 筋肉の多い体の部分 [会話] 2) かあ (皮) のあつついとこ (厚い所) は そげんないんやろけど (そんなにないでしょうが) かあ (皮) のうっすい (薄い) ミドコや (だ) 言うて えらいんやろなあ (大変なのでしょう)。2) 太腿や (だ) とか 尻こびたや (尻たぶは) ミドコで ふたふたしたとこを (所を) ミドコや (だ) 言うてなあ。

**みどこ (見処) 【名詞】** 1) 見込み 2) 見るべき所 肝心な所 [会話] 1) ミドコな (が) 有るなあ言うて、賢いこお (子) でも あの子 なかなか ミドコな (が) 有る子やなあ (だ) 言うて あや (彼は) 見込みな (が) あられ (有る) 言うのをなあ。2) ここな (が) ミドコやどお (だ) よお見とけよお (よく見ておけ) 言うて 芝居の効目のとこ (所) をなあ 忠臣蔵の討ち入り ミドコで、阿波十やどけんなんと (などになると) さいご (その時) こお (子) と母親と子別れするとこな (所が) ここな (が) ミドコやどお (だ) 言うて 見て泣いて。

**みとて** 1) 見ていて下さい。2) 見ている。[会話] 1) みとれ (見ておれ)。ミトテ言うて 此れ ばんしとれ (見張りしておれ) 言うのを 此れみとれ言うの なあ (のです)。

**みとておって** 見ていながら [会話] ミトテオツテ のがした (逃がした)。

**みとない** 見たくない

**みとみない** みともないに同じ (志 (船越、鶴方、神明、立神、国府)、松、北、尾、南)

**みとみなかった** 見苦しかった

**みとむない** みともないに同じ (志 (畔名、浜島、志島、国府)、鳥 (相差、国崎)、津、多、上、阿、度、伊、南)

**みともない 【形容詞】** 体裁が悪い。きまりが悪い。みとむない。見とうも無いの転。見たくない。いやだ。恥ずかしい。外聞が悪い。(志 (御座、布施田、甲賀、国府、安乗)) [会話] みっとみない 言うの (のです)、ミトミナイ ミトモナイ 言うの (のです)。ミトモナイ言うし みっとみないわれ (のだ) ミットモナイわれ 言うの (のです)。ミトモナイナア あのひた (人は) 言うて 体裁な (が) わり (悪い) ミトミナイナア あの格好見よまあ (見なさい)。

**みとり (見取。看取) 【名詞】** 看病。

**みとりぐい【名詞】** 腹は膨れていても、見て居ると食べ  
てしまうこと。[会話] 口にあえても (飽いても) 目  
にあかん (飽きない) 言うて ミトリグイで 見とる  
とさいご (見ていると) 喰たんのなあ (食べてしまう  
のです)。

**みどりご【名詞】** 三才位までの幼児。[会話]  
ミドリゴ言うな (のは) 赤児の事やんかなあ (です)  
生まれたての こお (子) を ミドリゴ言うね (言う  
のです)。

**みとる【看取】【他ラ五】** 看病する。みとる。終止形。  
死亡する迄看病する。見て居る。[会話] 看病しとる  
(して居る) 時も ミトル。 みとてくれえ (見て居て  
下さい) 言うて、おや (俺は) 家い (へ) 行くねよっ  
て (行くのだから) みとてくれえ 言うて。あのひた  
(人は) みんなん (皆に) ミトラレテ 往生いたたら  
(死亡したとか) 言うのなあ (のです)。あの人に  
ミトラレテ まあ言うて 看病してもろて (もらっ  
て)。

**みとる** 見て居る

**みとれ** 見て居れ。監視して居なさい。(志 (片田、甲  
賀)) [会話] ミトレ。 ばん (番、役目、見付け役)  
しとれ 言うのなあ (のを) 此れを 番しとれ (して  
居なさい) 言う事でも 此れ ミトレ言うの (ので  
す)。此処に魚な (が) 有るとすると 取られたと  
(取られてしまうと) いかんよってなあ (いけないか  
ら) そや (それ) なあ (お前は) 此れ ミトレヨオ  
(見て居なさい) 猫ん (に) 取られたらんよおん (て  
やらないように) 魚の番しとれ 見張り番しとれ 言  
う事をなあ (です)。 なんやかや (何、彼) 干しとて  
も (て居ても) そや (それ) 雀な (が) こんか (来な  
いか) 此れ ミトレヨオ言うて、あしこん (あすこ  
に) 鳥なおるよってん (居るから) 鳥ん (に) 取られ  
たらんよん ミトレヨオたら (とか) 言うて。 えごつ  
と ミトレ言うて えごつと 見とるけど (て居る  
が) こやなんか (此れは何か) ちごとんどお (違って  
居る) 言うたりなあ。 えごつと見たんかれ (しっかり  
見たのか) 言うたり、 えごつと見たけどなあ (しっかり  
見たが) 言うたり しっかり見とけ (見ておれ) 言  
うのを えごつと見とけ言うんやろなあ (言うのでし  
ょう)。

**みとれる【見蕩】** 見惚れる 心を奪われて見耽ける 見  
て恍惚となる

**みどろ【接尾語】** まめぐり その物で体が一面になるさ  
ま 汗みどろ。ミドロ (水泥) の義 (大言海) みだ

り参照 (員)

**みとろよおな** 1) 見て居た様な 2) いつ迄も見て居  
たい気持 (志 (布施田))

**みとんね。みとんの** 見ているのです

**みないらん** 仕事に対して集中しない 出来ない (志  
(布施田))

**みなくち【名詞】** 田の水を取り入れる所 みな  
くちもと参照 (志 (布施田)、鳥、一、飯、多、張、  
名、度、北、熊)

**みなくちもと【名詞】** 田の水の取り入れ口。[会話] た  
あ (田) の ミナクチモトい (へ) じゃりあげに (砂  
利除きに) 行かな (なければ) はざんわれ (駄目だ)。  
ミナクチモト たあい (田へ) 水な (が) 来るよん  
(ように) ちょいと (少し) 畔い (に) 真中の 水の  
流れのええとこ (よい所) に みずもと 言うて あい  
とんねやんかな (開いて居るのです)。 そこい (それ  
へ) 水な (が) ドオドオ流れるもんで (ので) 泥は  
皆 流れてく (て行く) し その砂利な (が) 残んね  
やんかな (残るのです)。 それい (それへ) 籠 して  
なあ ミナクチモトや (です) そすと (すると) ごみ  
や、砂利な (が) それい (へ) 積もるよおん (よう  
に) たあ (田) 向いて 押してかんよおん (行かない  
ように) してあんの (有るのです)。 たあ (田) への  
水の引き込み口 ミナクチは 水を引くのなし (です  
し) 砂利受けや (は) ごみを受けんのなし (受けるの  
です)。一枚のたあいなあ (田へ) 横に川な (が) 有  
ると それから 水とんの (取るのです)。 水な  
(が) 皆 流れてくと (て行く) たあ (田) へ ほ  
しいても (欲しくても) 入らせんやんない (ないでし  
ょう)。 そすと (すると) ミナクチモト ミナクチな  
(が) 有ると 欲し時は ミナクチ開けて いらん時  
や (は) それ 止めとくんやんかな (ておくのです)  
ミナクチを。川からすぐに 取る時と 一枚のたあ  
(田) から 流れてくの (て行くのは) 違う。下のた  
あい (田へ) 取る時も 皆 そんなもと (それが始ま  
り) で してくねよって (して行くのだから) 一番の  
(一番始めの) たあいは (田へは) ミナクチを 皆切  
ってあるわい (有ります)。 そすと 下のたあ (田)  
へ 行く時や (は) 又 上のたあ (田) も切って 下  
も切って 出すとこと 受けるとこ (所) と 切っ  
いて (ておいて) そい といて (そうしておいて) ええ  
(よい、充分) 思うと 止め といて (ておいて) 又  
ひでりん (日照りに) なって来ると みずのすみ、す  
んのなあ (水盗みするのです)。 たあ (田) 植えてし

でも 雨な (が) 降らんで (なくて) たあな (田が) 割れて来ると、われ (自分) 水 出さまい (出さない) 言うてすると よさり (夜) 盗みん (に) 行て ミナクチ ちょいと (少し) 開けといて (ておいて) 来んの (来るのです) 知らんうちん (間に) 隣んのを (のを) 開けといて (ておいて) 来たりする人らな (が) 有って 水盗みで、よんべや (昨夜は) 言うて なあ (言います)。 そげんしよおったね (そんなに) して居たのです) 水の無い時や (は) 取りやい (取り合い) して。 水な (が) 無かつたら それこそ たあな (田が) ばんばん割れて来て そして 水 取りやい で 川から引っ張んのでも (るのでも) わが家のとこから 川 止めとて (て居て) 水 おこさせんねやん かい (よこさないのです) そすと こんだ (今度は) 又 行といて (行っておいて) その川せんで有んのを (ふさいで有んのを) 取っといて (ておいて)、又 わが (自分) たあい (田へ) 水引く言うな (のは) それやわい (それです、我田引水)。 なんでもなあ (何事でも) あや (あれ) わが (自分) たあい (田へ) 水引いて言うやんない (言うでしょう)。 なんやかや (いろいろ) わがみかたい (自分の味方へ) よけ (多く) やるとするやんない (与えようとするでしょう)。 誰でも分けても (分配しても) 人より (他人より) わがみかた、ちょいと (少し多く) やりたい思て (思って) するやんない あや (あれ) わがたあい (自分の田へ) 水引いて言うて。

**みななみな (皆皆)** 残らず 全部 全員が

**みなぬか。 みののか (三七日) 【名詞】** 人の死後二十一日目、又その日に行う法事。(員、多、南) [会話] 三週間経ったのをなあ ミナヌカ 四週間すると よなぬか (四七日) 一週間を なぬか (七日) 言うなあ (言います)。 なぬか言わんと (言わずに) なのか言うてなあ。

**みなみ (南) 【名詞】** 南風。(志 (的矢) 鳥、(坂手、神島)、桑郡、四、鈴市、安、津、一、伊、度) [会話] 南風な (が) 吹いて来ると、ミナミな (が) 吹いて来て まあ言うてなあ 風言わんと (言わずに) ミナミな (が) 吹いて来るとか、西な (が) 吹いて来るとか 今日は 北な (が) 吹いて来るとか、 きたごちな (北東が) 吹いて来るとか言うてなあ 風 つけんと (つけづに) 方向だけや (です)。

**みなみうけ (南受) 【名詞】** 南向き。(北) [会話] 南向いて (向かつて) 家 建てると、ミナミウケン建てて あの家や (は) ひうけな (日当りが) ええなあ

(よい) 言うたりなあ、日当たりな (が) ええ 言うたり。東向きや (とか) 南向きはなあ 家建てんのん (るのに) どいらい (大変) 方向な (が) ええねけど (よいのだが) 西向きや (とか) 北向きや (だ) 言うとなあ、わりけど (悪いが)、やしき (土地) の具合で そして (そのように) 建てな (なければ) しよな (仕方) 無い時も有るしなあ。

**みなみな (皆々) 【名詞】** 全部。全員 [会話] のおん ばか (お前にばかり) ミナミナやられやせんわれ (あげられません)、あの子も 分けてやらななあ (やらなければ) 言うて、全部やられやせん 言う事を ミナミナやられやせん 全部言う事をなあ ミナミナや (です)。

**みなもえる** 1) 熱などで体中が熱くなる 2) 興奮する (志 (布施田))

**みなもたん** 体が保てない 疲れきった (志 (布施田))

**みなり (身形) 【名詞】** 身嗜。格好。[会話] 格好ええ なあ (よいなあ) ミナリも さっぱりしとるし (している)。

**みなれる (見慣) 【自ラ下一】** いつも見て目に慣れて居る

**みにあまる** 身分以上で有る 贅沢だ (南)

**みにくい 【形容詞】** 1) 見苦しい 見て嫌な感じがする 2) 世話が難かしい 3) 見るのが困難だ [会話] 1) ミニクイ。器量な (が) わりいて (悪くて) ミニクイ顔やなあ (だ) とか、 2) 親な (が) むっかして (頑固で) ミニクイ言う時も有るし、嫁な (が) むっかして ミニクイんてわれ (そうだ) あの家の嫁や (は) 言う時も有るしなあ。 3) 高いとこ (所) 見よおもても (見よう思っても) せえな (背が) ひっくうて (低くて) ミニクイとか、人な (が) おおぜおつて (大勢居て) むこお見よおもても 人で 見えやへん (見えな)いとか言う時もなあ ミニクイ言うて 使うしなあ (使います)。嫁な (が) ミニクイんてわれ (そうだ) 言う時は 嫁さんな (が) こんじよなわりいて (根性が悪くて) なつともかつとも (なんともかんと)も しよおな (仕方が) 無いのおで (ので) ミニクイ言うて、見る (養う) のに あの婆 まあ むっかして (頑固で) 煮ても焼いても 食われん婆や (だ) 挽きもん臼みたよな (のような) 婆やなあ言うて、ミニクイ言うて むっかし人を。みてもらうのんなあ (養って貰うのに) あの家で あにんこん (兄に) 見てもらうね (養ってもらうのだ) 言うて あにんか (兄

は) あの婆 ミニクウテ まあ言うてなあ むっかし  
て 住まいな (が) しぬくいの (困難なのを) ミニク  
イ言うて ま ミニクウテ あのひとと一緒ん (に) お  
られやせんわ (居られない) 言うてなあ。

**みにこ** 見に行こう

**みにこお** 見に来よう

**みにしむ** 1) 説教、小言などが充分にこたえる 2)  
馴れている

**みにつかん。みにならん** 自分の物にならない (学問、  
仕事、食べ物すべてに言う) (志 (布施田))

**みぬくい【形容詞】** 1) 見苦しい 見て嫌な感じがする  
(三、鈴郡、鈴市、上、阿、名、伊、南) 2) 世話す  
るのが難しい 3) 見るのが困難だ

**みね (峰)【名詞】** 1) 頂き。高い所。2) 棟 (鈴郡、  
鈴市、上、阿、張、名、伊) [会話] 1) 山のミネ 峠  
の事 ミネ言うて 2) 家でも ミネ言うやんかい (言  
います)。ミネ 包む言うて、棟 包むのおを (のを)。  
ミネ言うて 山の峯だけやなしん (でなくて) 高いと  
こやなあ (所です) きい (木) のミネとか。

**みのくい (醜)【形容詞】** 1) 見苦しい。見て嫌な感じ  
がする。みっともない。2) 世話するのが難しい  
3) 見るのが困難だ

**みのけがよだつ** 寒さや恐ろしさのため体が緊張してこ  
わばる。ぞっとする。腹が立つ。[会話] ミノケモ  
カミノケモ ヨダタレ言うて、好かんとか 嫌な  
(だ) とか言う時んなあ (に)、病氣して治らせん  
(治らない) 言われたり、問題な (が) おきても (お  
こっても) むっかして (困難で) 裁かれんよおな時を  
なあ、まあ なつともかつともしよおなのおて (なん  
とも仕様が無くても) ミノケガヨダタレ言うの (ので  
す)。心配事な (が) 有る時もなあ みのけも かみ  
のけも 抜ける様な心配やった (だった) 言うたりな  
あ。

**みのひげ【名詞】** 縮んでいなくて直つすぐな髭。[会話]  
ちんぼの髭は 縮んどうるやんない (縮んで居るでしょ  
う)。すべつとして 頭の髪みたよな (のような) 髭  
な (が) ミノヒゲ。

**みのもちよない** 1) いたたまれない 2) だるい

**みのもん【名詞】** 1) 身の者。血縁者。親類。(志 (志  
島、甲賀)) 2) 自分の物。[会話] 1) 親類のもん  
(者) も ミノモン言うて。血のついたもん (血縁の  
ある者) を ミノモン言うて。ミノモンな (が) なん  
ものおて (全く無くても) 言うやんかい (言います)。

**みのよの【名詞】** 布団の大きさ。(一、松、伊) [会話]

布団のミノヨノ、裏な (が) よので 表な (が) みの  
ミノヨノの布団や (だ) 言うて。一反ののおを (の  
を) 一巾言うて それが 表が三つで 裏は返しな  
(が) 要るもんで (ので) 四巾にすんの (するので  
す)。ミノヨノや (とか) よのいつのや (だ) 言うて  
なあ。

**みのり (稔)。****みのりするとき【名詞】** 実が入る時。

実になろうとする時。[会話] ミノリスルトキ言うの  
は、実の入る時 花ふるて (落して) みい (実) にな  
ろと (なろうと) する時。

**みのわた【名詞】** なまこの卵巣。このわたに対して。三  
の腸の義 (大言海) (志 (立神)) [会話] なまこのミ  
ノワタ そおめんこや (だ) 言うたり (言ったり) ミ  
ノワタや (だ) 言うたり なまこのあれから (尻) 出  
て来ると。そおめんこや (だ) 言うて あれ すす  
るやんかい (すすります)。あの きいよいのおを (黄  
色のを)。このわたやなしん (でなくて) 素麺みたよ  
ん (のように) 義みたよんしとんのを (のようにして  
居るのを)。あんのと (有るのと) 無いのと 有るん  
てや (有ります)。あや (あれば) めん (雌) とおん  
(雄) と言うよおなねやろなあ (言うようなのでしょ  
う)。

**みのわら【名詞】** よく打って柔らかくなった藁。[会話]  
蓑 作る藁をなあ。よお (よく) おらさな (柔らかく  
しなければ) はざんもんで (いけないので)、じよお  
し (漁師) の男の人らん (に) おおた、あがみ (貴  
方) 休みやのん (だのに) ミノワラ 打ってくれやえ  
えわい (くれればよろしい) 言うてなあ。男の人らな  
(が) 打つと じっばん (立派に) よおこなすねけど  
(よく柔らかくするが) おなごら (女) まあ じっき  
ん (すぐに) かいだりなつて来て (疲れて来て) よお  
打たんやんない (打てないでしょう)。さいわら (柔  
らかくない藁) では 蓑は はざんねてや (いけない  
のです) よおおらさな。蓑 作るな (作るのは) よけ  
(沢山) 曲げるとこなあんねてや (所が有るのです)  
そやもんでなあ (それで) ミノワラは なあがい (長  
い) 藁の ええ (よい) 藁をなあ よお (よく) おら  
さなはざんね。

**みば (見場)【名詞】** 外から見た所。外観。みかけ。

(志 (布施田) 張) [会話] ミバはええけど (よい  
が) 言うんかい (言うのですか)。ミバばつかやなあ  
(ばかりだ) 言うて、みてくれな (が) ええ (よ  
い) 言うのも ミバも一緒やわい (です)。外から見  
た格好は、ええけど、そして (そうして) みてくれな

(が) ええ 言うのも ミバな (が) ええ 言うのも、  
よお (よく) 似た言葉や (です)。

**みばえ (見映) 【名詞】** 外見のよいこと。見た感じが映えること。(志 (布施田)) [会話] ミバエな (が) するなあ言うて、見て 綺麗なおをなあ (のを) みばれ 言うのを、ミバエ言う人も有るしなあ (有ります)。  
みんのん (見るのに) 美しなあ言うの (のを) みばれ な (が) ええなあ (よい) 言うてなあ。

**みはからい (みはらひ) (見計) 【名詞】** 見て程よく考えること。適当に判断すること。みつくりい。[会話] まあ ミハカライでしといてくれえ (しておいて下さい) 言うて、わがとな (自分の) けんと (考え) でせえ (しなさい) 言うの (のを)、ミハカライにしてくれえ 言うて。

**みはからう (みはらふ) (見計) 【他ワ五】** 見て見当をつける。考えて適当に処置する。[会話] ミハカロテ (らって) 来たよお (来ました) 言うて。ま これでええかいなあ (よいだろう) おもて (思って)、わがとな (自分が) こんでええなあ (これでよい) 思うとなあ、そんで (それで) 決めるとなあ ミハカラウ。

**みはば (身幅) 【名詞】** 肩の横の長さ。[会話] 体の背中の中のをなあ ミハバ言うて、着物作る時や (は) 後巾、前巾言うて 前は、せもおして (狭くて) 後巾おつきいして (大きくして) 作る、後巾 ミハバ言うね (言うのです)。

**みはりだけ 【名詞】** 船の張り竿

**みばれ 【名詞】** 見晴れ。見て美しい事。[会話] みばえ言うの (のを) ミバレ言うの (のです)。見て美しい事を 見た感じな (が) ええ (よい) 言うのを、ミバレなええなあ (よい) 言うて。あのおなご (女) まいのき (眉毛) 剃ったや (ら) ミバレな (が) したない (しました) 言うてなあ。

**みびいき (身最展) 【名詞】** 自分に関係有る人を特に目に掛ける事

**みひとつ (身一) 【名詞】** 自分だけ

**みまあす (みまはす) 【他サ五】** 見回す。あちらこちらを見る。方々を見る。[会話] 其処ら けろけろ、ミマアシテ まあ言うてな。あっちゃ (あちら) 見いこっちゃ (こちら) 見いすると、おた あの人な (が) 来ると けろけろと、ミマアシテ 好かん なあ (嫌だ) 言うて 人の家いてなあ (行つて) 勝手 まありや、なんか (とか) けろけろする人な (が) 有るんなあ (有るのです)、人の体でも 頭から下い (へ) 迄 ミマアシテなあ。

**みまあつとる** 見回っている

**みまあり (みまわり、みまはり) 【名詞】** 警戒、監督などのために見回ること。[会話] ミマアリさん なんやかや (いろいろ) 監督する人を ミマアリや (だ) 言うて、よお (よく) 紡績い (紡績工場に) 行くと言うやんかい (言います)。

**みまあり (みまはり) 【名詞】** 身回。身のまわり。衣裳など身のまわりの物。

**みまありさん 【名詞】** 監督。監督をする人。責任者。[会話] 紡績い (紡績工場に) 行くと言うやんかい (言います)。ミマアリサンな (が) 来て言うて、台へ (に) 一人いっ (づつ) ミマアリサンな (が) 付いとんね (付いているのです)、台中を あっちゃ まあり (あちら廻り) こっちゃ まあり (こちら廻り) みまあつとんね (見廻っているのです)。ミマアリサンな (が) 来た こや (これは) 見てもらわな (なければ) 故障 な (が) おきた言うてなあ、監督の事 やなあ (です) ミマアリサン。

**みまい (みまひ) (見舞い) 【名詞】** 1) 病氣、災難にあった人を慰めに訪れること。弔問。2) 出産の祝を言いに行くこと [会話] ミマイに 行かなはざん (なければいけない)。1) 病氣ミマイにとか 2) おびやミマイや (出産見舞と) 言うて、昔や (は) ちよいとしたのおでも (少しの事でも) ミマイに 行かなはざん われ 言うて。悔みとか そいな (そんな) うれいごと (憂い事) は言わせん なあ (言いません)。病氣したとか 子供産んだとか 怪我したとか言うときや (時は) 言うけど (けれど)。夜伽ん (に) 行かな (なければ) 言うて、こおもおけると (出産すると) 二、三日は 親や兄弟は 行きおったわい (行つて居ました)。今は 病院で おつて来るよつて (居てくるから) そいなこた (そんな事) せんでええけど (しなくてよいが) 昔や (は) 家でもおけるもんで (出産するので) 二つ日、三つ日は 夜伽ん 行こやんかれ (行きましょう) 言うて よお (よく) 行きおったの (行つて居たのです)。その時の 夜伽は夜 嬉ろこびの 子供な (が) 出来たおりん なあ (時にです) 夜伽やし (ですし)、もおけんの (産むのに) いっしょけんめ (一生懸命) で おびやどな (産婦が) もおけたて (産んでしまつて) ちよいと (少し) さみしい思ひするとはざんよつて (いけないから) 言うよおな事 やろなあ (でしょう) あんで (あれで)。そして (そうして) 寝流れてくとはざん (て行くといけない) 言うて 働いたおり (時) の疲れと、もおけたおり



(時)の 疲れと出て 安心して 寝て 寝え流れて  
た (ていった) 人な (が) あんねやろなあ (有るので  
しょう)。寝流れてくと はざんよって 言うて 夜  
伽に行く言うて みんないて (皆行って) にぎよて  
(賑わって) 話して 伽しておる言うて 昔や 二、  
三日は そげんして (そんなにして) 行きおったんな  
あ (行って居ました)。そやけど (それだが) にぎや  
うとはざん (賑わうといけない) 言う人も有るけど  
やかまし (やかましい) 言うて、すと (すると) 頭い  
(へ) ちいな (血が) のぼってくられ (来る) 言うの  
も有るけど、そやけど (しかし) 夜伽や (だ) 言うて  
行きおったんなあ (行って居ました)。

**みまちがえ (みまちがへ) 【名詞】** 見間違い [会話]  
見間違えた言うの ミマチガエ。

**みみ (耳) 【名詞】** 1) へり。はし。端。ハシハシの  
反 2) 鍋などの両端に有って、取っ手にしたり、つ  
るを支えたりする半円型の突起。(南) 3) 鳥賊の先  
端部に有る鱗状のもの。[会話] 1) 反物のはた (端)  
でも 一番はし (端) を ミミや (だ) 言うて、切っ  
たとか (所は) 切り口やけどなあ (ですが) 此の端の  
一番 織ったはしを ミミや (だ) 言うて。ミミを出  
しといて (ておいて) 言うて。一番外に有ると ミミ  
や (です)。2) して (そうして) しなもん (品物) に  
よって ミミつけとかな (つけておかなければ) はざ  
んわれ (いけない)、ミミつけとけ (ておけ) 言うて  
言うもんな (物が) 有るわい (有ります)。こしらえ  
ても (作っても) ミミつけとかなはざんわれ 言うて、  
ちちぼみたよんして (乳首のようにして) ふたあつん  
(二ケに) して ひぼつけんのん (紐付けるのに) ミ  
ミつけといたか (ておいたか) ミミつけ (つけなさい)  
言うて。持ちやすいおに ミミつけ 言うんや  
ろなあ (言うのでしょうか)。たんもん (反物) のはし  
や (端は) 一番 はしやもんで (なので) ミミや  
(だ) 言うて、たちめや (で) ない方を ミミや  
(だ) 言う。裁ち切ったとこ (所) は たちめ。織っ  
て一番はしっこ ちゃんがらな 行たり (行ったり)  
来たりすんの (するのを) 両端をミミ言うて。2) 鍋で  
もミミ ミミもてまあ (持ちなさい)。ミミ持ってせ  
んかれ (しなさい) 言うて 昔のなべや (鍋は) ミミ  
な (が) ついとてなあ (付いて居ました)。どびん  
(土瓶) のつる つけるとこも (所も)、あいなの  
(あんなのは) ミミや (だ) 言わせん (言いません)。  
とって (取手、持つ所) 言う (言います)。ミミも顔  
のとってや (と) 言う (言います)。ずんた (聴こえ

ない) のもな (者は) あんな (彼の) ミミや (は) と  
ってやよってん (だから) 言う (言います) 聞こえや  
せんもんで (聞こえないので)。畳でも へりの方、  
ミミ 蓆でも ミミな (が) あんね (有るのです)。  
ミミと 織り口となあ (です)。一番とめ (止め、終  
わり) は ミミや (だ) 言うて。そすと (そうする  
と) ほんと (本当) のミミも有るし きれ (布) のミ  
ミも有るし 鍋のミミも有るし (有ります)。鍋は  
ミミ言わせんけど (言いませんが) とって言うけど  
(言うが) ミミナベ言うやんかい (言います)。ミミ  
な (が) とってな (が) ついとんのお (ついて居るの  
を) じょおほお (両方) で持つ そこん (そこに) ミ  
ミナベな (が) 有るやんない (でしょう) ミミナベで  
炊いとけ (ておけ) 言うて。

**みみあか 【名詞】** 1) 耳垢。外耳道の表皮のはがれたも  
のや、脂肪、塵埃などがまじって外耳道に出来る塊  
(三重県全域) 2) 耳の後ろにつく垢 [会話] 2) み  
みぐそ、昔は 風呂い (へ) 入らせんもんで (入らな  
いので) 耳の後い (へ) ミミアカな (が) ついて、1)  
耳朶の事も言うし。裏い (に) 付くのはなあ ミミア  
カ 言うて 耳の垢な (が) あのとした (人は) よつけ  
(沢山) 付いとんねよお (ているのだ) 言うて。

**みみあたらし 【形容詞】** 初めて聞くことである。耳新し  
い。[会話] ミミアタラシ 言うのは 話を初めて 聞  
いた時んなあ (に) あらみみやよお (だ) 言うて。初  
めて聞くとなあ おら (俺は) そいなこた (そんな事  
は) 聞いたこた (事は) 無い あらみみや (だ) 言う  
て。おおた そいな (そんな) 事な じょおく (いつ  
も) 言うとんのん (言っているのに) 言うと、おら  
(俺は) 初めてやれ (だ) あらみみやれ (だ) 言うて  
な。

**みみいしゃ 【名詞】** 耳医者。耳鼻科の医師。[会話] 鶴  
方いなあ (へ) ミミイシャな (が) 有って 行きおっ  
たてや (行って居ました) 耳鼻科の先生を ミミイシ  
ヤや (だ) 言うて。

**みみうち** その人だけに話す、内密での話

**みみがくもん (耳学問) 【名詞】** 聞いて覚えた学問知識  
ききがく参照

**みみがし 【名詞】** 耳の形をした菓子 みみせんべ参照

**みみぐさ 【名詞】** 海藻、うみうちわ属の海藻 アミジグ  
サ科、干潮線付近の岩上に着生する、高さ約 10cm、莖  
は褐色毛におおわれ、葉状体は扇形で堅く厚く縁は二  
～三裂する、生時は淡黄色、乾燥すると暗褐色。

**みみぐそ (耳朶) 【名詞】** 耳垢

**みみご【名詞】** 1) 耳だれ。耳漏。(志(鶴方、神明、甲賀、安乗)、鳥、多、度、伊、北、尾、南、熊)  
2) 耳の中の小突起 [会話] <sup>2)</sup> ミミゴ 突いたた(てやった)言うてな、耳の中ん(に) ちょいと(少し) 当たるとこな(所が) 有るやんかい(有ります) 中ん(に) でびつとるとこな(飛び出している所が) あんねやろなあ(有るのでしょうか)、こやいび(小指) で当たると こつんと 疔みたよんしとんのな(のようにしているのが) 有ってなあ それ 耳搔きで 突いたたと(てやると) 痛い(のです)、まいきつてくねよお(痛い) ミミゴ 突いたて(てやって) まあ言うて。

**みみこめ【名詞】** 耳栓。海女が潜る時、耳に水が入らないようにする栓。粘土を使う。(志) [会話] ミミコメ、おりる(潜水する)時 つめんのおを(詰めるのを) いってくと(潜ると) 水な(が) 入んねてや(入るのです) それ 止めんのん(るのに) 粘土を 耳い(へ) こめんねてや(詰めるのです)。

**みみざとい(早聡)【形容詞】** 1) 聴覚が鋭敏で有る  
2) 早耳で有る

**みみしめし【名詞】** 海女が本格的な作業に入る前、耳の状態を整える作業。みみならし。[会話] 磯いて(海女に行つて) 初めん(に) ちゅうとなかい(途中迄) 行て、戻つてきいか(来るか) あっさいとこ(浅い所) いっというて(潜つておいて) 慣らすとええんけど(よいのだが)、それ ミミシメシ言うて それするとええんけど 初めから ふつかいとこ(深い所) 行くと 耳な(が) ばんばん言うて はしれてく(破れて行く) 程 痛いね(のです)。

**みみせんべ【名詞】** 丸い煎餅を二つにおつて半円形にしたもの。[会話] せんべ(煎餅)を ふたあつん(二つに) 折つてあんのを(あるのを) ミミセンベ言うの(のです)。せんべや(煎餅は) 丸い やんない(でしょう)。それを きゅつと折つて ここな(端が) ひっつけてあるもんで(ので) 耳みたよん(のように) なるやんない(でしょう)、こいな(こんな半円状) 形ん(に)。そいなのおを こばよおったねてや(配って居たのです)。伊勢さんぐ(参宮) いて(行つて) 来た言うて ちょいと(少し) 水くさい(交際の少ない) 家や(は) 七枚位で 濃い家 九枚や十一枚や言うて、だ(それで) 隣い(に) くばんの(配るのは) おかた(大体) 七枚ぐらいやった(でした)。

**みみそ【名詞】** 煮味噌。味噌に魚肉、肉、野菜を入れ、砂糖で味つけして炊いたもの。(松、多、度) [会話]

ミミソ炊いて 食べばこそ言うて、貝柱やなあ(だと) か 鯡の**みい**(身) さばいたりしてなあ、 それい(へ) 葱や(とか) 人参や(とか) こんにやくや(とか) 入れてなあ 味噌で炊いてすると また 美味しいねてや(のです) ミミソはなあ。ミミソな(が) 有ると 飯いくらでも よお食うね(よく食べるのです)。煮味噌を よお言わんで(言えなくて) ミミソや(だ) 言うて。

**みみたぶ【名詞】** 耳の下の垂れて居る所

**みみだれ(耳漏)【名詞】** 耳漏。耳から膿が流れ出る症状。耳垂の義(大言海)(三重県全域) [会話] ミミダレ、耳から膿な(が) 出てくんの(来るのを) ミミダレ。草も ミミダレグサ言うて 朝顔みたよおな(のような) 花な(が) 咲くのなあ(のです)。ものすごお(ものすごく) 綺麗なねえけど(綺麗なのだが) ぞや(それは) ミミダレ草やんかあ(だ) 言うて。

**みみだれぐさ(耳垂草)【名詞】** 昼顔。浜昼顔。ヒルガオ科のつる性の多年草。海岸の砂地に生える。地下茎は白く、砂中に長く伸びる。葉は長柄を持ち、腎状円形、厚く光沢有り、五月頃葉腋から、花柄が伸び淡紅色で、径4～5cmの漏斗状の花が一ケづつ咲く。萼の外側に二ケの大きな苞葉が有る。みみだれ参照

**みみづもり【名詞】** 記憶力 [会話] 福耳の**もな**(者は) ミミヅモリなよおて(よくて)、**なんやかやよお**(いろいろよく) 憶えとるやんかい(憶えて居ます)。

**みみどおい(みみどほい)【形容詞】** 耳がよく聞えない

**みみとしま【名詞】** 若いのに年増の人のように多くの事を聞いて知って居る人、特に情事について言う

**みみ、とつて(みみやとつて)** 聞こえない、耳は聴く用をせず、単に握る所の役よりしない [会話] **とつて**(取手、持つ所) **言う**(言います)。ミミモカオの**トツテや**(と) **言う**(言います)。耳や(は) 顔の**とつてや**(だ) 言うて **ずんた**(耳の聴こえない) **のもな**(者は) **あんな**(彼の) **ミミヤ**(は) **トツテやよつてん**(だから) **言う**(言います) **聞こえやせんもんで**(聞こえないので)。

**みみなかい** よい知らせが有る

**みみなとおい** 耳がよく聴こえない。聴覚が鈍い。[会話] 伊勢道やなあ(だ) 言うて 伊勢道や(は) 遠いやんない(でしょう)、そすと ミミナトオイ 伊勢道やなあ 言うてなあ。

**みみなべ【名詞】** 両端に持つのに便利のように小さな突起の有る鍋。直接持ったり、又弦をつけたりする。(多) [会話] ミミナベ言うやんかい(言います) み

みな(が) とってな (持つ所) ついとんのお (ついて  
いるのを) じょおほお (両方) で持つ。

**みみならし【名詞】** 海女が本格的な作業に入る前に少し  
の期間潜り、体調、特に耳の状態を慣らしておくこと。  
[会話] ミミナラシ ひとかしら (一潜り) いってこ  
ん (潜りに行きましょう) 言うてなあ、磯い (海中  
へ) 飛び込むとなあ かしらしめしや (だ)、みみし  
めしや (だ) 言うのなあ (です) みみしめしに ま  
ひとかしら ちゅうとい (途中に) 迄いて、すぐにな  
あ ふっかいとこ (深い所) 行くと 耳な (が) 痛い  
んやんかな (のです)、あっさいとこ (浅い所) 初め  
いっといてな (潜っておいて) 慣らすとええんけど  
(よいのだが) すぐから みいひろ (三尋、約5m)  
も、よおひろ (四尋、約8m) も 行くと まあ ば  
んばん言うて 耳な (が) はしれてく (破れて行く)  
程 痛いね (のです) それを慣らすのんなあ (に)、  
ミミナラシ言うて 初め おりたおりん (入った時  
に) ちよいと (少し) ちゅうと (途中) 迄行て 戻っ  
てきいか (来るか) あっさいとこ (浅い所) 言うて  
してなあ 慣らしいいて (ておいて) 行くと ええね  
けど。今日は ミミナラシん (に) とか、かしらしめ  
しん (に) 行た (行った) とか言うて あした (明  
日) てぐさ (天草) の口やよって (解禁だから) 今日  
は かしらしめしん (に) 行こか (行きましょうか)  
言うて、あっさいとこ けえこ (稽古) しといてくと  
(しておく)と あしためん (翌日に) になると ふっか  
いとこ でも 行かれんの (ののです) じょおく (い  
つも) 行く人は そげんないんけど (そんなにない  
が) たま (稀) に行く人はなあ 体を慣らすのんなあ  
(です)。一日慣らすと あしためん になると いく  
らでもいられんねけど (潜れるのです)。

**みみなれとる** いつも聞いて居て珍らしくない

**みみにっちょ** 耳日曜 相手の語を聴かない、聴きたく  
ない事を言う

**みみにはいる** 聞こえる。知る。ふと聞こえる。[会話]  
人の言うこた (事は) 気にしやせん (しない) のやけ  
ど (だが)、そんだけ (それだけ) ミミニハイッタン  
かして (のか)。

**みみのあか【名詞】** 耳垢 耳糞 みみあかに同じ

**みみのそらはしらかず** 言う事を聞かない。返事しない。  
[会話] 人な (が) なんやかや (いろいろ) 言うても  
返事しやせんと (しないと) ミミノソラ ハシラカシ  
トンナイ (ている)、言うたてて (言っても) 聞くね  
なし (聞くのでない)。

**みみのぼち。みみのぼら【名詞】** 耳の孔。耳孔。[会話]  
人の言う事 ミミノボチい (に) 入れやせん (ない)  
言う、ミミノボラい (へ) 入れよかい (入れません)  
言うて 耳の穴の事。なん (何) 言うても 人の言う  
事 聞かせんと (ないと) 人の言う事 ミミノボチい  
(に) 入れんねなし (入れるのでなく)。ぼちとか  
ぼらとか言うて ぼちもぼらも 一緒やけど (です)。

**みみばやい【形容詞】** 聞きつけるのが早い 早耳で有る

**みみもと(耳許)【名詞】** 耳の近く 耳のそば

**みみやとって(耳把手)** 聴こえない みみ、とって参照

**みみやみ【名詞】** 耳病。耳の慢性疾患を持って居る人。

**みみやめ【名詞】** 耳の痛いこと。[会話] 耳な (が)  
痛い言うの、ミミヤメ。耳な (が) やめる (痛む) 時  
な (が) あんのなあ (有るのです)、できもんな (出  
来物が) 出来とるとか すねやろなあ (するのでは  
ょう)。耳な (が) やめて (痛んで) 言うて よお言  
うやんかい (よく言います)。

**みみよおで** 耳疾をわずらって。[会話] ミミヨオで  
ずんたん (聾に) なつたね (なったのだ) 言うて。

**みみより** 聞くに価する事 聞いておくとよい事

**みめ(見目、眉目)【名詞】** 顔かたち。容姿。容貌。器  
量。[会話] ミメ言うと 顔のことも ミメ言うて、  
ミメな (が) ええ (よい) 言うやんかい (言います)。

**みめさだめ(見目定)【名詞】** 天然痘。あばたになるか、  
ならないかで容貌がきまる事から [会話] ミメサダ  
メ言うこた (事は) ほおそ (疱瘡) を言うんかい、ミ  
メサダメ言うんかい (言うのですか) ほおその事を。  
でこぼこん (に) なんのをえ (なるのをですか) 菊石  
や (と) 言う。はしか (麻疹) は 命定めで ほおそ  
は ミメサダメ。メメサダメ言うのな (が) ほんとや  
ねえんかい (本当で有りませんか)。めめな (が) え  
え (よい) 言うて 言うやんかい (言います) 器量な  
(が) ええ 言うのを あや (彼女は) めめな (が)  
よおてなあ (よくて) 言うね (言うのです) メメサダ  
メ言うのは言うけど (言います)。わしらんなあ (私  
達の言うのは) めめや (だ) 言うの (のです) 器量の  
方を あのか (あの子は) どいらい (大変) めめな  
(が) ええなあ。ミメサダメ言うのな (が) ほんとや  
ろけど (本当でしょうが) 此処らの人ら めめ言うね  
よって (言うのだから) メメサダメ言うのなあ (ので  
す)。

**みめよし(眉目好)【名詞】** 顔形の美しいこと。又その  
人。[会話] 器量のええの (よいのを) ミメヨシ、鼬  
メメヨシ また行て来いよ言う、鼬な (が) きゅつ

と 溝から顔出して来て、にげ (人間) でも 器量な (が) ええと (よいと) おおた ミメヨシやなあ (だ) 言うやんかい (言います)。

**みもごる** 妊娠する みもる (上、阿)

**みもち (身持ち) 【名詞】** 1) 身の持ち方。日頃の行い。品行。2) 妊婦。(志 (布施田、片田)、鳥 (桃取、菅島、長岡)、津、多、度、上、阿、張、名、北、南) [会話] 2) ミモチ言うな (のは) 妊娠した時ん (に) ミモチ言うし。1) ふしだらな事すんのも (するの) ミモチな (が) わり (悪い) 言うし (言います)。男 狂いしたり おなご (女) 狂いしたりすると ミモチ な (が) わり (悪い) 人やなあ (だ) 言うて。妊娠したのも ミモチや言うしなあ (言います) わたしや (私は) ミモチになったわれ (なりました) 言うて。妊娠しとるのおと (して居るのと) 普段の行い ミモチがええ (よい) 悪い。あやまあ (彼は) 若いから (若い時から) ミモチなわりいて (悪くて) 言うて。

**みもちど 【名詞】** 妊婦 (志)

**みもちばら (身持腹) 【名詞】** 1) 出産後の婦人の食欲。胎児の発育に必要なため、すぐ空腹を訴えたり、又食べる量が多くなったり食欲の旺盛さま。2) 妊婦の大きな腹 [会話] 2) 妊娠しとる (している) 腹 ど んばら、ミモチバラ 腹な (が) おつきいと (大きいと) どんばらして あや (彼女は) 言うてなあ。

**みもと (身元) 【名詞】** その人の生まれ育った場所、家柄、素性。[会話] ミモト調べ。お前は 何処の生まれど (だ) 言うて、よお (よく) じゅんさんな (巡查が) してくんのなあ (して来るのです)。ミモト証明 な (が) 無けな (れば) 入れやせん (ない) 言うて 来るやんかい (来ます)。

**みもん 【名詞】** 1) 見物。見るのに価するもの。見物すること。2) 恥ずかしい行動。人の噂になるような行動 [会話] 1) あや まあ ミイモンヤレ (見物だ) 言うて、なんやかや (いろいろ) 珍しもんな (物が) 有ると さいご (その時) あや ミモンやれ (だ) 言うし、芝居な (が) 来ても あや (あれば) ミモンやれ、のら (お前達) も 行て (行つて) 見よまあ (見なさい) 言うて 上手なかつたり (だつたり) 珍し事すると ミモンやどお (だ) のらも みいんけまあ (見に行きなさい) 言うて。2) 人のミモンになつて言うて、みとみない (見苦しい)、わり (悪い) 事すると 笑われるやんない (でしょう) ててなしご (私生児) はろだ (妊娠した) とかなあ、めざらしん (恥さらしに) なつてとか 恥さらしよ言うてなあ。

**みや** 見れば 見たら (志、桑市)

**みや** 失敗。みやこんだ参照 [会話] 失敗するとなあ ミヤこんだ言うて ミヤだけやと (だと) 失敗 ミヤ こんで言うのは 失敗した事。

**みやあす (他動)** 中止する 様子を窺う

**みやあせ 【名詞】** 見合。実施を中止してしばらく様子を  
見ること。時機を待って実行をしばらく取り止めること。[会話] ミヤワセ。明日のミヤアセやどよおい (だ) 言うて、あした (明日) 天気な (が) 好かつたら 口あけ (解禁) を するけど (が) 天気な (が)、わり (悪) かつたら あけやせんど (解禁しない) 言うのを、明日の ミヤアセだどよおい言うて ごおじな (小使が) 触れてきよおつたの (触れ廻つて来ました)。てんぐさ (天草) でも、貝の口でも、あいたどよおい (解禁だぞ) 言うて あした (明日) まあ 行きや (行けば) ええんけど (よいが) ミヤアセや (だ) 言うて ちょいと (少し) 相談してなあ 朝の 天気見る訳や (です)。

**みやあるく** 見る 見ている 注視している

**みyai 【名詞】** 見合い、互いに顔を合わせる。結婚  
相手を求めて居る男女が、仲介者の紹介で互いに合うこと。(志 (鶴方、志島、神明、国府)、鳥 (答志、鳥羽)、桑市、鈴市、松、多、上、阿、張、名、伊、尾) [会話] ミヤイせえ (しなさい)、結婚すので (するので) 顔 合わす事なあ (です)。ミヤイ言うて 器量な (が) ええか (よいか) わり (悪い) か 調べる訳やわいなあ (です)。あいななあ (あんな) へちや (不美人) と ややれ (嫌だ) 言う時も有るしなあ。あの子は 器量な (が) わりけど (悪いが) 気立てな (が) よおて (よくて) 言うて、気立てい (へ) 惚れる にげ (人間) も有るし、顔い (へ) 惚れるにげも有るし、やんない (でしょう)。器量あ (は) わりけど 気立てな (が) ええな (よいのは) ええやんかあ (よいでないか) 言うて、年寄りは言うけどなあ (が) 若いもな (者は) めめなええな (器量がよいのは) ええわいなあ (よいです)。

**みやう 【自ワ五】** つり合う。両方がうまく対応する。見合う

**みやかし 【名詞】** 燈明。みあかし。神佛に供える燈火。  
[会話] 火をとぼす (とます)。ミヤカシ とぼすとか 明かりをとぼす。

**みやく (見役) 【名詞】** 見物する側の人。見物人。

**みやく (脈) 【名詞】** 1) 手応え。2) 前途の見込み。  
[会話] 1) 手応えな (が) 無いのも ミヤクな (が)

無い言うて、物 頼んだ時ん (に) してくれるやら  
(か) してくれやせんやら (してくれないか) わから  
せん (ない) 時んなあ (に) ミヤクな (が) 無いよお  
ななあ (ようだ) 言うて、そやけど あや (しかし  
あれば) まだ ミヤクな (が) あんどお (有るぞ) 言  
うて、ちよいと (少し) 匂いな (が) 違うと さいご  
(その時) あや まだ ミヤクな (が) あんどお 言  
うなあ。ミヤク無い言う時は 見込みな (が) 無い  
ちよいと まだ あや 見込みな (が) 有りそおな  
(だ) 言うと まだ ミヤクあられ (有る) 言うてな  
あ。

**みやくとる** 1) 診察する 2) 臨終に立ち会う

**みやげがしん【名詞】** 土産として渡す菓子

**みやげちみやく【名詞】** 血脈。[会話] 死んでた (で  
いった) 時ん (に) もてくの (持って行くのを)、ミ  
ヤゲケチミヤクな (が) 無けな (れば) あの 世い  
(へ) 行ても (行っても) 通らせん (通らない)。紙  
い (へ) 書いたもん (物) を おっさんな (和尚さま  
が) くれるやんない (でしょう)。胸の上い (に) 据  
えるやんない (乗せるでしょう)。あれ ケチミヤク  
や (だ) 言うのなあ (です)。ミヤゲケチミヤクもろ  
て (貰って) 言うて、念佛ん (に) 言うやんかい  
(言います)。

**みやげだんご(土産団子)【名詞】** 帰って行く精霊に土  
産として供える団子。(鳥(坂手)、多) [会話] 盆の  
ミヤゲダngo。盆になあ しょおろさんな (精霊さま、  
先祖が) 行く時に (帰る時) 土産の団子を おんがら  
箸い (緒殻箸へ) 刺して ころころ団子 (丸い団子)  
と ミヤゲダngoと ふたあしな (二品) を。“素麵  
喰うたら (食べたら) 団子も持って ちさん (爺さ  
ん) も ばさん (婆さん) も 孫らも一緒に よいそ  
ら よいそら” 言うて。団子もにのて (担って) 言う  
(言います)。担うよん (ように) 両方い (へ) さい  
てあんねやんかい (刺して有るのです)。ひらくとお  
して (平にして) この位ばか (ばかり、約径3糎) ま  
あるうしとて (丸くしておいて)、そして 車みた  
よん (のように) 両方い (へ) 刺して 担うよおん  
(ように) してあんの (有るのです) そやもんで (そ  
れなので) 土産の団子や (だ) 言うて。

**みやげもん【名詞】** 土産物。手土産として持参し、又旅  
先から持ち帰る品物。[会話] ミヤゲモン こおて  
(買って) 言うて、まあ どこやかやい (何処かへ)  
行くと ミヤゲモン よけ (沢山) こおて 隣近所い  
(へ) みな こばんの (配るのです) 土産物 お土産

や (です)。

**みやげる【他ガ下一】** 見上げる。上の方を見る。[会話]  
おおた あの人見よまあ (見なさい) せえな たっこお  
て (背が高くて) ミヤゲナ (なければ) 判らせんない  
(ない) 言うて、たっかいとこ (高いところ) みんの  
なあ (見るのを) ミヤゲル言うてなあ。偉い人でも  
あの した (人は) ミヤゲルなあ言うて、ミヤゲタもん  
やなあ (者だ) 言うて。なんやかや (いろいろ) よお  
(よく) 出来る人を おた なんもかも (いろいろ)  
よお 出来て ミヤゲタ人 やなあ (だ) 言うてなあ。

**みやこ(都)** 都会。都市。(志、鳥(石鏡)) [会話] ミ  
ヤコ言うな (のは) 都会の事を。ミヤコい (へ) いて  
(行つて) ミヤコの人らや (だ) 言うて。都会の人ら  
や 言う事を ミヤコの人らな (が) 言うて。ミヤコ  
え (へ) 行く言うのは、都会へ、京都やとか (だと  
か) 東京やとか 名古屋とか。都会の“と (都)” の  
じい (字) は ミヤコやもん なあ (ですから) おおと  
るやんかな (合つて居るでは有りませんか)。

**みやこえいく** 都会へ行く。都会へ遊びに行く。みやこ  
参照 (志、鳥(石鏡))

**みやこおこし。みやここしまき(都腰巻)【名詞】** 毛糸  
で編んだスカート状の腰巻。(多) [会話] ミヤココ  
シマキ 言うの (のが) はやり おったやんかい (流行し  
たで有りませんか) あんどんのおを (行燈のを)、都  
の人やなけな (でなければ) あいなな (あんなのは)  
きやらったもんで (着なかったの) ミヤココシ言  
うんかい なあ (言うのでしょうか)。

**みやこぐ** 居眠りする [会話] ミヤコグ言うて 居眠  
りしとんのをなあ。

**みやこのひと【名詞】** 都会の人。みやこ参照 [会話]  
都会の人や言うことを ミヤコノヒトらな (が) 言う  
て。

**みやこんだ** 失敗した。[会話] 失敗したよお言うのを  
ミヤコンダヨオ。

**みやざった** 見なかった [用例] おら(俺は) ミヤザ  
ッタ。

**みやさん(宮様)【名詞】** 1) 神社。お宮。(志、三、鈴  
郡、度) 2) 皇族。[会話] 1) 神社や (です)。神社  
の事を なあ (をです) ミヤサン、2) それと 天皇陛下  
の 宮さん。宮も しゃでんも (社殿) ないねない  
(無いのだ) 言うて、誰も彼も ちゃちゃもちゃくや  
ん (目茶苦茶に) 言うと なんでも (なにでも) ちゃ  
ちゃもちくちゃん 言うと 宮もしゃだんも 言うと ら  
せんね (言つて居ないのだ) 言うて よお 言うね (よ

く言うのです)。偉い人も 下の人 (目下の人) も 言わんと (かまわずに) 言うとる (言っている) 事や ろ のお (でしょう)。 どいな (どんな) 偉い人の とこ (所) でも 平気で、もの言う 言う事や (です)。

宮も しゃだん も無い 言う (言います)。

**みやしたる。みやしたるわ。みやしたるわい。みやしたるわな (女性語)。みやしたるわれ** 見せてあげます。

[会話] ミヤシタルワイ言う時と、ミヤシタルワ言うて “わ” で 切ったる (てやる) 時と、わがとな (自分の) 目下の もん (者) に言う時は ミヤシタルワ そやみよまあ (それ見なさい) のおも (お前も) これを言うてなあ、そすと (すると) 上の人に しては (対しては) ミヤシタルワイ それ言うて 言うしなあ (言います)。

**みやして** 1) 見せて下さい。(上、阿) 2) 見せてやった [会話] 1) わしも (私も) だい (どれ) ミヤシテエ その写真を言うて、見せて下さい言うのを ミヤシテエ言うて、みせてえ (見せて下さい) 言うの なあ (です)。ミヤシテエ言う時も有るし みせてえ 言う時も有るし ちょいと (少し) ミヤシテ言うてな。

**みやす** 見せる。見させる。(尾) [会話] ミヤスワイ それ言うて、みやしたるわい (見せてあげます) 言うて みせたるわい (見せてあげます) 言うのをなあ みやしたるわい それ みとけえ (見ておきなさい) 言うてなあ。

**みやすい【形容詞】** 1) 見て居て気持ちが良い。 2) 見るのに苦労しない。簡単に見られる。[会話] 1) ミヤスイ言うのは 品な (が) ええ (よい) 言う事や ろ なあ (でしょう)。見とて も (て居ても) 気持ち な (が) ええ なあ ほんどん (本当に) ミヤスイナア言うて。

**みやせん** 見ない。(過去、現在) (志 (片田、浜島、神明、立神、国府)) [会話] ミヤセン (見ません)、おら (俺は) ミヤラッタレ (見なかった)、あの人を言うて。会わ らった (なかった) 事を ミヤラッタ言うて、なんも (全く) みせやせんねもん (見せないのだから) 言うて。ミヤセン言うのは 見なかった 会わなかった。人と人の事は 会わ なかつたやけど (だが) 犬や猫の時は そいなもん (そんな物) は、見なかった言う事や なあ (です) 人でも、あれん (彼に) あわらったか (会わなかったか) 言うたや (言ったら)、なんも ミヤラッタドオ (全く見なかった) 此の ごら ミヤセンなあ言うて。あの人 ん (に) 会わら ったかい 言うても ひとつも (一つも、全く) 此の

ごら (頃は) ミヤセンわれ (見ません) ミヤセンなあ言うて。みやまい ミヤマイヤネエ (見ないでおきましょう) 言う な (のは) 見たら はざん (いけない) 言う事を

**みやせんわい。みやせんわな (女性語)。みやせんわれ**

1) 見ない、会わない 2) 見ません、見たくないの で見ない

**みやだった** 見なかった

**みやな。みやななあ** 見なければ。[会話] これ ミヤナナア言うの かい (ですか)。これ ミヤナナア 俺も いかよかれ (行かれぬ) だれ (どれ) みせえまあ (見せて下さい) 言うて。俺も ミヤナナア言うて。ミヤナ言う時は 見なければ

**みやのささきち** 乱雑にしているさま。散らばしているさま。[会話] 一杯 ひろげとると (していると) ミヤノササキ ちい (へ) いたよおな (行ったようだ) 足の立ても無い言うて わるわれおった (叱られて居ました)。

**みやまい** 見る意志が無い。見ない。(志 (片田)) [会話] ミヤマイヤネエ言うの (のです)。見せまいやねえ言うたり ミヤマイヤネエ言うて あん (彼が) 見せたる (見せてやる) 言う けど (けれど) ミヤマイヤネエ言うの なあ (のです)。 見とると (見て居ると) ほしなつて来るよつて (欲しくなって来るから) ミヤマイやんかあ (見ないでおきましょう) 言うて。

**みやもしやだんもない。みやもしやでんもない。** 周囲を憚らない。[会話] ミヤモシヤデン モナイネナイ (無いのだ) 言うて、誰も彼も ちやちやもちやくん (目茶苦茶に) 言うて 宮も しゃだん も 言うとら せんね (言っていないのだ) 言うて。

**みやよかい。みやよかな (女性語)。みやよかれ** 見る事が出来ない。[会話] なんやかやな (なにか) 腐ったり 見にくい事 な (が) 有ると、まあ あん (あれが) ミヤヨカレ言うてなあ。ミヤヨカレ あん (あれが) みとみのおて (見苦しくて) 言う時も 有るしなあ (有ります)。

**みやらった。みやらったない。みやらったれ。みやらったわい。みやらったわな。みやらったわれ** 見なかった。みやせん参照 [会話] みやせんわれ (見ません) おら (俺は) ミヤラッタレ (です) あの人を言うて。

**みやれた** 1) 見ることが出来た。 2) 見つけられた。見られた。(志 (立神)) [会話] 2) おや (俺は) 風呂からあがって 尻 ほしとたや (出していたら) あれ

ん(彼に)ミヤレテ 恥ずかしかったよお言うて みつけられた。1) 見る事が出来た言うのも ミヤレタ言うて まあ 見やれやせん(見られない) おもたや(思ったら) そんでも(それでも) あいとる(ている) とこな(所が) 有って 覗いて ミヤレタヨオ言うて。

**みやれたた** 見られた、見られてしまった

**みやれたもんやない** 見るに耐えられない、見苦しい様

**みやれたや** 見られたら。みやれる参照 [会話] ミヤレタ言うて 見られたら。

**みやれたれ。みやれたわい。みやれたわな** 1) 見る事が出来た。2) 見られてしまった [会話] 1) ミヤレタレ言うてなあ ま めえやせん(見えない) おもたけど(思ったが) ミヤレタレ言うてなあ。

**みやれやせん。みやれやせんわい。みやれやせんわな** (女性語)。**みやれやせんわれ** 見られない。見る事が出来ない。[会話] ミヤレヤセン おら(俺は) せえなひつくうて(背が低くて) あしか(あすこは) たっこおて(高くて) ミヤレヤセンワレ(です) 言うたりな、器量な(が) わり(悪い) 人をなあ ミヤレヤセンよおな顔やなあ(だ) みつとみのおて(見苦しくて) 言うて。

**みやれる** 1) 見られる。見つけられる(受身)(志(布施田、御座)一) 2) 見る事が出来る(志、鈴市、亀、一、飯、松、多、上、阿、張、度、北) [会話] 1) ミヤレル。あの人に みやれたたよお(てしまった) 言うの(のです)、見つかったた(てしまった) 言う事かいのお(でしょうか)。見つけられたとか言うのを みやれたよお ミヤレタタヨオ言うて おや(俺は) いこんおもたや(行こうと思ったら) 人ん(に) みつけられて まあ言うて。

**みやれん** 見る事が出来ない。見えない。(志(立神)、上、阿) [会話] みえやせん(見えない) 言う事かい(ですか)、見えやせんわれ(です) ミヤレヤセンワレ(見えません) 言うて。何か 邪魔して ミヤレン時も ミヤレヤセンワレ あしか(あそこは) 言うて、器量な(が) わり(悪い) のも みつとみのおて(見苦しくて) ミヤレン顔やなあ(だ)、ふた目とミヤレンなあ、言う時も有るやんかい(有ります)。

**みやれんど** 1) 見る事が出来るぞ 2) 見られるぞ(受身、人から見られる) [会話] 2) 人ん(に) ミヤレンド言う事なあ、みせもん(見世物) にあうど(あうぞ) 言う事なあ(です)。

**みやわす。みやわせる** (見合) 【他下一】実行を控えし

ばらく様子を見る

**みやん** 見ない。(四、安、飯、松、多、上、張、度、北、尾、熊) [会話] みやせん(見ない) 言うのを、ミヤン事を。此処ん(に) なんか(何か) 有ったやんない(でしょう) 言うて、おらなんも(俺は少しも) みやせんない(見ません) 言うて なんもみやざったれ(何も見なかった) 言うたりな。おら(俺は) そいなんもん(そんな物) ミヤンとこ(でおこう) 言うて、まあ あいなもん(あんな物) ミヤンとこん(でおこう)。むなぐるしなつて(吐き気がして) 来た言う時ん(に) ミヤンと、おこ(おりましょう) 言うてなあ。あれ見ると むなぐるしなつて来るよつて(から) まあ ミヤンと、おこん(に) 言う時も 有るしなあ、まあ あれは ミヤンと行こに(行きましょう) 言うて みやまい(見ない) 思う時はなあ。

**みやんかお** 【名詞】知らない人

**みやんと** 見ずに。

**みよ(見よ)** 1) 見よう(志、鈴郡、安、尾) 2) 見なさい(命令)

**みよい** 【形容詞】美しい。綺麗だ。みやすい参照 みやすい。眺めるのに都合がよい。[会話] 見やすい。ミイヨイなあ、此処は言うて。こつから(此処から) 沖見んのん(見るのに) 見いよいけどなあ(けれど) 言う時も ミイヨイなあ(です) 言うのなあ(のです)。ひいろお(広く) ずっとよく見える、よけめえる(沢山見える)。ミイヨイなあ言うて よお(よく) 見えるとなあ。美しとか(美しいとか) あの服着とると(着て居ると) ミイヨイなあとか みやすいなあとか言うて。

**みよえ** 見なさい。

**みよお(みょう、めう)** 【名詞】 【形容詞】 妙。不思議なこと。奇妙なこと。またそのさま。[会話] あや(あれは) ミヨオやなあ(だ) こげんすると(こんなにすると) あんな(あれが) 出来て来るよつて(から) ミヨオやなあ(だ) 言うて、不思議な事をなあ ミヨオやなあ 言うの(のです)。

**みよおじ(みやうじ)** 【名詞】 苗字。姓。[会話] 名前小林言う ミヨオジかな(ですか) あんたげや(貴方の家は) 言うて 違うとき そのミヨオジや(は) 違われ(違います) 言うしなあ(言います) 姓の事をミヨオジ。

**みよおじや** 【名詞】 亡者。[会話] 金のミヨウジャと一緒に 金儲け言うたら なんでもしたね(何でもしたのです)。

**みよおじん(みょうじん、みやうじん)** 【名詞】 明る

く輝く星。金星。(志(神明))

**みよおな(みょうな)** 変な。不思議な。(志(神明、浜島、御座、布施田、畔名、鶴方)、鳥(相差、国崎)北) [会話] ミヨオナ事ばつか(ばかり)言うて、変な事ばつか言う 言うのなあ(です)。ミヨオナ事ばつか言うとんね(言ってるのだ) あやまあ(彼はもう) ちょいと(少し) まいとんねどよお(狂ってる)言うて。

**みよおに(みょうに)** 奇妙に。適面に。不思議に。[会話] さるさこん 山桃みたよおな(のような) あっかい(赤い) 桃な(が) なって それを 煎じて飲むと ミヨオン治りおった(治りました) はらくだしは(下痢は)。

**みよおや** 変だ

**みよおやく(みょうやく、めうやく)(妙薬)【名詞】**  
利目のすぐれた薬

**みよおん** 不思議に、適面に、みよおに参照

**みよか** 1) 見ましょうか。見ようか。(志(片田))  
2) 見ません [会話] 1) あしこいいて(あすこへ行って) ミヨカ言うな(のは) 相談やなあ(です)。あの花 ちょいと(少し) ミヨカ言うて 見よまあえ言うて 見てこおかたら(来ようかとか)。

**みよかい。みよかな(女性語)。みよかれ** 見ません。  
[会話] そいなもん(そんな物) ミヨカイ わしら(私は) 言うてなあ、見た事が無い言うのをなあ 見ません言うのを ミヨカイ言うの(のです)。

**みよし(舳)【名詞】** 船の前の部分。船首。ミオシ(水押)の訛(志(浜島、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、桑市、鈴市、北、熊) [会話] 船のミヨシ、とっぱな(一番先端) ミヨシ。

**みよてや** 見なさい。見ろ。[会話] 見よまあえ言うのも ミヨテヤ言うのも 一緒に意味や(です)。あんた(貴方) 此れ 見よまあえ言うのも有るし 此れ ミヨテヤ言うて。ミヨテヤ言うても 見やせんね(見ないのだ) 言う時も有るし(有ります)。おんな(俺が) ミヨテヤ言うのん(に) 見やせんのん(見ないのに) おまや(お前は) 言うて あの時 みときさいしや(みておきさえすれば) ええのん(よいのに) 言うて。見なさい言う事や(です)。ミヨテヤ言うのは男の方が よけつこて(多く使って) 見よまあえ言うな(のは) おなごな(女が) よけ 使うなあ(使います)。おなごの みよまあえ言うな(のは) ちょいと(少し) 上の人らん(目上の人に) 言うのなあ(です)。そして(そうして) 同輩のもんにや(者には)

ミヨテヤ みよまあ言うし わがとより(自分より) うわてや(目上と) 思う人にや(は) ちょいと(少し) みよまあえ言うて。

**みよと(めうと)【名詞】** 夫婦。メオト(夫婦)の音便(大言海)メヲトの転(広辞苑)(志(布施田)、張) [会話] ふたんな(二人が) ミヨトニ なった。

**みよとげんか【名詞】** 夫婦喧嘩

**みよまあ** 見なさい。(志(立神、甲賀) [会話] なんか、わり(なにが悪い) 事すると あのしぐさ(動作) ミヨマア言うて。

**みよまあえ** 見なさい みよてや参照(志)

**みよまい** 1) 見なさい。2) 見ない 見たくない [会話] 1) ミヨマイ さいづちみたいん(樋のように) 頭下げて。

**みよや** 見ましょう。[会話] みんな(皆)で ミヨヤ言うくせん(のに) みせたくない時や(は) みんな(見るな)。

**みより(身寄)【名詞】** 身内。親類。親族。[会話] ミヨリも無いね(のだ) 言うて、身に付いた人な(が) 無いと、ミヨリな(が) 無いね あのひた(人は) 一人もんやてない(者だそうだ) 言うて、親も兄弟も無いとなあ。

**みりがみ【名詞】** 紙の一種。和紙 [会話] ミリガミ和紙の事なあ(です)。にりがみ(二厘紙) 言うて、いちりがみ(一厘紙) 言うな(のは) いっしえん(一銭)で 十枚買われるしなあ。にりがみ言うな(のは) いっしえんで 五枚買われので(買えるので) にりがみ。二厘で一枚買われおったの(買えて居たのです)。雁皮や(だ) 言うてなあ 色な(が) ちょいと(少し) あっかいよおななあ(赤いような) 茶色がかったのおなあ ちょおとじ(帳綴)の ちょお紙や(帳紙だ) 言うて 使いおったわい(使っていました)。

**みる(海松)【名詞】** 緑藻類、ミル科の海藻。本州から北海道沿岸の水深1~20mの波静かな海底の岩上に生える。高さ10~30cm、全体に鮮緑色を帯びる。葉状体は太い紐状で数回又状に分岐して扇状をなす。食用。[会話] 六月ん(に) ミル食うと(食べると) 腹の掃除すん(る)ので よおくよおったけど(よく食べて居ましたが)、昔や(は) 土用の丑のひいん(日に) になると ミルくうとええね(食べるとよいのだ) 言うてなあ。浦い(へ) かずきんいて(採りに行つて)。

**みんこや** 見に行きましょう



**みんな** 見るな。(志(甲賀)、鳥(浦村)、松、多、尾)[会話] おらなもん(俺の物) ミンナ 言う時も 有るやんかい(有ります)。見せない(見せたくない)時に。そして(そうして) みんな(皆が)言うて 多勢な(だ)言う事を みんな(皆が) 見よやんかあ(見ましょう)言う時も有るし 見たらはざん(駄目)言う事なあ(です)。ミンナで 見よや(見ましょう)言うくせん(のに) みせない(見せたくない)時や(は)ミンナ 見たらはざん(駄目だ)見たらいかん(いけない)言う事を ミンナ。

**みんな【副詞】** 皆。全部。ミナ(皆)の音便(大言海)ミナミ(見並)の略 前項参照(張)

**みんない** 見て居る。[会話] おらもよお(俺もよく)ミンナイ。見ます言うのをなあ、おらも(俺も) そいなもん(そんな者) よお(よく)ミンナイ。店屋ん(に) よお 出とるやんかあ(出ているでないか)言うてなあ。

**みんなえ** (女性語) 見るな

**みんなや** 見るな、見ないでおきなさい

**みんなよ** 見るな、見てはいけない

**みんなね** 見るのだ(張)[会話] 見ます言うのを これミンネ おらも(俺も)この芝居ミンネヨオ言うてなあ。

**みんなみん【名詞】** 油蟬。全身が褐色を帯びた蟬。(志、上、阿)[会話] せんせん(蟬) ミンミン みいんみ いん言うて 鳴くの(のです)。どじもんぐさ(怠け者)言うてなあ、あんな(あれが)鳴くと べつんも(特別に) かいだり(疲れた) よおん(に)なつて来て 茶色みたよおなのおなあ(のようなのです)。どじもんぐさな(が)鳴いて来た言うの(のです)。あんな鳴くと かいだりよおん なつてくんねてや(来るのです) みいんみいん言うて 引っ張って来ると。